

教 育 要 覧

南相馬市の教育

令和3年度
(2021)

南相馬市教育委員会

目次

I	市勢概況	
1	南相馬市のシンボル	1
2	南相馬市の概要	1
3	南相馬市の人口・世帯数	1
4	位置及び面積	2
5	南相馬市民の歌	2
6	東日本大震災における南相馬市の状況	3
II	教育行政	
1	教育委員	1 1
2	教育委員会の沿革	1 2
3	教育委員会組織機構と事務分掌	1 4
4	南相馬市復興総合計画後期基本計画	1 7
5	令和3年度南相馬市学校教育努力目標	1 8
III	教育財政	
1	令和3年度当初予算	2 4
2	令和3年度教育費等予算	2 5
IV	学校教育	
1	学校一覧	2 6
2	児童・生徒数	3 0
3	教育指導	3 4
4	就学奨励	4 0
5	学校保健・安全	4 2
6	学校給食	4 9
7	学校施設一覧	5 0
8	学校施設関連事業計画・実施状況	5 4
9	支援学校・高等学校・専修学校	5 6
V	幼児教育	
1	幼稚園・保育園一覧	5 8
2	園児数	6 4
3	保健・安全	6 7
4	幼稚園給食	6 7
5	幼稚園・保育園・こども園施設一覧	6 8
6	放課後児童クラブ・児童教室	7 0
7	事業計画・実施状況	7 6
VI	生涯学習・文化振興	
1	生涯学習関係	7 8
2	生涯学習センター関係	8 9
3	南相馬市生涯学習施設一覧	1 0 2
4	図書館関係	1 0 4
5	文化振興関係	1 1 2
VII	歴史文化	
1	文化財保護関係	1 1 6
2	博物館関係	1 2 3
3	市史編さん関係	1 3 1
VIII	スポーツ	
1	スポーツ関係	1 3 2
2	スポーツ施設一覧	1 4 2
3	学校体育施設開放	1 5 2
IX	各種委員会等名簿	1 5 3
X	教育史年表	1 5 8

I 市勢概況

1 南相馬市のシンボル

(1) 市章



緑と青の2色は山・川・海の豊かな自然を象徴。
連携する3つの円は合併3市町の絆であり、調和・協調・交流を表わし、オレンジの円に一人ひとりの輝きと市民の活力の意味を込めて、ゆとりある未来を創造する「南相馬市」の発展の姿を、安定感あるフォルムで表現しました。

(2) 市の花・木・鳥・魚・昆虫



花：さくら



木：けやき



鳥：ひばり



魚：さけ



昆虫：ほたる

2 南相馬市の概要

平成18年1月1日、小高町、鹿島町及び原町市が合併して「南相馬市」が誕生しました。南相馬市は、福島県浜通りの北部で太平洋に面し、緑深い阿武隈の山すそに広がる豊かな平野で、海洋性の穏やかな気候に恵まれたまちです。

3 南相馬市の人口・世帯数（住民基本台帳登録人口）

（令和3年5月31日現在）

	人口（人）			世帯数
	男	女	計	
小高区	3,387	3,539	6,926	2,702
鹿島区	5,108	5,134	10,242	3,727
原町区	20,830	20,686	41,516	17,892
合 計	29,325	29,359	58,684	24,321

※住民基本台帳登録人口は、住民基本台帳に登録された人口です。直近の国勢調査人口を基本にその後の人口動態（出生・死亡・転入・転出）から算出した現住人口とは差があります。

4 位置及び面積

福島県太平洋沿岸北部にあり、東京から 292 km。
いわき市と仙台市のほぼ中間に位置しています。



【位置】	【面積】
東経 140 度 57 分 38 秒	南相馬市 398.5 k m ²
北緯 37 度 38 分 21 秒	福島県 13,782.48 k m ²

5 南相馬市民の歌

作 詞 佐藤 邦雄
補作詞 市民歌制定委員会
作 曲 大島ミチル

作詞：佐藤 邦雄
補作詞：市民歌制定委員会
作曲：大島 ミチル

1 山並み遠く 雲が流れ
風さわやかに 野を渡る
ここはふるさと 野馬追の里
雲雀が原に 馬駆ける
南相馬市 ここに生まれ
心晴れ晴れ 未来に広がる

2 朝霧晴れて 陽は昇る
太平の海 洋々と
ここはふるさと 万葉の里
古代の夢が よみがえる
南相馬市 ここに生きる
光を浴びて 日々新しく

3 歌声高く 湧くところ
笑顔あふれて 花ひらく
ここはふるさと 紅梅の里
はじける火花 空に咲く
南相馬市 ここに生きて
明るい朝を 共に迎える



※伴奏付きで演奏する場合は、前奏、1番の後と2番の後に間奏、3番の後に後奏が入ります。

6 東日本大震災における南相馬市の状況

(1) 東日本大震災に伴う被災等の状況

平成 23 年	南相馬市で震度 6 弱を観測
3 月 11 日 14:46	
3 月 11 日 15:35 頃	津波到達
3 月 12 日 5:44	福島第一原子力発電所から半径 10 km 圏内の住民に避難指示
3 月 12 日 18:25	福島第一原子力発電所から半径 20 km 圏内の住民に避難指示
3 月 15 日 11:00	福島第一原子力発電所から半径 20 km 以上 30 km 圏内の住民は外出せず、自宅など屋内に退避の指示
3 月 15 日～17 日	市がバスで市内の避難所から市外に避難を誘導 (1,939 人)
3 月 18 日～20 日	市がバスで集団避難を誘導 (2,725 人)
3 月 25 日	市がバスで集団避難を誘導 (142 人)
4 月 21 日 11:00	福島第一原子力発電所から半径 20 km 圏内を警戒区域に指示 (4 月 22 日 0:00 警戒区域に設定)
4 月 22 日 9:44	福島第一原子力発電所から半径 20 km 以上 30 km 圏内に指示していた屋内への退避を解除、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を設定
7 月 21 日 12:30	特定避難勧奨地点として 57 地点 (59 世帯) を設定
8 月 3 日 12:00	特定避難勧奨地点として 65 地点 (72 世帯) を追加設定
9 月 30 日 18:11	緊急時避難準備区域を解除
11 月 25 日 10:00	特定避難勧奨地点として 20 地点 (22 世帯) を追加設定
平成 24 年	警戒区域及び計画的避難区域を、避難指示解除準備区域、居住制限区域及び帰還困難区域に見直し
4 月 16 日 0:00	
平成 26 年	特定避難勧奨地点を解除
12 月 28 日 0:00	
平成 28 年	国、県及び市で避難指示解除準備区域及び居住制限区域の避難指示を平成 28 年 7 月 12 日に解除することに合意
5 月 27 日	
5 月 31 日	国の原子力災害対策本部において、避難指示解除準備区域及び居住制限区域の避難指示を平成 28 年 7 月 12 日に解除することを決定
7 月 12 日 0:00	居住制限区域及び避難指示解除準備区域を解除

(2) 東日本大震災に伴う教育施設等の被災状況

平成23年

3月11日	東日本大震災（震度6弱、大津波警報） 大津波により真野小学校及び真野幼稚園が被災
4月22日	緊急時避難準備区域指定 (福島第一原発から半径20km～30km圏内は教育施設休止)
4月22日	小・中学校の再開（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等） 炊き出し昼食提供開始（2,500食）
4月25日	小学1年生の入学式（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等）
5月6日	公立保育園の再開（かしま保育園・かみまの保育園） 私立保育園の再開（原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園が鹿島区 寺内地区に臨時園舎にて再開） 児童クラブの再開（千倉（鹿島）・上真野・八沢児童クラブ）
6月1日	公立幼稚園の再開（鹿島区鹿島幼稚園・上真野幼稚園）
8月1日～	除染作業（保育園・幼稚園・小・中学校の校庭・園庭の表土入替え 及び校舎・園舎の洗浄）（警戒区域を除く。）
11月5日	中央図書館・博物館施設除染作業
8月5日～7日	中央図書館・博物館の再開
8月9日	学校給食再開（3,300食）
8月25日	鹿島区内小・中学校にユニット教室完成・使用開始（24教室～高平小・ 大甕小・ <u>原町一小</u> ・ <u>石神二小</u> ・小高小・ <u>金房小</u> ・ <u>鳩原小</u> ・ <u>原町二中</u> ） ※ <u> </u> は一部使用校
9月1日	公立幼稚園の再開（鹿島区八沢幼稚園）
10月11日	私立保育園の本園再開（原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園）
10月17日	原町区内小中学校の本校再開①（原町一小・原町三小・大甕小・原町一 中・原町二中） 児童クラブの再開（東町・上町・大甕児童クラブ）
11月1日	私立幼稚園再開（青葉幼稚園・原町みなみ幼稚園・さゆり幼稚園）
11月21日	仮設校舎完成・使用開始（鹿島小仮設校舎～真野小・福浦小・小高中・ 鹿島中仮設校舎～石神一小・石神中）
12月6日	鹿島図書館、市民情報交流センターの再開

平成24年

1月10日	原町区内小学校の本校再開②（原町二小・高平小・太田小） 児童クラブの再開（橋本町児童クラブ・高平児童館）
2月15日～	小・中学校プールの除染作業（警戒区域を除く）
3月31日	
2月27日	原町区内小中学校の本校再開③（石神一小・石神二小・原町三中・石神中） 児童クラブの再開（石神第二児童クラブ）
4月1日	児童クラブの再開（石神第一児童クラブ） 公立幼稚園の再開（高平幼稚園・大甕幼稚園）
4月3日	学校図書館支援員の派遣開始（原町三小・石神二小・小高小・鹿島小）
4月6日	小高・金房・鳩原小が鹿島小及びユニット教室から鹿島中仮設校舎へ引越し
7月2日	児童クラブの再開（太田児童クラブ・仲町児童センター）
9月3日	小高区児童（小高小、金房小）鹿島児童クラブから上真野児童クラブへ移動

平成25年

4月1日	福浦小が鹿島小仮設校舎から鹿島中仮設校舎へ引越し 真野小が鹿島小仮設校舎から鹿島小校舎へ引越し 東町児童クラブの分割（東町児童クラブ1、2） 児童クラブの再開（原町第一児童クラブ、小高合同児童クラブ）
------	---

平成26年

3月31日	真野幼稚園の廃止
4月1日	真野小を鹿島小に統合
9月3日	新八沢児童クラブ開所

平成27年

4月1日	公立保育園の再開（原町あずま保育園） 上町児童クラブの分割（上町児童クラブ1、2）
------	--

平成28年

4月1日	小高区内4小学校（小高小、福浦小、金房小、鳩原小）合同運営開始
4月23日	公立保育園の再開（原町さくらい保育園）
7月15日	小高図書館再開 埴谷・島尾記念文学資料館再開
7月21日	新鹿島児童クラブ開所

平成29年

4月1日	小高小学校（小高小、福浦小、金房小、鳩原小合同運営）、小高中学校、 小高幼稚園の本校・本園再開
------	--

(3) 平成23年度以降の各小・中学校の移転状況

	H23.4.22	H23.8.29	H23.10.17	H23.11.21	H24.1.10	H24.2.27	H24.4.6	H25.4.1	H26.4.1	H29.4.1
原町第一 小学校	鹿島小 校舎	一部鹿島 小ユニット	本校再開							
原町第二 小学校	八沢小 校舎				本校再開					
原町第三 小学校	鹿島小 校舎		本校再開							
高平 小学校	八沢小 校舎	八沢小 ユニット			本校再開					
大甕 小学校	八沢小 校舎	八沢小 ユニット	本校再開							
太田 小学校	八沢小 校舎		大甕小に 同居		本校再開					
石神第一 小学校	前川原 体育館			鹿島中内 仮設校舎		本校再開				
石神第二 小学校	上真野小 校舎	一部上真 野小ユニット				本校再開				
鹿島 小学校	本 校									
真野 小学校	農村環境 改善センター			鹿島小内 仮設校舎				鹿島小 校舎	鹿島小に 統合	
八沢 小学校	本 校									
上真野 小学校	本 校									
小高 小学校	鹿島小 校舎	鹿島小 ユニット	鹿島小 校舎				鹿島中内 仮設校舎			本校再開
福浦 小学校	八沢小 校舎		八沢小 ユニット	鹿島小内 仮設校舎				鹿島中内 仮設校舎		小高小 合同運営
金房 小学校	上真野小 校舎	一部上真 野小ユニット	鹿島小 ユニット				鹿島中内 仮設校舎			小高小 合同運営
鳩原 小学校	上真野小 校舎	一部上真 野小ユニット	鹿島小 ユニット				鹿島中内 仮設校舎			小高小 合同運営
原町第一 中学校	鹿島小 体育館		自校再開							
原町第二 中学校	鹿島中 校舎	鹿島中 ユニット	自校再開							
原町第三 中学校	鹿島中 校舎		鹿島中 ユニット	鹿島中 校舎		本校再開				
石神 中学校	鹿島中 校舎			鹿島中内 仮設校舎		本校再開				
鹿島 中学校	本 校									
小高 中学校	鹿島中 校舎			鹿島小内 仮設校舎						本校再開

	R3.4.1
原町第一 小学校	→
原町第二 小学校	→
原町第三 小学校	→
高平 小学校	→
大甕 小学校	→
太田 小学校	→
石神第一 小学校	→
石神第二 小学校	→
鹿島 小学校	→
真野 小学校	↘
八沢 小学校	→
上真野 小学校	→
小高 小学校	小高 小学校に再編
福浦 小学校	
金房 小学校	
鳩原 小学校	
原町第一 中学校	→
原町第二 中学校	→
原町第三 中学校	→
石神 中学校	→
鹿島 中学校	→
小高 中学校	→

(4) 東日本大震災に伴う児童・生徒の死亡及び行方不明者数、遺児・孤児数

(令和3年4月1日現在)

① 児童・生徒の死亡及び行方不明者

	死亡	行方不明	計
小学生	11人	0人	11人
中学生	8人	0人	8人
計	19人	0人	19人

② 遺児・孤児

() 内は昨年的人数

		遺児	孤児	計
区 分 別 の 内 訳	未就学児等	0人(0人)	0人(0人)	0人(0人)
	小学生	6人(10人)	0人(0人)	6人(10人)
	中学生	10人(8人)	1人(1人)	11人(9人)
	高校生	10人(12人)	1人(1人)	11人(13人)
	計	26人(30人)	2人(2人)	28人(32人)

3.11 東日本大震災による被災状況図

字界図 南相馬市 縮尺 1:25,000

人的被害 (令和3年4月1日現在)

- ・死者 1,156人
(うち関連死 520人)
- ・行方不明者 0人
- ・負傷者 59人
(重傷 2人、軽症 57人)

住家被害 (令和3年4月1日現在)

区	全世帯数	被害世帯数
小高区	3,771	2,236
鹿島区	3,460	1,051
原町区	16,667	2,029
合計	23,898	5,316

津波被害面積 (平成23年4月8日現在)

区	地区	面積
鹿島区	八沢	5.0 k m ²
	南海老～烏崎	10.8 k m ²
	小計	15.8 k m ²
原町区	金沢・北泉	1.6 k m ²
	泉～雫	9.1 k m ²
	小浜～小沢	3.8 k m ²
	小計	14.5 k m ²
小高区	塚原～角部内	5.6 k m ²
	井田川～浦尻	4.9 k m ²
	小計	10.5 k m ²
合計		40.8 k m ²



Ⅱ 教育行政

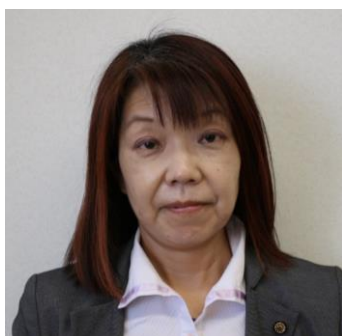
1 教育委員



教育長
大和田 博行



教育長職務代理者
渡辺 金作



教育委員
高野 恵以子



教育委員
濱須 弘仲



教育委員
金子 まゆみ

(令和3年7月1日現在)

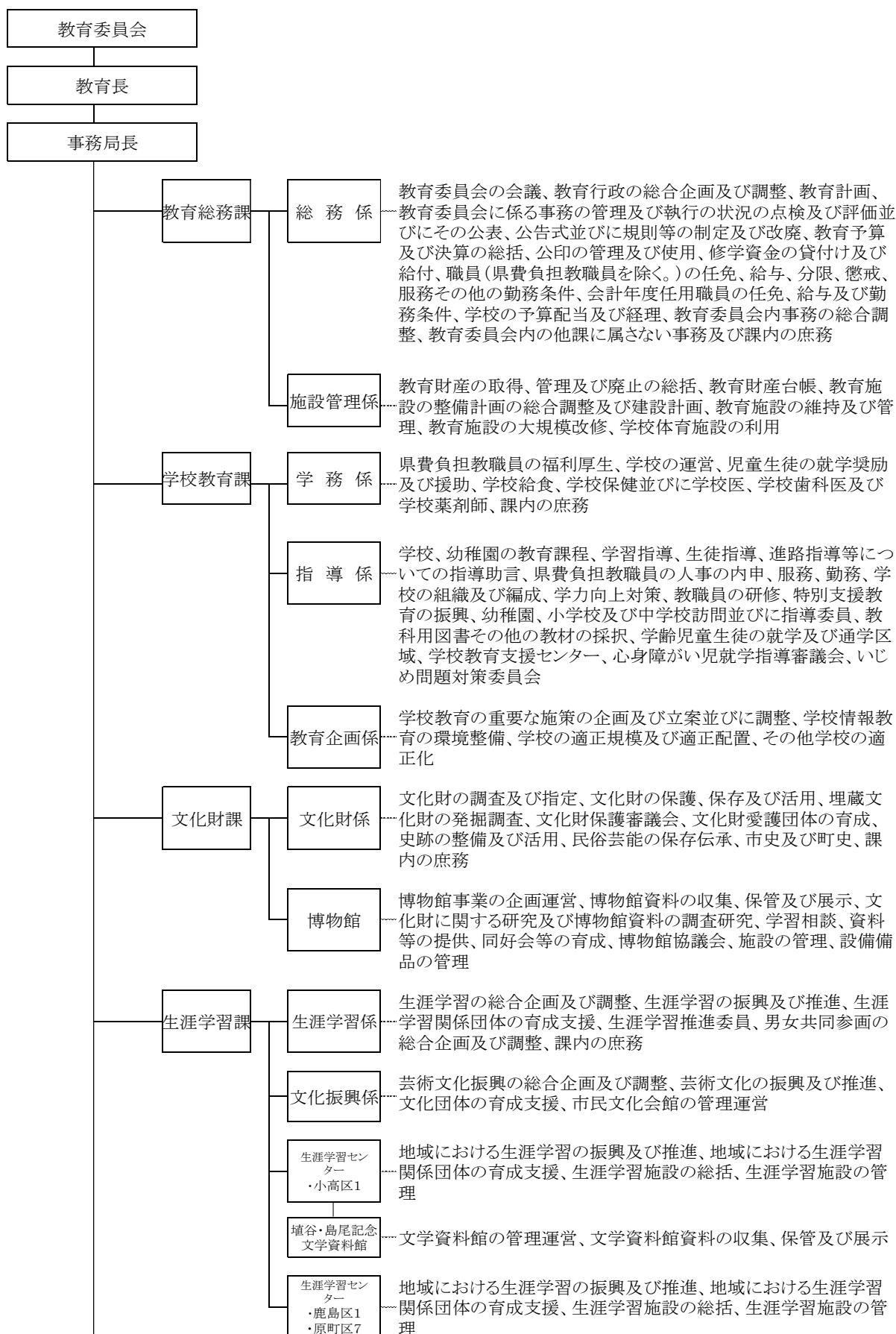
区 分	氏 名	就任年月日	任期年月日
教 育 長	大和田 博行	R3. 4. 1	R6. 3. 31
教育長職務代理者	渡辺 金作	R1. 6. 27	R5. 6. 26
委 員	高野 恵以子	H30. 3. 29	R4. 3. 28
委 員	濱須 弘仲	R2. 3. 29	R6. 3. 28
委 員	金子 まゆみ	R3. 3. 29	R7. 3. 28

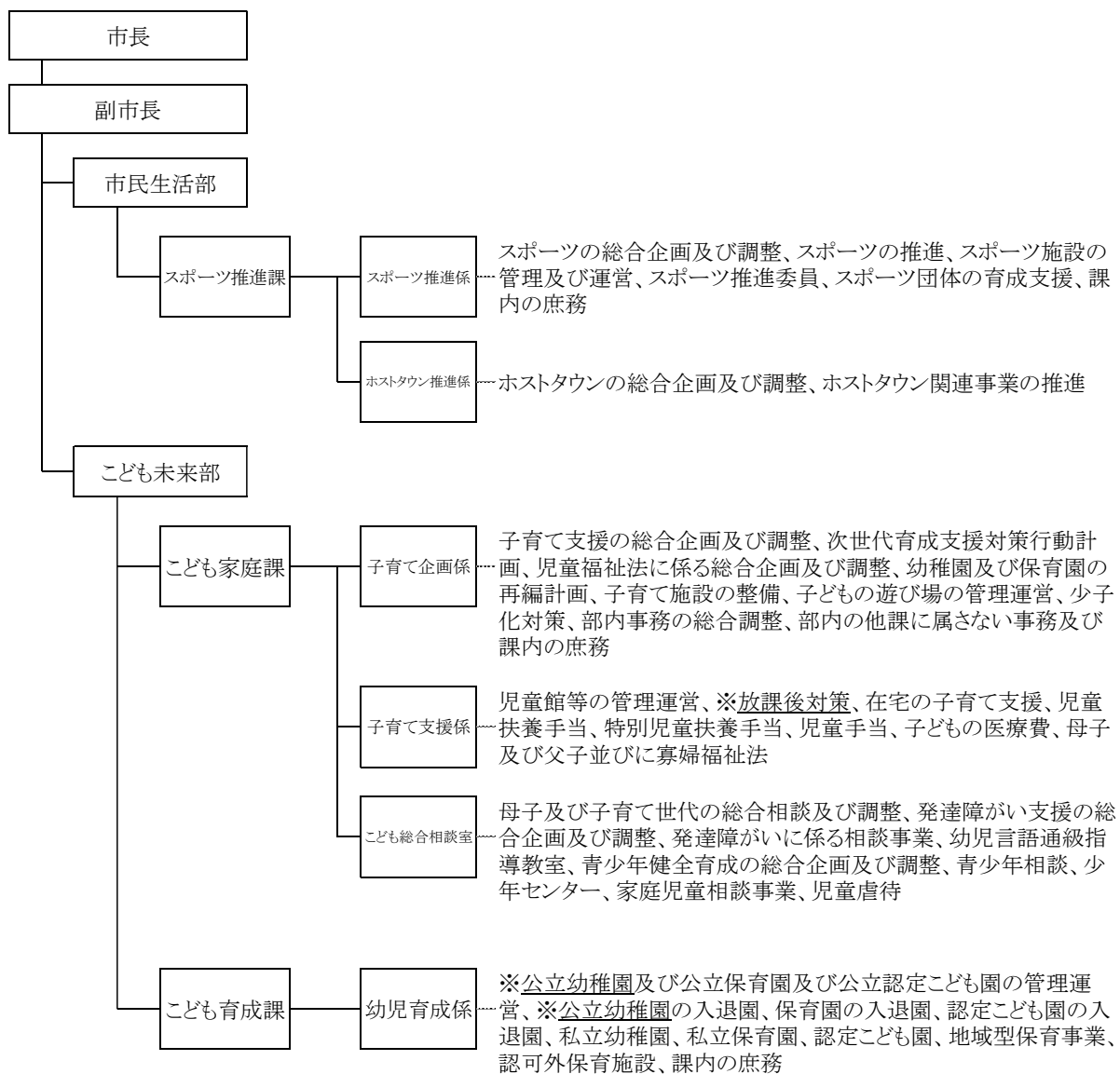
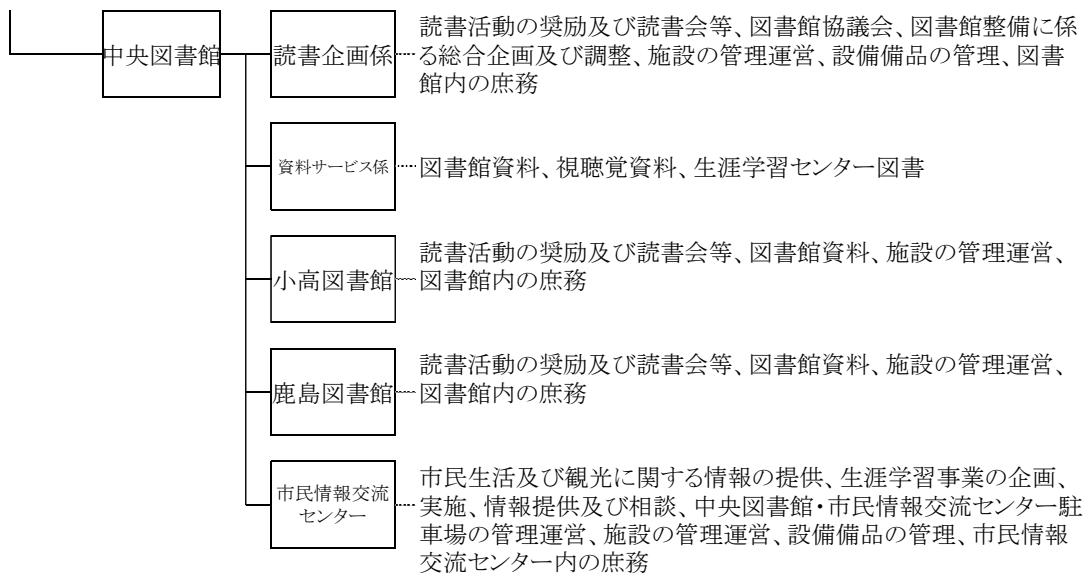
2 教育委員会の沿革

年 月 日	教 育 長	委 員 長	委 員 長 職務代理者	教 育 委 員
平成18. 1. 1	小高町・鹿島町・原町市の2町・1市が合併「南相馬市」となる			
平成18. 1. 1	青木 紀男（就任）	渡部 光明（就任）	荒川 登（就任）	渡部 光明（就任）
				荒川 登（就任）
				青木 紀男（就任）
				菊地 清人（就任）
				前田 英子（就任）
平成18. 3. 29	青木 紀男（再任）	渡部 光明（再任）	横田 芳朝（就任）	横田 芳朝（1年）
				菊地 清人（2年）
				渡部 光明（3年）
				青木 紀男（4年）
				鎌田 芳子（4年）
平成19. 3. 28				横田 芳朝（退任）
平成19. 3. 29		渡部 光明（再任）	鎌田 芳子（就任）	
平成19. 6. 27				水谷 隆（就任）
平成20. 3. 28				菊地 清人（退任）
平成20. 3. 29		渡部 光明（再任）	鎌田 芳子（再任）	大瀬 幸枝（就任）
平成21. 3. 28				渡部 光明（退任）
平成21. 3. 29		大石 力彌（就任）	鎌田 芳子（再任）	大石 力彌（就任）
平成22. 3. 28				鎌田 芳子（退任）
平成22. 3. 29	青木 紀男（再任）	大石 力彌（再任）	水谷 隆（就任）	吉田 奈保美（就任）
平成23. 3. 29		大石 力彌（再任）	水谷 隆（再任）	
平成23. 6. 27			水谷 隆（再任）	水谷 隆（再任）
平成24. 3. 28				大瀬 幸枝（退任）
平成24. 3. 29		大石 力彌（再任）	水谷 隆（再任）	宮本 晴一（就任）
平成25. 3. 29		大石 力彌（再任）	水谷 隆（再任）	大石 力彌（再任）
平成26. 3. 28				吉田 奈保美（退任）
平成26. 3. 29	青木 紀男（就任）	大石 力彌（再任）	水谷 隆（再任）	高野 恵以子（就任）
平成27. 3. 31	青木 紀男（退任）			

教育委員会制度改正により役職変更				
年 月 日	教 育 長	教 育 長 職務代理者	教 育 委 員	
平成27. 4. 1	阿部 貞康（就任）	大石 力彌（就任）		
平成27. 6. 26			水谷 隆 （退任）	
平成27. 6. 27			渡辺 金作（就任）	
平成28. 3. 28			宮本 晴一（退任）	
平成28. 3. 29			濱須 弘仲（就任）	
平成29. 3. 29		大石 力彌（再任）		
平成30. 3. 29			高野 恵以子（再任）	
平成30. 3. 31	阿部 貞康（退任）			
平成30. 4. 1	大和田 博行（就任）			
令和元. 6. 27			渡辺 金作（再任）	
令和 2. 3. 29			濱須 弘仲（再任）	
令和 3. 3. 28			大石 力彌（退任）	
令和 3. 3. 29		渡辺 金作（就任）	金子 まゆみ（就任）	
令和 3. 4. 1	大和田 博行（再任）			

3 教育委員会組織機構と事務分掌





※____は、南相馬市教育委員会の権限に属する事務を補助執行している部分

教育機関等の所属

教育委員会部局

所 属	機 関 名
事 務 局	原町第一小学校、原町第二小学校、原町第三小学校、高平小学校、大甕小学校、太田小学校、石神第一小学校、石神第二小学校、鹿島小学校、八沢小学校、上真野小学校、小高小学校、原町第一中学校、原町第二中学校、原町第三中学校、石神中学校、鹿島中学校、小高中学校
学 校 教 育 課	南相馬市学校給食センター
文 化 財 課	南相馬市博物館、文化財整理室
南 相 馬 市 立 中 央 図 書 館	南相馬市立中央図書館、南相馬市立小高図書館、南相馬市立鹿島図書館、南相馬市民情報交流センター
生 涯 学 習 課	小高生涯学習センター「浮舟文化会館」、埴谷・島尾記念文学資料館、南相馬市就業改善センター、南相馬市小高コミュニティセンター、鹿島生涯学習センター、南相馬市鹿島農村環境改善センター、原町生涯学習センター「サンライフ南相馬」、太田生涯学習センター、大甕生涯学習センター、高平生涯学習センター、石神生涯学習センター、ひがし生涯学習センター、ひばり生涯学習センター、南相馬市労働福祉会館、南相馬市民文化会館

市長部局

所 属	機 関 名
ス ポ ー ツ 推 進 課	南相馬市スポーツセンター、雲雀ヶ原陸上競技場、夜の森公園テニスコート、南相馬市テニスコート、南相馬市弓道場、南相馬市野球場、南相馬市民プール、小川町体育館、南相馬市サッカー場、北新田第一運動場、北新田第二運動場、北新田野球場、南相馬市相撲場、栄町柔剣道場、南相馬市馬事公苑、南相馬屋内市民プール、小高体育センター、小高東部運動場、小高中部運動場、小高西部運動場、小高片草運動場、千倉体育館、前川原体育館、千倉グラウンド、前川原グラウンド、千倉テニスコート、みちのく鹿島球場、鹿島B&G海洋センター、鹿島体育館、南相馬市パークゴルフ場
こ ど も 家 庭 課	東町児童センター、上町児童センター、橋本町児童センター、八沢児童クラブ、鹿島児童クラブ
こ ど も 育 成 課	高平幼稚園、大甕幼稚園、太田幼稚園、石神第一幼稚園、石神第二幼稚園、鹿島幼稚園、八沢幼稚園、上真野幼稚園、原町あずま保育園、原町なかまち保育園、原町さくらい保育園、かしま保育園、かみまの保育園、おだか認定こども園

4 南相馬市復興総合計画後期基本計画（教育委員会部分抜粋）

政策の柱 1 教育・子育て

基本施策

1 学校教育

- ① 豊かな心と体の育成
 - ◎ 郷土を愛し豊かな心を育む教育「至誠学」を推進
 - ◎ 不登校・いじめ未然防止へ積極的に対応
 - ◎ 運動の習慣化や正しい食生活を身につけ、健康な体を育む教育を推進
- ② 教育水準の向上
 - ◎ 教育指導体制を充実
 - ◎ 地域性を生かした魅力ある教育環境づくりを推進
 - ◎ 小高区の文教ゾーンを生かした魅力ある教育環境を整備
 - ◎ 学校図書館の充実と調べ学習を推進
 - ◎ 地域の状況に応じた市内小中学校の適正化を推進
- ③ 学校環境の整備
 - ◎ 学校・地域・保護者が一体となった学校づくりを推進
 - ◎ 地域と連携した登下校時の安全確保や安全な通学手段を確保
 - ◎ 学校施設の環境整備・改善に取り組む
 - ◎ 安全・安心な学校給食を安定的に供給できる体制を整備

2 子育て

- ④ 結婚・妊娠・出産への支援
 - ◎ 母子保健事業及び子育て世代包括支援センター事業の充実
 - ◎ 妊産婦や子育て家庭の経済的負担等の軽減
 - ◎ 男女の出会いの場づくりに取り組む
- ⑤ 保育・幼児教育の充実
 - ◎ 利用者の立場に立った保育サービスの充実
 - ◎ 保護者の経済的負担の軽減
 - ◎ 園児の可能性や特性を引き出す幼児教育を推進
 - ◎ 保育士・幼稚園教諭の人材確保に取り組む
 - ◎ 私立・公立保育園（所）・幼稚園のあり方を検討
- ⑥ 子育て環境の充実
 - ◎ 多様化する子育て家庭のニーズに対応
 - ◎ 子どもや子育て家庭への保健・福祉が一体となった総合的な支援
 - ◎ 子育てに関する相談・支援体制や情報発信の充実
 - ◎ 子育て家庭と地域、子育て支援機関の交流
 - ◎ 児童虐待防止対策の充実
 - ◎ 震災遺児・孤児等の経済的負担の軽減
 - ◎ 子どもがのびのびと遊ぶことができる施設を整備
 - ◎ 子育て支援団体の活性化や遊び環境の充実
 - ◎ 進学を推進するための支援
 - ◎ 児童発達支援 ◎小中学校への思春期保健事業
 - ◎ 子どもの発達段階に応えた読書活動を支援

3 生涯学習・スポーツ

- ⑦ 生涯学習の充実
 - ◎ 市民が生涯にわたって、学ぶことができる環境を整備
 - ◎ 子育て世代や青壮年層が参加しやすい生涯学習機会の充実
 - ◎ 震災資料等の歴史・民俗資料を適切に収集・保存し、学校教育や生涯学習への活用
 - ◎ 博物館・図書館の魅力ある企画等の充実
 - ◎ 読書活動の推進と図書館資料の充実
 - ◎ 男女双方の視点から施策を実施するため、あらゆる分野への女性の参画拡大
- ⑧ 芸術文化の充実
 - ◎ 身近に芸術文化に触れることのできる環境づくりを推進
 - ◎ 芸術文化活動が行いやすく、参加しやすい環境を整備
 - ◎ 芸術文化活動団体の組織力強化に取り組む
- ⑨ スポーツの振興
 - ◎ スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充
 - ◎ 各種スポーツ団体の強化と指導者の育成に取り組む
 - ◎ 安心してスポーツ施設を利用できるよう施設の整備や改修に取り組む
 - ◎ 2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン国との相互交流を推進

5 令和3年度南相馬市学校教育努力目標

【基本目標】

「確かな学力」の定着を図るとともに、「豊かな心」、「健やかな体」を培うなど、「知・徳・体」をバランスよく育成する教育活動を推進する。

【具体目標】

- 1 確かな学力の育成
- 2 道德教育、生徒指導の充実
- 3 体育と健康に関する指導の充実
- 4 特別支援教育の推進
- 5 開かれた学校づくりの推進
- 6 図書館教育の充実

1 確かな学力の育成

(1) 確かな学力を育成する学校教育の充実

- ① 「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育成することを目指す学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた指導の充実を図る。
- ② 南相馬市教育委員会が策定した学力向上推進計画において、具体策として提案する「授業改善プラン」や「南相馬の授業スタイル」等にもとづき、同一步調で授業改善・授業展開の工夫に努め、全国トップレベルの学力を目指す。
- ③ 温かい人間関係を基盤に、児童生徒が共に高め合い、主体的に学習に取り組もうとする態度の育成に努める。
- ④ 少人数指導、複数の教師による指導等、個に応じたきめ細やかな指導の一層の充実、指導内容の明確化等、授業の改善に努める。
- ⑤ 児童生徒の学ぶ意欲を育成するとともに、望ましい学習習慣の確立を図る。
- ⑥ ICT機器を効果的に活用した教育や中央図書館との連携・協力による教育の充実に努める。
- ⑦ 児童生徒や保護者のニーズに応える特別支援教育の充実に努める。
- ⑧ 自国や他国の文化に対する理解を深める活動の充実や、豊かな語学力・コミュニケーション能力育成のための外国語教育の充実を図り、グローバル化に対応した教育を推進する。

(2) 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善や体験的・問題解決的な活動を取り入れた学習の充実

- ① 単元や題材などの内容や時間のまとまりを見通しながら、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。

- ② 問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育て、知の総合化を目指した総合的な学習の時間の充実を図る。
- ③ 市内外の各種施設、人材を活用した地域の歴史や伝統・文化、報徳仕法等、地域に根ざした至誠学（まごころ学）を推進し、郷土や地域社会の一員としての自覚や主体的態度の育成に努める。
- ④ 体験的な学習や問題解決的な学習にじっくり取り組むことができるよう、単位時間の弾力的な運用と学習活動・内容の工夫を行う。

(3) 幼稚園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校の円滑な接続・連携

- ① 幼稚園教育要領、小・中学校学習指導要領の系統性を十分踏まえ、幼稚園、小・中学校を見通した学習内容や方法を把握するとともに、学び方にかかわる指導等についての連携を図る。
- ② 学校種間での教員の授業交流、授業研究、情報交流等を進め、幼小連携、小中連携、中高連携を図る。

2 道徳教育、生徒指導の充実

(1) 道徳的実践力の育成を図る道徳教育

- ① 目指す児童生徒像及び学校における重点事項を明確にし、学校の教育活動全体を通して、年間を見通した計画的・発展的な指導を行う。
- ② 道徳教育推進教師を中心とした指導体制の下、全教師が授業に対して共通の関心や問題意識をもって授業に臨むことができるようにするとともに、校内研修の充実に努める。
- ③ 道徳教育の要としての特別の教科道徳における多様な指導方法や指導体制の工夫を図るとともに、他の教育活動との関連を一層深め、特に「生命尊重」「郷土愛」などの育成に努める。
- ④ 体験活動やボランティア活動などの豊かな体験を通じた道徳教育に努める。
- ⑤ ふくしま教育資料集や「二宮金次郎・富田高慶からの贈りもの」（市発行）を道徳の授業をはじめとする学校の道徳教育や家庭での教育において活用するよう努める。
- ⑥ 児童生徒の読書活動と豊かな心の育成の関連を図った指導の工夫・改善に努める。

(2) 自己指導能力の育成を図る生徒指導の充実

- ① 明確な役割分担により、一貫した指導ができる指導体制を確立し、日常的に機能するように改善する。
- ② 生徒指導の機能を積極的に発揮できるようにし、主体的な生活態度の育成に努める。
- ③ 児童生徒一人一人の思いや心情をとらえて個に応じた指導に努め、人間的な触れ合いのある温かい学級の雰囲気を醸成する。
- ④ 個々の教員がカウンセリングマインドをもって相談に応じ、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等を積極的に活用し、教職員間の連携も十分図りながら個に応じた指導を行う。

- ⑤ 学校いじめ防止基本方針を基に、いじめ防止等の対策のための組織を機能させ、「いじめはどの子どもにもどの学校でも起こりうるもの」との視点で、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。
- ⑥ 暴力行為の未然防止や児童虐待、不登校などの早期発見、早期対応、早期解決に努める。
- ⑦ 携帯電話(スマートフォン)の取扱い等、SNS 上での誹謗中傷やいじめ、有害情報の問題を踏まえ、情報モラルの指導の充実を図るとともに、保護者への啓発に努める。

(3) 将来に夢や希望をもてる児童生徒を育むキャリア教育の充実

- ① 児童生徒一人一人の特性に応じた適切な指導や援助を行い、将来の生き方を考え行動する能力や態度を育成する生き方の指導(進路指導)の充実に努める。
- ② 将来に対する目的意識、職業観を育成する職場体験活動を支援するとともに、児童生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくキャリア教育を促す。

3 体育と健康に関する指導の充実

(1) 体育・健康に関する指導の充実

- ① 体位・体力・運動能力のバランスのとれた発達を図る教科体育の充実に努め、積極的に運動に親しむ習慣や意欲を育てる。
- ② 教科体育の時間及び日常の体育的活動全般を活用した運動の促進を図る。
- ③ 地域の社会体育等の指導者や専門の講師を派遣し、児童生徒の運動身体能力、競技力の向上と運動への意欲や関心の向上に努める。特に、中学校においては、専門性の高い講師等から指導を受ける機会を設け、技能の向上を図る。

(2) 保健・安全指導と給食指導の充実

- ① 地震・津波・風水害・土砂災害等を想定した被害状況を予測し、地域や関係機関との連携を図りながら防災意識を高め、児童生徒の生命を確実に守る。
- ② 児童生徒の心の健康保持のため、保健室相談活動の充実や保護者、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携に努める。
- ③ 小児生活習慣病検診事業の実施や保護者に対する啓発活動を進め、小児生活習慣病の予防に努める。
- ④ 食育については、食育推進コーディネーターを中心とした指導体制を充実させるとともに、学校の実態に応じた食育教育全体計画に基づき、給食の時間はもとより、各教育活動における食に関する学習と相互に連携を図りながら、横断的・総合的な指導に努める。
- ⑤ 性教育の充実、薬物乱用防止教育の推進を通して、健康教育の充実に努める。
- ⑥ 施設・設備や危険箇所の点検・改善による学校事故防止、不審者の侵入事故に対する緊急時対

応マニュアルの一層の活用・改善に努める。

- ⑦ 学区内の通学路や行動範囲に係る「安全マップ」を活用し、安全意識の高揚に努める。

(3) 放射線教育の充実

- ① 放射線に関する指導計画の自校化を図り、教育活動全体を通して児童生徒の発達段階に応じた系統的・継続的な指導を行い、被ばくの防止、放射線についての知識の習得及びそれら正しい知識に基づく合理的な判断力を身につけさせる放射線教育の充実に努める。
- ② 学級活動の時間において、指導内容を系統的に配置し、児童生徒が安全で安心な生活を送ることができるよう指導の充実に努めるとともに、授業の実践を累積し、指導の充実に図る。

4 特別支援教育の推進

(1) 学校における特別支援教育の充実

- ① 特別支援教育コーディネーターを中心に校内の指導体制を整備し、一人一人のニーズに応じた指導の充実、個別の指導計画・教育支援計画の作成と指導の改善に努める。
- ② 共に学び、共に育つ交流及び共同学習の充実に努める。

(2) 支援体制整備の充実

- ① 地域における医療、福祉、保健、教育等の関係機関が連携した支援に努める。
- ② 相談支援ファイルの活用を図り、一貫した支援に努める。
- ③ 教職員や保護者に対して、特別支援教育についての理解・啓発を図る。

5 開かれた学校づくりの推進

(1) 学校評価の充実

- ① 保護者や地域住民等の意見を聴取し、学校の経営方針の説明を進めるとともに、学校評議員会やいじめ問題対策協議会等の一層の活用にも努める。

(2) 学校の自己評価の公表と学校関係者評価の実施

- ① 教育活動や学校運営等の状況についての自己評価とその結果の公表を行うとともに、保護者、地域の人々による学校関係者評価の実施・公表に努める。

(3) 家庭や地域社会との連携及び協働

- ① 学校や地域の実態等に応じ、教育活動に必要な体制を家庭や地域の協力を得ながら整えるなど、家庭や地域社会との連携及び協働を深める。

6 図書館教育の充実

(1) 学校図書館の授業や読書での活用

- ① 図書館資料の買い替えと補充を計画的に実施し、蔵書の充実を図る。
- ② 調べ学習等授業での活用、朝の読書との連携、読み聞かせやブックトークの充実など、児童生徒が読書に親しむ環境づくりに努める。

(2) 中央図書館との連携・協力、学校司書の配置

- ① 中央図書館との連携を図り、学校図書館の運営やアドバイス、団体貸出等を通して、児童生徒が本と出会う機会を増やし、読書の楽しさや有意義さを実感できるよう努める。
- ② 学校司書をすべての小・中学校に配置し、児童生徒の読書環境の整備・充実に努める。

Ⅲ 教育財政

1 令和3年度当初予算

(1) 一般会計

歳 入				歳 出			
科目		予算額 (千円)	構成比 (%)	科目		予算額 (千円)	構成比 (%)
1	市税	9,339,082	20.6%	1	議会費	245,522	0.5%
2	地方譲与税	284,979	0.6%	2	総務費	6,133,573	13.5%
3	利子割交付金	5,000	0.0%	3	民生費	12,560,624	27.7%
4	配当割交付金	24,000	0.1%	4	衛生費	3,680,723	8.1%
5	株式等譲渡所得割交付金	12,000	0.0%	5	労働費	79,686	0.2%
6	法人事業税交付金	89,000	0.2%	6	農林水産業費	7,478,469	16.5%
7	地方消費税交付金	1,402,000	3.1%	7	商工費	1,751,242	3.9%
8	ゴルフ場利用税交付金	6,000	0.0%	8	土木費	2,739,971	6.1%
9	自動車取得税交付金	1	0.0%	9	消防費	1,262,308	2.8%
10	環境性能割交付金	31,000	0.1%	10	教育費	5,183,269	11.4%
11	地方特例交付金	27,003	0.1%	11	災害復旧費	938,944	2.1%
12	地方交付税	9,447,351	20.8%	12	公債費	3,147,300	6.9%
13	交通安全対策特別交付金	6,000	0.0%	13	予備費	120,000	0.3%
14	分担金及び負担金	180,335	0.4%				
15	使用料及び手数料	369,285	0.8%				
16	国庫支出金	4,516,835	10.0%				
17	県支出金	9,414,717	20.8%				
18	財産収入	197,991	0.4%				
19	寄附金	75,006	0.2%				
20	繰入金	5,065,122	11.2%				
21	繰越金	600,000	1.3%				
22	諸収入	1,225,370	2.7%				
23	市債	3,003,554	6.6%				
	合 計	45,321,631	100.0		合 計	45,321,631	100.0

(2) 育英資金貸付特別会計

歳 入				歳 出			
科目		予算額 (千円)	構成比 (%)	科目		予算額 (千円)	構成比 (%)
1	貸付金回収金	34,150	95.2%	1	総務費	2,762	7.7%
2	使用料及び手数料	9	0.0%	2	貸付金	33,108	92.3%
3	財産収入	14	0.0%	3	基金積立金	14	0.0%
4	寄附金	1	0.0%				
5	繰越金	1	0.0%				
6	諸収入	2	0.0%				
7	繰入金	1,707	4.8%				
	合 計	35,884	100.0		合 計	35,884	100.0

2 令和3年度教育費等予算

【歳出内訳】（単位：千円）

教育費

科目	予算額	前年度	比較
教育総務費	749,716	735,749	13,967
小学校費	422,865	429,080	△6,215
中学校費	280,328	328,539	△48,211
幼稚園費	547,567	579,456	△31,889
社会教育費	1,296,947	1,120,733	176,214
保健体育費	1,572,318	845,483	726,835
東日本大震災教育対策費	165,613	149,267	16,346
原子力災害教育対策費	147,915	151,724	△3,809
合 計	5,183,269	4,340,031	843,238

民生費（児童福祉費抜粋）

科目	予算額	前年度	比較
児童福祉費	3,067,975	3,194,307	△126,332

【財源内訳】（単位：千円）

教育費		民生費（児童福祉費抜粋）	
	国県支出金 497,932		国県支出金 1,654,314
特定財源	-----	特定財源	-----
	地方債 751,100		地方債 0
	-----		-----
	その他 722,482		その他 140,501
一般財源	3,211,755	一般財源	1,273,160
合計	5,183,269	合計	3,067,975

Ⅳ 学 校 教 育

1 学校一覧

(1) 小学校

学校名	所在地	電話	校長氏名	教頭氏名
原町第一小学校	原町区東町二丁目66	22-5166	伏見 康弘	横山 浩志
原町第二小学校	原町区橋本町一丁目101	22-4114	伏見 伸一郎	加藤與志輝
原町第三小学校	原町区上町一丁目13	22-4141	和田 安吉	烏中 雪野
高 平 小学校	原町区下北高平字古館22	22-3420	志賀 英司	齋藤 安弘
大 甕 小学校	原町区大甕字鶴蒔8	22-3881	佐藤 伸洋	町田 光雄
太 田 小学校	原町区益田字塩釜236	22-3822	高田 昌幸	佐藤 秀敬
石神第一小学校	原町区北長野字北原田288	22-2829	鈴木 克哉	遠藤 正隆
石神第二小学校	原町区大木戸字西原1	22-2724	林 典行	西 敦美
原 町 区				8 校
鹿 島 小学校	鹿島区鹿島字広町13	46-2240	草野 収	高野 道子
八 沢 小学校	鹿島区南屋形字北原32	46-2535	佐々木 徹	齋藤 祐一
上 真 野小学校	鹿島区浮田字一丁目81	47-2226	高野伸一郎	角田 健太郎
鹿 島 区				3 校
小 高 小学校	小高区関場一丁目77-1	44-2022	村田 権一	山内 隆
小 高 区				1校
合 計				12校

(令和3年5月1日現在)

区分	学年別児童数・学級数								教職員数（本務者）							市職員	計
	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	計	校長	教頭	教諭	養護	講師	栄養	事務	給食	
児童	60	47	49	55	55	69	19	354	1	1	23	1	2	1	1	1	31
学級	2	2	2	2	2	3	3	16									
児童	30	28	31	26	18	29	13	175	1	1	10	1	1		1	2	17
学級	1	1	1	1	1	1	2	8									
児童	72	65	40	64	41	64	14	360	1	1	21	1	3	1	1	1	30
学級	3	3	2	2	2	2	3	17									
児童	23	17	15	15	15	17	4	106	1	1	8	1	1		1	2	15
学級	1	1	1	1	1	1	1	7									
児童	15	23	9	16	18	13	3	97	1	1	9	1	1		1	1	15
学級	1	1	1	1	1	1	2	8									
児童	10	6	8	10	6	5		45	1	1	4	1	2		1		10
学級	1	1		1	1			4									
児童	11	11	10	7	13	9	3	64	1	1	10	1			1		14
学級	1	1	1	1	1	1	1	7									
児童	52	51	43	42	42	40	13	283	1	1	17	1	4	1	1		26
学級	2	2	2	2	2	2	3	15									
児童	273	248	205	235	208	246	69	1,484	8	8	102	8	14	3	8	7	158
学級	12	12	10	11	11	11	15	82									
児童	49	62	39	48	63	49	14	324	1	1	18	1	4		2		27
学級	2	3	2	2	2	2	3	16									
児童	7	9	8	19	10	11	6	70	1	1	9	1	1		1		14
学級	1	1	1	1	1	1	2	8									
児童	9	5	7	9	16	18	2	66	1	1	8	1			1		12
学級	1	1		1	1	1	1	6									
児童	65	76	54	76	89	78	22	460	3	3	35	3	5	0	4	0	53
学級	4	5	3	4	4	4	6	30									
児童	13	6	6	8	10	14	4	61	1	1	12	1	2	1	1		19
学級	1	1		1	1	1	2	7									
児童	13	6	6	8	10	14	4	61	1	1	12	1	2	1	1	0	19
学級	1	1		1	1	1	2	7									
児童	351	330	265	319	307	338	95	2,005	12	12	149	12	21	4	13	7	230
学級	17	18	13	16	16	16	23	119									

(2) 中学校

学校名	所在地	電話	校長氏名	教頭氏名
原町第一中学校	原町区南町三丁目23	22-4144	伊藤 浩樹	小林 正和
原町第二中学校	原町区桜井町一丁目152	22-4188	和田 節子	北澤 和久
原町第三中学校	原町区下太田字川内前12-2	22-3802	鈴木 太	星 由紀枝
石 神 中学校	原町区石神字北畑47-1	22-3373	佐藤 恭司	織田島賢嗣
原 町 区				4 校
鹿 島 中学校	鹿島区寺内字落合28	46-2019	高橋 知宏	稲葉 真二
小 高 中学校	小高区吉名字中坪1	44-2023	堀川 泰宏	橋本 浩幸
合 計				6 校

(令和3年5月1日現在)

区分	学年別生徒数・学級数					教職員数(本務者)								市職員	計
	1	2	3	特別支援学級	計	校長	教頭	教諭	養護	講師	栄養	事務	給食		
生徒	102	125	107	7	341	1	1	22	1	5	1	1		32	
学級	4	4	4	2	14										
生徒	48	77	67	6	198	1	1	20	2	2		1		27	
学級	2	3	3	2	10										
生徒	24	19	35	3	81	1	1	12	1	2		1		18	
学級	1	1	2	2	6										
生徒	58	57	53	6	174	1	1	14	1	2		1		20	
学級	2	2	2	2	8										
生徒	232	278	262	22	794	4	4	68	5	11	1	4	0	97	
学級	9	10	11	8	38										
生徒	92	93	80	11	276	1	1	18	1	2	1	1	0	25	
学級	4	3	3	2	12										
生徒	19	13	14	3	49	1	1	9	1	2		1	0	15	
学級	1	1	1	2	5										
生徒	343	384	356	36	1,119	6	6	95	7	15	2	6	0	137	
学級	14	14	15	12	55										

2 児童・生徒数

(1) 校種別

(令和3年5月1日現在)

区 分	小 学 校	中 学 校
校 数	1 2	6

(2) 学年別児童生徒数

区 分	学 年	児 童 ・ 生 徒 数
小 学 校	1 学年	363 (12)
	2 学年	348 (18)
	3 学年	280 (15)
	4 学年	335 (16)
	5 学年	321 (14)
	6 学年	358 (20)
	計	2,005 (95)
中 学 校	1 学年	362 (19)
	2 学年	390 (6)
	3 学年	367 (11)
	計	1,119 (36)

※ () の数字は特別支援学級の児童生徒数 (内数)

(3) 就学・転入学

令和3年度小中学校入学状況

区 分	入学該当者 総 数	入学者数	就学義務 猶予者数	就学義務 免除者数	特別支援学校等 入 学 者 数
小 学 校	369人	363人	—	—	6人
中 学 校	367人	362人	—	—	5人

令和2年度転入出・市内転校状況 (*転入出通知書送付件数)

区 分	小 学 校	中 学 校	計
転 入	43 件	6 件	49 件
転 出	24 件	4 件	28 件
市 内 転 校	2 件	0 件	2 件
計	69 件	10 件	79 件

(4) 中学校卒業生の進学就職状況

令和2年度

学校名	卒業生			進学者			就職者			その他			進学率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
原町一中	68	54	122	67	54	121	0	0	0	1	0	1	99.2
原町二中	37	39	76	37	39	76	0	0	0	0	0	0	100.0
原町三中	11	14	25	11	14	25	0	0	0	0	0	0	100.0
石 神 中	37	36	73	36	35	71	0	0	0	1	1	2	97.3
鹿 島 中	57	54	111	56	54	110	0	0	0	1	0	1	99.1
小 高 中	14	7	21	14	7	21	0	0	0	0	0	0	100.0
計	224	204	428	221	203	424	0	0	0	3	1	4	99.1

年 度 別

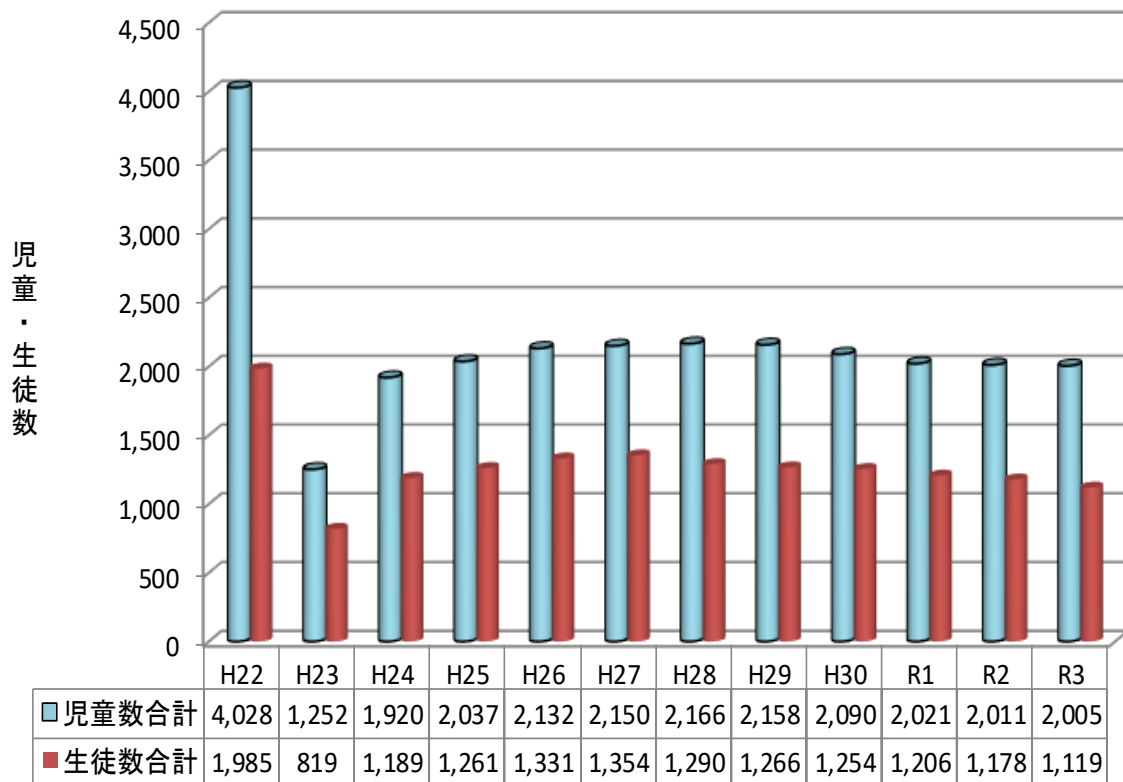
年度	卒業生			進学者			就職者			その他			進学率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
H23	234	218	452	229	218	447	0	0	0	5	0	5	98.9
24	221	225	446	216	223	439	3	2	5	2	0	2	98.4
25	192	193	385	187	191	378	4	1	5	1	1	2	98.1
26	234	198	432	229	198	427	1	0	1	4	0	4	98.8
27	249	241	490	245	239	484	1	2	3	3	0	3	98.8
28	227	204	431	226	203	429	0	0	0	1	1	2	99.5
29	215	228	443	214	226	440	0	0	0	1	2	3	99.3
30	217	201	418	214	199	413	0	2	2	3	0	0	98.8
R1	195	217	412	194	214	408	0	0	0	1	3	4	99.0
2	224	204	428	221	203	424	0	0	0	3	1	4	99.1

(5) 児童・生徒数の推移

(各年5月1日現在 単位：人)

年度 学校名	H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
原町一小	598	158	304	358	389	399	411	400	394	376	356	354
原町二小	331	81	162	163	177	175	183	168	167	180	176	175
原町三小	538	167	220	252	278	282	323	330	330	321	337	360
高平小	193	54	112	112	112	113	120	121	112	107	95	106
大甕小	204	52	89	100	107	118	115	123	117	101	102	97
太田小	133	24	59	60	53	50	51	43	49	49	46	45
石神一小	187	70	83	88	83	73	69	63	57	57	59	64
石神二小	486	184	204	220	248	260	275	292	270	271	283	283
鹿島小	317	195	264	268	329	337	327	368	349	341	347	324
真野小	75	35	47	43								
八沢小	120	72	87	83	88	93	84	78	80	71	72	70
上真野小	141	98	111	111	113	116	116	110	96	88	74	66
小高小	392	25	95	97	81	70	51	47	50	42	46	61
福浦小	105	16	33	30	31	31	18	8	11	9	7	
金房小	143	11	29	34	32	25	17	4	2	4	4	
鳩原小	65	10	21	18	11	8	6	3	6	4	7	
計	4,028	1,252	1,920	2,037	2,132	2,150	2,166	2,158	2,090	2,021	2,011	2,005
原町一中	506	197	308	316	331	329	313	342	349	361	357	341
原町二中	318	119	193	225	259	275	248	238	232	228	222	198
原町三中	163	60	93	93	100	104	93	82	79	84	78	81
石神中	319	162	197	233	228	252	238	252	224	202	183	174
鹿島中	297	240	297	303	310	293	309	286	310	278	289	276
小高中	382	41	101	91	103	101	89	66	60	53	49	49
計	1,985	819	1,189	1,261	1,331	1,354	1,290	1,266	1,254	1,206	1,178	1,119

児童・生徒数の推移



3 教育指導

(1) 令和3年度事業計画

(令和3年4月1日現在)

事業名	事業目的	事業内容
学校訪問	○学校教育の充実・向上を図る。 ○各学校（園）の教育課程の実施状況を図るとともに学習指導のあり方について指導・助言を行う。 ○学校が抱えている学校運営上の諸問題及び教育環境、教材教具、施設設備の整備状況等の視察・聴取を行い、学校運営の質的向上に努める。 ○教職員との研究協議や懇談により、児童生徒の望ましい成長を図る上での学校生活や家庭生活における問題点を把握し、指導・助言を通して児童生徒の健全な育成を図る。 ○授業改善をねらいとした授業研究会を実施することにより、児童生徒の基礎的・基本的な内容の一層の定着と活用力の育成を図る。 ○全職員が自校の課題について共通理解を図り、共同歩調で授業実践・授業改善に取り組もうとする意識の一層の醸成を図る。	○指導訪問 高平幼小 太田小 石神二小 小高小 原町二中 鹿島中 ○教育課程実施状況調査訪問 (全学級訪問・管理訪問) 原町一小 原町三小 八沢小 上真野小 原町一中 小高中 ○活用力向上授業研究 原町二小 大甕小 石神一小 鹿島小 原町三中 石神中
学校不適応対策事業	○ 不登校状態にある児童生徒に生活指導及び学習指導等を行い、生活リズムを改善するとともに自立心や社会性を養い、学校生活に復帰できるように支援する。	○適応指導教室 登室を通して児童生徒の不登校状態の改善に向けて助言や支援を行う。 やすらぎ広場（原町区） さくら教室（鹿島区） 紅梅教室（小高区） ○心のケア相談会 不登校や学校生活の悩みや心配事に対し、専門家（臨床心理士）による相談を行う。 年10回（第3木曜日）開催 ○来所相談・電話相談 学校・家庭生活などの悩みや心配事について助言を行う。 小中学生及び保護者対象 ○学校巡回相談 不登校状態にある児童生徒についての改善に向けて指導・助言を行う。 教育指導員による学校訪問
就学指導アドバイザー配置事業	○ 児童生徒の問題行動等に対応するため、特別支援教育に関して専門的な知識、経験、技能を有する者を委嘱し、児童生徒、教職員及び保護者に対し、指導・助言を行う。	○学校巡回相談 就学指導アドバイザーが、計画的に小・中学校を訪問し、就学指導等について指導・助言を行う。 年間70日 ○定期学校訪問 就学指導アドバイザーが、学校訪問し、特別支援教育について指導、助言を行う。 年間10校程度

南相馬市中心身障がい児 就学指導審議会	教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる者の就学指導及び教育相談に関する事項について調査審議する。 ・ 就学時健康診断の結果、心身に障がいがあると認められた就学予定者 ・ 在籍している児童生徒のうち、特別支援学校又は特別支援学級で教育を受けることが必要であると認めた者 ・ 就学義務猶予又免除を願い出た者及び現に措置を受けている者	○第1回審議会 9月1日(水) 在学児童生徒の諮問 ○第2回審議会 10月27日(水) 新入学児童の諮問 在学児童生徒の追加諮問 在学児童生徒についての審議 ○第3回審議会 12月1日(水) 新入学児童についての審議 追加在学児童生徒についての審議
学校教育指導委員会	公立学校の学習指導の改善及び学校教育の振興に必要な諸問題の研究を推進する。	○公立学校に関する各種の研究調査に関すること。 ○市教育委員会の学校教育努力目標原案に関すること。 ○公立学校の教育活動についての指導助言に関すること。 ○その他の指導に関すること。
学力向上推進プラン (先進地への視察研修)	先進地での研修や学習指導研究の先進地をモデルとして、教育課題への対応及び学力向上に向けた指導のあり方について研修を深め、資質の向上を図るとともに各学校の教育活動の充実に資する。	○学習指導研究先進地（由利本荘市）をモデルとした研修会の実施 ○各校の計画による視察研修
学校教育支援センター	教育に関する相談、学校適応指導、教育関係職員の研修及び教育に関する調査研究等の支援を行い、学校教育の充実と振興に資する。	○教育相談に関すること。 ○学校適応指導に関すること ○教育関係職員の研修に関すること ○教育に関する調査研究に関すること ○その他目的達成するために必要と思われる事業 ○場所 原町なかまち保育園 ○開設日 月～金曜日 8時30分から16時00分まで
学習塾と連携した学力強化推進事業	学習塾講師による中学校3年生を対象とした夏季学習講座及び中学校2年生を対象とした学習講座を冬・春季長期休業前に実施し、生徒の学力向上を図る。 標準化されたテストを市内中学校共通テストとして導入し、教員及び学習塾講師の指導、支援に生かすとともに、生徒が知識の汎用性、活用力を高める。	○中学3年生及び2年生の国語・数学・英語の学力向上を図るため、仙台市の学習塾講師による学習講座を実施する。 ・ 中学3年生の夏季学習講座 7月～9月 ・ 中学2年生の冬季、春季学習講座 11月～12月 平日1時間 計3回 2月～3月 平日1時間 計3回 ○市内中学校で同一日に南相馬市中間テストを実施する。 ・ 第1回…5月、第2回…9月
公立学校適正化推進事業	小中学校の小規模化が進行している中、子どもたちが集団生活を通して、社会性・協調性・集団性を培いながら切磋琢磨する教育環境を整備するため、小中学校の適正化を図る。 また、小中学校の適正化に合わせ、小中一貫校や小規模特認校の制度研究を含め、特色と魅力ある学校づくりを目指す。	○各地区における懇談会等の開催 【適正化推進地区】 鹿島地区、太田大甕地区 ・ 地区懇談会 ・ 学校適正化検討協議会 ・ 学校統合準備協議会 ・ 先進地視察 ・ 高等教育機関連携
中学生海外研修事業	中学生の海外研修を通して、「広い視野をもった生徒の育成」「学びの意欲のきっかけづくり」を図るとともに、英語を通じたコミュニケーション力を培い、学習意欲はもとより、思考力・判断力・	○海外研修（代替研修）の実施 ・ 対 象 ①中学2年生 40名 ②中学3年生 40名 ・ 実施日 ①1月29日～1月30日

	表現力の向上を目指し、未来を担う人材を育成する。	②10月2日～10月3日 ・研修先 プレティッシュ・ヒルズ[®] (福島県天栄村)
外国語教育推進事業	令和2年度の小学校における外国語教育の教科化をはじめ、令和3年度から中学校の学習指導要領改定が全面実施となることから、児童生徒の語学力向上及び国際理解教育の推進を図るとともに、コミュニケーション能力の素地及びコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成を図るため、英語学習の習熟度に応じた英語教育を展開する。	○国内研修の実施 ・プレティッシュ・ヒルズ[®]：中学1年生全員 ○外部検定受験の支援 ・英検受検支援：中学3年生 の希望者 ○外国語指導助手（ALT）の配置 ・市内小中学校へ9名配置
学力向上教員配置事業	小中学生の学力調査等において、対応すべき科目等について把握し、個に応じた指導内容を含め、基礎学力や活用力の向上を図るため、必要となる学校へ市が独自に採用する教員を配置する。	○小学校への教員配置 ・科目 算数 ・採用予定人数 3名 ○中学校への教員配置 ・科目 数学 ・採用予定人数 1名

(2) 令和2年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
学校訪問	○ 学校教育の充実向上を図る。 ○ 学校が抱えている学校運営上の諸問題及び教育環境、教材教具、施設設備の整備状況等の視察、聴取を行い、学校運営の質的向上に努める。 ○ 教職員との研究協議や懇談により、児童生徒の望ましい成長を図る上で、の学校生活や家庭生活における問題点を把握し、指導・助言を通して児童生徒の健全な育成を図る。 ○ 各学校（園）の教育課程の実施状況を図る。	○ 指導訪問 大甕小 石神一小 原町一中 ○ 教育課程実施状況調査訪問 （全学級訪問・管理訪問） 高平小 太田小 石神二小 小高小 福浦小 金房小 鳩原小 原町一中 小高小 ○ 活用力向上授業研究 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止
学校不適応対策事業	○ 不登校又は不登校傾向にある児童生徒に生活指導及び学習指導等を行い、生活リズムを改善するとともに自立心や社会性を養い、学校生活に復帰できるように支援する。	○ 適応指導教室 登室者13名（中学生9名） （学校復帰2名） （中学3年の進路 県立高校5名 私立通信制高校2名 就労1名） ○ 臨床心理士による心のケア相談会 年間 10回開催 相談件数 延べ24回（相談者数20名） ○ 来所相談・電話相談 来所相談 21名 電話相談 26名 訪問相談 9名
スクールカウンセラー（就学指導アドバイザー）配置事業	○ 児童生徒の問題行動等に対応するため、特別支援教育に関して専門的な知識、経験、技能を有する者を委嘱し、児童生徒、教職員及び保護者に対し、指導・助言を行う。	○ 学校巡回相談 就学指導アドバイザーが、68日間で小中学校延べ20校、保育園・幼稚園7園を訪問し、就学指導等について指導・助言を行った。 ○ 定期学校訪問 就学指導アドバイザーが、3校（小学校2校、中学校1校）を訪問し、特別支援教育について指導・助言を行った。
南相馬市心身障がい児就学指導審議会	教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる者の就学指導及び教育相談に関する事項について調査審議する。 ・ 就学時健康診断の結果、心身に障がいがあると認められた就学予定者 ・ 在籍している児童生徒のうち、特別支援学校又は特別支援学級で教育を受けることが必要であると認めた者 ・ 就学義務猶予又免除を願い出た者及び現に措置を受けている者	○ 9月2日（水）第1回審議会 在学児童生徒の諮問 ○ 10月21日（水）第2回審議会 新入学児童の諮問 在学児童生徒の追加諮問 在学児童生徒についての審議 ○ 12月2日（水）第3回審議会 新入学児童についての審議 追加在学児童生徒についての審議
学校教育指導委員会	基礎・基本の定着と活用力の向上を図るための実践的で効果のあがる学習指導改善の方策を構築し、市内小中学校で共通理解を図りながら授業実践を進めていく。	○ 2月17日（水）学校教育指導委員会（リモートによる） 次年度の授業改善プランの内容及び活用の仕方についての検討 校内の授業改善の状況、今後の改善に向けた取組についてのグループ協議

学校教育支援センター	教育に関する相談、学校適応指導、教育関係職員の研修及び教育に関する調査研究等の支援を行い、学校教育の充実と振興に資する。	○就学指導担当者等研修会 1回 ※希望者 ○学習支援員、介助員等研修会 2回 ○特別支援コーディネーター研修会 1回 ○放射線教育研修会 1回 ○小学校外国語活動研修会 1回 ○養護教諭研修会 1回 ○生徒指導研修会 1回 ○南相馬市常勤講師研修会 2回 ○学校教育支援センター運営委員会 2回 ○小学校理科観察・実験講座 1回
学習塾と連携した学力強化推進事業	学習塾講師による中学校3年生を対象とした夏季学習講座及び中学校2年生を対象とした学習講座を長期休業前に実施し、生徒の学力向上を図る。 標準化されたテストを市内中学校共通テストとして導入し、教員及び学習塾講師の指導、支援に生かすとともに、生徒が知識の汎用性、活用力を高める。	○中学3年生の夏季学習講座（国・数・英） 8月～10月 塾講師によるオンデマンド講義の実施 ○中学2年生の冬季学習講座（国・数・英） 11月～12月 平日1時間 計3回 ○中学2年生の春季学習講座（数・英） 2月～3月 新型コロナウイルス感染症対策のため、塾講師による授業を中止し、2教科（数・英）について講座用の学習プリントを春休みの課題として配付し実施 ○市内中学校で同一日に南相馬市中間テストを実施 第1回 5月 臨時休校の影響により、テストは実施せず、問題用紙を各学校で教材として活用 第2回 10月実施
公立学校適正化推進事業	小中学校の小規模化が進行している中、子どもたちが集団生活を通して、社会性・協調性・集団性を培いながら切磋琢磨する教育環境を整備するため、小中学校の適正化を図る。	○各地区における懇談会等の開催 ・小高区 学校統合準備協議会 6回 廃止学校の閉校式準備及び開催 新たな学校の開校式準備
中学生海外研修事業	中学生の海外研修を通して、「広い視野をもった生徒の育成」「学びの意欲のきっかけづくり」を図るとともに、英語を通じたコミュニケーション力を培い、学習意欲はもとより、思考力・判断力・表現力の向上を目指し、未来を担う人材を育成する。	○海外研修の中止 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、海外への渡航が困難な状況のため、事業を中止。
学力向上教員配置事業	小中学生の学力調査等において、対応すべき科目等について把握し、個に応じた指導内容を含め、基礎学力や活用力の向上を図るため、必要となる学校へ市が独自に採用する教員を配置する。	○小学校への教員配置 ・科目 算数 ・配置人数 2名 ○中学校への教員配置 ・科目 数学 ・配置人数 1名
ロボット活用スクールチャレンジ事業	人型ロボット「pepper」を活用したプログラミング教育を推進し、子どもたちの学習意欲の向上と創造的・論理的思考力の向上を図る。	○プログラミング教育の実施 ・全小中学校へのpepper配置 ○スクールチャレンジ市大会の開催 ・開催日時 12月1日～12月18日 (映像による審査)

(3) 南相馬市の特別支援教育の現状

特別支援学級に在籍する児童生徒数

(令和3年5月1日現在)

学校 学年	小 学 校							中 学 校				合 計
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	
児童生徒数	12	18	15	16	14	20	95	19	6	11	36	131

障がい別特別支援学級及び児童生徒数

(令和3年5月1日現在)

区分	設置校数	学級数	児童生徒数	設置校名(人数)
知的障がい学級	17	20	85	原一小(14)・原二小(8)・原三小(10) 高平小(4)・大甕小(1)・石一小(3) 石二小(4)・鹿島小(13)・八沢小(3) 上真野小(2)・小高小(1)・原一中(3) 原二中(4)・原三中(2)・石神中(4) 鹿島中(8)・小高中(1)
自閉症・情緒 障がい学級	14	15	46	原一小(5)・原二小(5)・原三小(4) 大甕小(2)・石二小(9)・鹿島小(1) 八沢小(3)・小高小(3) 原一中(4)・原二中(2)・原三中(1) 石神中(2)・鹿島中(3)・小高中(2)
計	—	35	131	

障がい別通級指導実施校及び児童生徒数

(令和3年5月1日現在)

区 分	実施校数	児童・生徒数			実施校名 (指導教員数)
		自校	市内他校	市外	
言語	1	28	34	0	原町一小(3)
情緒	2	16	3	0	原町三小(1)
		1	13	0	石神中(1)
ADHD	2	21	8	0	石神二小(2)
		29	4	0	鹿島小(1)

4 就学奨励

(1) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助

経済的な理由で就学困難な児童生徒に対し、就学援助の目的をもって学用品等を支給する。

(令和3年度当初予算)(単位：円、人)

区 分 名 称	小 学 校			中 学 校		
	1人年額	人 員	給付額	1人年額	人 員	給付額
通 学 用 品 費	2,300	250	575,000	2,300	135	310,500
学用品費(その他)	11,750	300	3,525,000	22,960	200	4,592,000
修 学 旅 行 費	—	—	—	62,340	65	4,052,100
新 入 学 学 用 品 費 (入学前支給を含む)	75,370	50	3,768,500	69,260	70	4,848,200
通 学 費	40,000	3	120,000	40,000	2	80,000
給 食 費	57,040	300	17,112,000	60,720	135	8,197,200
				59,340	65	3,857,100
医 療 費	—	—	—	—	—	—
校外活動費(宿泊なし)	1,620	300	486,000	2,340	200	468,000
校外活動費(宿泊あり)	3,730	115	428,950	—	—	—
児 童 会 ・ 生 徒 会 費	3,290	300	987,000	3,927	200	785,400
P T A 会 費	2,443	300	732,900	3,017	200	603,400
卒 業 ア ル ハ ム 代	11,110	65	722,150	8,890	65	577,850
計 (実 人 員)		300	28,457,500		200	28,371,750

(2) 特別支援教育就学奨励

特別支援学級への就学の特殊事情にかんがみ、その就学にかかる保護者の経済的負担を軽減する。

(令和3年度当初予算)(単位：円、人)

区 分 名 称	小 学 校			中 学 校		
	1人年額	人 員	給付額	1人年額	人 員	給付額
学 用 品 費	5,880	67	393,960	11,490	34	390,660
通 学 用 品 費	—	—	—	—	—	—
修 学 旅 行 費	—	—	—	29,150	10	291,500
新 入 学 学 用 品 費	25,820	7	180,740	29,280	18	527,040
通 学 費	40,000	1	40,000	—	—	—
給 食 費	28,520	67	1,910,840	30,360	24	728,640
				29,670	10	296,700

校外活動費（宿泊なし）	810	34	27,540	1,170	17	19,890
校外活動費（宿泊あり）	1,870	13	24,310	—	—	—
計（実人員）		67	2,577,390		34	2,254,430

（３）遠距離通学費補助

通常の経路による通学距離が片道４km以上の１年生から６年生の児童の保護者に対し、路線バス定期乗車券購入金額の全額又は月額800円を10カ月間（長期休業期間を除く）補助し、保護者負担の軽減を図る。

（令和3年度当初予算）

区 分	1人年額（平均）	人 員	給 付 額
バ ス 利 用 者	40,000円	33人	1,320千円
そ の 他 の 者	8,000円	60人	480千円
計		93人	1,800千円

5 学校保健・安全

(1) 学校医等の設置状況

(令和3年5月末日現在)

区分	学 校 名	内 科 医	眼 科 医	耳 鼻 咽 喉 科 医
小 学 校	原町第一小学校	小 野 田 昌 敏	高 野 良 真	青 柳 優
	原町第二小学校	平 田 慶 肇	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	原町第三小学校	樋 口 利 行	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	高 平 小 学 校	小 泉 祐 功	高 野 良 真	青 柳 優
	大 甕 小 学 校	石 原 開	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	太 田 小 学 校	石 原 開	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	石神第一小学校	新 道 譲 二	高 野 良 真	若 盛 和 雄
	石神第二小学校	新 道 譲 二	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	鹿 島 小 学 校	菅 原 通 夫	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	八 沢 小 学 校	田 村 融 彦	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	上 真 野 小 学 校	田 村 融 彦	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	小 高 小 学 校	小 鷹 昌 明	佐 柄 英 人	渡 辺 昭 夫
中 学 校	原町第一中学校	田 部 周 市	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	原町第二中学校	猪 又 と し 子	高 野 良 真	若 盛 和 雄
	原町第三中学校	石 原 開	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	石 神 中 学 校	駒 場 正 雄	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	鹿 島 中 学 校	渡 邊 善 二 郎	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	小 高 中 学 校	小 鷹 昌 明	佐 柄 英 人	渡 辺 昭 夫

区分	学 校 名	歯 科 医	薬 剤 師	養 護 教 諭
小 学 校	原町第一小学校	板 倉 良 暢	邨 松 智 子	池 田 マチ子
	原町第二小学校	小 林 礼 樹	人 見 順	土 田 桃 歌
	原町第三小学校	森 岡 奈保子	人 見 順	皆 原 由美子
	高 平 小 学 校	松 本 断	八 牧 将 彦	齋 藤 未 歩
	大 甕 小 学 校	熊 耳 隆 洋	堀 内 由 子	渡 辺 百 香
	太 田 小 学 校	河 田 祥一郎	堀 内 由 子	名 木 真 澄
	石神第一小学校	荒 川 二 朗	八 牧 将 彦	品 竹 萌 花
	石神第二小学校	山 田 隆 信	桃 井 秀 世	石 川 歩
	鹿 島 小 学 校	大 沼 俊 美	佐 藤 伸 二	長谷川 之 子
	八 沢 小 学 校	木 幡 孝	菊 池 徹	日下部 零
	上 真 野 小 学 校	吉 田 豊	菊 池 智 之	橋 本 知 佳
	小 高 小 学 校	今 村 隆 一	望 月 雄 太	秋 山 友 美
中 学 校	原町第一中学校	加 藤 悟 郎	志 賀 邦 子	紺 野 よしえ
	原町第二中学校	竹 林 実	屋 代 万 起子	佐 藤 泰 子
	原町第三中学校	鈴 木 庸 介	屋 代 万 起子	鈴 木 麻 由 子
	石 神 中 学 校	草 野 保 之	桃 井 秀 世	前 川 美 由 樹
	鹿 島 中 学 校	相 良 一 也	菊 池 功	武 藤 真 生
	小 高 中 学 校	今 村 隆 一	望 月 雄 太	小 林 ひろみ

(2) 身長・体重の平均値（令和２年度）

(小学校)

(単位：身長(cm)、体重(kg))

区 分		男 子		女 子	
		身長	体重	身長	体重
6 歳	全 国 平 均	116.5	21.4	115.6	20.9
	福 島 県 平 均	116.8	21.8	115.7	21.3
	南相馬市平均	117.7	22.6	116.7	22.3
7 歳	全 国 平 均	122.6	24.2	121.4	23.5
	福 島 県 平 均	122.4	24.5	121.9	24.0
	南相馬市平均	122.8	25.4	122.0	24.9
8 歳	全 国 平 均	128.1	27.3	127.3	26.5
	福 島 県 平 均	128.7	28.2	127.8	27.2
	南相馬市平均	129.0	29.2	128.1	27.6
9 歳	全 国 平 均	133.5	30.7	133.4	30.0
	福 島 県 平 均	133.7	31.4	133.4	30.7
	南相馬市平均	135.0	33.0	134.9	32.5
10 歳	全 国 平 均	139.0	34.4	140.2	34.2
	福 島 県 平 均	139.1	35.1	140.5	34.5
	南相馬市平均	139.2	36.0	140.8	36.3
11 歳	全 国 平 均	145.2	38.7	146.6	39.0
	福 島 県 平 均	145.5	40.4	147.2	40.3
	南相馬市平均	146.2	42.0	148.5	43.3

(中学校)

(単位：身長(cm)、体重(kg))

区 分		男 子		女 子	
		身長	体重	身長	体重
12歳	全 国 平 均	152.8	44.2	151.9	43.8
	福 島 県 平 均	153.6	45.6	151.5	44.5
	南相馬市平均	154.9	47.1	152.8	47.3
13歳	全 国 平 均	160.0	49.2	154.8	47.3
	福 島 県 平 均	160.5	50.3	154.8	49.0
	南相馬市平均	162.2	54.3	155.5	49.8
14歳	全 国 平 均	165.4	54.1	156.5	50.1
	福 島 県 平 均	164.8	53.7	156.2	50.7
	南相馬市平均	166.9	57.1	156.2	52.3

(3) 小児生活習慣病健康診断結果

(令和2年度)

・小学4年生

実施人数

(単位：人)

男 子	女 子	合 計	身体測定	血圧測定	生化学検査
147	160	307	307	307	307

検査所見別集計

(単位：人、%)

性別	高度肥満		中等度肥満		軽度肥満		血圧高値		糖尿病		高コレステロール	
男 子	6	4.1	6	4.1	12	8.2	1	0.7	0	0	25	17.0
女 子	4	2.5	6	3.8	20	12.5	2	1.2	0	0	41	25.7
合 計	10	3.3	12	3.9	32	10.4	3	1.0	0	0	66	21.5

管理区分集計

(単位：人、%)

性別	要医学的管理		要経過観察		要生活指導		管理不要		正 常	
男 子	7	4.8	8	5.4	28	19.0	68	46.3	36	24.5
女 子	8	5.0	13	8.1	37	23.1	65	40.6	37	23.1
合 計	15	4.9	21	6.8	65	21.2	133	43.3	73	23.8

項目別平均値

性別	身 長 (cm)	体 重 (kg)	肥 満 度 (%)	血 圧 (mmHg)	総コレステロール (mg/dL)
男 子	136.7	34.2	5.0	102/56.6	174.7
女 子	137.4	34.1	4.5	103/58.2	178.1

・ 中学 1 年生

実施人数

(単位 : 人)

男 子	女 子	合 計	身体測定	血圧測定	生化学検査
1 8 3	1 8 4	3 6 7	3 6 7	3 6 7	3 6 7

検査所見別集計

(単位 : 人、%)

性別	高度肥満		中等度肥満		軽度肥満		血圧高値		糖尿病		高コレステロール	
男 子	5	2.7	7	3.8	14	7.7	1	0.5	0	0	15	8.2
女 子	5	2.7	10	5.4	12	6.5	0	0	0	0	23	12.4
合 計	10	2.7	17	4.6	26	7.1	1	0.3	0	0	38	10.3

管理区分集計

(単位 : 人、%)

性別	要医学的管理		要経過観察		要生活指導		管理不要		正 常	
男 子	5	2.7	9	4.9	22	12.0	92	50.3	55	30.1
女 子	6	3.3	11	6.0	25	13.6	85	46.2	57	31.0
合 計	11	3.0	20	5.4	47	12.8	177	48.2	112	30.5

項目別平均値

性別	身 長 (cm)	体 重 (kg)	肥 満 度 (%)	血 圧 (mmHg)	総コレステロール (mg/dL)
男 子	155.0	47.0	3.1	107/55.9	158.0
女 子	153.2	47.7	4.7	106/56.8	167.9

(4) 日本体育・学校健康センター

災害共済契約状況

(令和3年度)

学校別 項目	小 学 校	中 学 校	合 計
加 入 数	2, 0 0 5 人	1, 1 1 9 人	3, 1 2 4 人

加入対象学校と共済掛金

(令和3年度)

項 目 種 別	一般児童・生徒等	要保護児童生徒等
義務教育諸学校	9 3 5 円 (内保護者負担 4 6 0 円)	5 5 円 (内保護者負担 0 円)

6 学校給食

令和3年度の状況

小学校

区分 学校名	形態	回数	児童数	一人当たり 徴収金額 (年)	回数	無徴収月
原町第一小学校	完全給食	183	354	50,325	10	4・3
原町第二小学校	完全給食	183	175	50,325	10	4・3
原町第三小学校	完全給食	183	360	50,325	10	4・3
高平小学校	完全給食	183	106	50,325	10	4・3
大甕小学校	完全給食	183	97	50,325	10	4・3
太田小学校	完全給食	183	45	50,325	10	4・3
石神第一小学校	完全給食	183	64	50,325	10	4・3
石神第二小学校	完全給食	183	283	50,325	10	4・3
鹿島小学校	完全給食	183	324	50,325	10	4・3
八沢小学校	完全給食	183	70	50,325	10	4・3
上真野小学校	完全給食	183	66	50,325	10	4・3
小高小学校	完全給食	183	61	50,325	10	4・3

中学校

区分 学校名	形態	回数	生徒数	一人当たり 徴収金額 (年)	回数	無徴収月
原町第一中学校	完全給食	3年169 1.2年174	341	3年 51,545 1.2年 53,070	10	4・3
原町第二中学校	完全給食	3年169 1.2年174	198	3年 51,545 1.2年 53,070	10	4・3
原町第三中学校	完全給食	3年169 1.2年174	81	3年 51,545 1.2年 53,070	10	4・3
石神中学校	完全給食	3年169 1.2年174	174	3年 51,545 1.2年 53,070	10	4・3
鹿島中学校	完全給食	3年169 1.2年174	276	3年 51,545 1.2年 53,070	10	4・3
小高中学校	完全給食	3年169 1.2年174	49	3年 51,545 1.2年 53,070	10	4・3

7 学校施設一覧

小学校

学 校 名	校地面積 (㎡)	市有地 (㎡)	借用地 (㎡)	校舎・屋体・プール等				
				校舎等 (㎡)	屋 体 (㎡)	計 (㎡)	水泳プール	給食室 (㎡)
原 一 小	22,307	22,307		6,116	1,272	7,388	25m×13m 6 コース	123
原 二 小	25,280	25,280		5,003	1,190	6,193	25m×13m 6 コース	157
原 三 小	25,322	892	24,430	4,709	1,263	5,972	25m×10.7m 6 コース	90
高 平 小	13,268	13,268		2,983	978	3,961	25m×11m 6 コース	101
大 甕 小	19,153	19,153		2,804	1,158	3,962	25m×13m 6 コース	101
太 田 小	15,730	15,730		2,593	981	3,574	25m×13m 6 コース	129
石 一 小	19,115	19,115		2,899	1,125	4,024	25m×10.7m 6 コース	113
石 二 小	18,965	18,965		4,343	1,100	5,443	25m×13m 6 コース	113
鹿 島 小	20,718	20,718		3,806	1,258	5,064	25m×13m 6 コース	—
八 沢 小	11,754	11,754		1,877	974	2,851	25m×13m 6 コース	—
上 真 野 小	12,239	12,239		2,372	1,027	3,399	25m×13m 6 コース	—
小 高 小	22,079	22,079		5,296	1,373	6,669	25m×17m 8 コース	168
計	225,930	201,500	24,430	44,801	13,699	58,500		1,095

(小数点以下、四捨五入)

(令和3年4月1日現在)

教室等保有状況																				
普通教室	特別教室											管理室等								
	理科	生活	音楽	図工(技術)	美術	家庭	視聴覚	図書	特別活動	コンピュータ教室	教育相談	校長室	職員室	事務室	保健室	放送室	用務員室	資料室	会議室	倉庫
18	2	2	2	1	0	1	0	1	4	1	2	1	1	1	1	1	0	0	1	4
16	2	1	2	1	0	2	1	2	2	0	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0
19	1	1	1	1	0	1	0	2	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0
9	1	1	1	1	0	1	0	2	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1
8	1	1	1	1	0	1	0	2	0	1	0	1	1	1	1	0	0	2	1	0
7	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	2	1	1	0	1	1	0	0	1	0
8	1	1	1	1	0	1	0	1	2	1	0	1	1	1	1	1	0	2	0	0
21	1	1	1	1	0	1	0	2	0	1	2	1	1	1	1	1	0	1	1	0
15	1	0	1	1	0	2	0	1	3	1	1	1	1	1	1	1	0	2	2	1
8	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1
7	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	1
10	1	1	1	1	0	1	0	1	2	0	1	1	1	0	1	1	0	6	1	0
146	14	10	14	11	0	14	1	17	15	10	11	12	12	7	12	11	0	16	9	8

(小数点以下、四捨五入)

中学校

学 校 名	校地面積 (㎡)	市有地 (㎡)	借用地 (㎡)	校舎・屋体・プール等				
				校舎等 (㎡)	屋 体 (㎡)	計 (㎡)	水泳プール	給食室 (㎡)
原 一 中	31,815	31,815		6,326	1,777	8,103	25m×15m 7 コース	107
原 二 中	30,474	30,474		6,217	1,708	7,925	25m×12.9m 6 コース	192
原 三 中	34,606	34,606		3,676	1,708	5,384	25m×13m 6 コース	127
石 神 中	29,729	29,729		4,101	1,762	5,863	25m×15m 7 コース	116
鹿 島 中	51,812	51,812		5,261	1,405	6,666	50m×17m 8 コース	—
小 高 中	38,028	38,028		6,045	1,350	7,395	50m×17.5m 7 コース	158
計	216,464	216,464		31,626	9,710	41,336		700

(令和3年4月1日現在)

教室等保有状況																				
普通教室	特別教室											管理室等								
	理科	音楽	図工(技術)	美術	家庭	外国語	図書	特別活動	コンピュータ室	教育相談	進路資料指導	校長室	職員室	事務室	保健室	放送室	用務員室	資料室	会議室	倉庫
20	2	2	2	1	2	0	2	2	1	3	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1
12	2	2	2	1	2	1	2	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	4	1	5
9	1	1	1	1	2	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	2
14	2	1	2	1	2	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	1
17	2	2	2	2	2	0	1	0	1	2	0	1	1	1	1	1	0	1	2	1
8	2	2	1	1	2	0	1	3	1	1	0	1	1	1	1	1	0	6	1	2
80	11	10	10	7	12	1	8	8	6	9	0	6	6	6	6	6	0	12	6	12

8 学校施設関連事業計画・実施状況

(1) 令和3年度事業計画

(令和3年4月1日現在)

事業名	事業目的	事業内容
小学校施設営繕事業	小学校の教育環境の改善と安全性を確保するため、教育施設の維持修繕を行う。	○原三小小荷物昇降機改修業務委託 ○高平小放送機器改修業務委託 ○鹿島小トイレ増設工事 ○原二小屋内運動場照明改修工事 ○原二小・鹿島小・八沢小遊具撤去新設工事
中学校施設営繕事業	中学校の教育環境の改善と安全性を確保するため、教育施設の維持修繕を行う。	○原三中防犯カメラ更新業務委託 ○原二中渡廊下改修工事 ○鹿島中テニスコート修繕工事 ○原一中駐輪場増設工事
小中学校トイレ洋式化事業	耐震改修事業以外の小中学校施設については、近年著しく老朽化が進んでいることから、トイレ洋式化やそれに伴う床面改修を実施し、児童生徒に健やかな学習環境を提供する。	○太田小屋内運動場トイレ洋式化改修工事 ○石二小屋内運動場トイレ洋式化改修工事
GIGA スクール高速通信環境整備事業 (繰越事業)	子どもたちの学習の基盤となる「情報活用能力」を育て、多様な子どもたち一人一人が個別最適化され、より主体的・対話的で深い学びができる ICT 環境の実現と共に、ICT を活用したオンラインによる家庭学習に対応するため、市内小学校の高速通信環境を整備する。	○校務支援システム通信環境整備業務委託 ○既存端末等設定業務委託

(2) 令和2年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
小中学校埋設保管除去土壌等撤去事業	小中学校に埋設保管している表土改善事業等で発生した除去土壌を撤去し、仮置き場へ搬出した。	○原一小、原二小、原三小、上真野小、原一中、原二中、鹿島中
小学校施設営繕事業	小学校の教育環境の改善と安全性を確保するため、教育施設の維持修繕を行った。	○小高小屋内運動場照明設備改修工事 ○原三小プールサイド修繕工事 ○高平小プールサイド改修工事 ○石二小体育館ライン修繕工事 ○原一小・高平小遊具撤去新設工事 ○小高小学校グラウンド内時計修繕工事 ○上真野小外構工事（繰越） ○上真野小学校駐車場整備工事（繰越）
中学校施設営繕事業	中学校の教育環境の改善と安全性を確保するため、教育施設の維持修繕を行った。	○石神中・原三中屋内運動場照明設備改修工事 ○鹿島中グラウンド防砂ネット設置工事 ○原三中駐輪場改修工事 ○原二中エキスパンション改修工事

小中学校トイレ洋式化事業	耐震改修事業以外の小中学校施設については、近年著しく老朽化が進んでいることから、トイレ洋式化やそれに伴う床面改修を実施し、児童生徒に健やかな学習環境を提供した。	○原三小北校舎トイレ改修工事 ○太田小・石二小屋内運動場トイレ改修設計業務委託
GIGA スクール高速通信環境整備事業	子どもたちの学習の基盤となる「情報活用能力」を育て、多様な子どもたち一人一人が個別最適化され、より主体的・対話的で深い学びができる ICT 環境の実現と共に、ICT を活用したオンラインによる家庭学習に対応するため、市内小学校の高速通信環境を整備した。	○高速通信環境整備業務委託 (市内全18校)
石二小表土改良事業	石神第二小学校校庭の表土を改良し、校庭の機能回復を図った。	○石二小グラウンド改良工事

9 支援学校・高等学校・専修学校

県立支援学校

学 校 名	所 在 地	電 話	校 長 氏 名
相馬支援学校	南相馬市鹿島区寺内字鷺内79	67-1515	和知 学

県立高等学校

学 校 名	所 在 地	電 話	校 長 氏 名
原 町 高 等 学 校	南相馬市原町区西町三丁目380	23-6196	山崎 雅弘
相 馬 農 業 高 等 学 校	南相馬市原町区三島町一丁目65	23-5175	伊東 光司
小高産業技術高等学校	南相馬市小高区吉名字玉ノ木平78	44-3141	金田 洋一郎

県立専修学校

学 校 名	所 在 地	電 話	校 長 氏 名
福島県立テクノアカデミー浜	南相馬市原町区萱浜巢掛場45-112	26-1555	添田 光典

(令和3年5月1日現在)

学 科	学級数	生徒数	教職員数
小学部・中学部・高等部	24	107	79

学 科	学級数	生徒数	教職員数
普 通 科	12	458	54
生産環境科・環境緑地科・食品科学科	9	253	60
機械科・電気科・産業革新科・流通ビジネス科	17	451	88

学 科		学級数	生徒数	教職員数
職業能力開発短期大学校	ロボット・環境エネルギーシステム学科	2	18	30
職業能力開発校	機 械 技 術 科	2	16	
	自 動 車 整 備 科	2	36	
	建 築 科	2	15	

V 幼 児 教 育

1 幼稚園・保育園・こども園一覧

(1) 幼稚園

市立幼稚園

園 名	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
高 平 幼 稚 園	原町区下北高平字古館 278	24-0687	新 田 奈々恵
大 甕 幼 稚 園	原町区大甕字十日迫 26	22-7583	菊 地 紀 子
太田幼稚園（休園中）	原町区益田字塩釜 61	22-3662	猪 狩 忠 信
石神第一幼稚園（休園中）	原町区北長野字北原田 288	24-0709	猪 狩 忠 信
石神第二幼稚園（休園中）	原町区大木戸字西原 1	24-0710	猪 狩 忠 信
原町区 小計			
鹿 島 幼 稚 園	鹿島区鹿島字北千倉 24-2	46-4655	山 田 ますみ
八 沢 幼 稚 園	鹿島区南屋形字北原 32	46-4672	山 田 ますみ
上真野幼稚園（休園中）	鹿島区山下字中ノ内 273-1	47-2147	猪 狩 忠 信
鹿島区 小計			
合 計			

私立幼稚園

園 名	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
さ ゆ り 幼 稚 園	原町区橋本町一丁目15	23-3439	鎌 田 文 代
青 葉 幼 稚 園	原町区二見町三丁目68-4	23-3306	安 川 利 子
原町みなみ幼稚園	原町区国見町一丁目50	23-3650	中 澤 翔 平
小高教会幼稚園（休園中）	小高区本町一丁目47	44-2668	—
合 計			

(令和3年5月1日現在)

定員	組数	教職員		3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
		専任	他				
105	3	6	3	18	26	26	70
140	3	5	3	19	21	26	66
105	0	0	0	0	0	0	0
140	0	0	0	0	0	0	0
210	0	0	0	0	0	0	0
700	6	11	6	37	47	52	136
160	5	9	3	22	38	25	85
80	1	1	1	0	0	9	9
60	0	0	0	0	0	0	0
300	6	10	4	22	38	34	94
1, 000	12	21	10	59	85	86	230

定員	組数	教職員		満3 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
		専任	他					
100	6	8	1	1	29	32	22	84
380	8	16	0	1	45	49	52	147
260	4	18	0	2	28	32	33	95
70	0	0	0	0	0	0	0	0
810	18	42	1	4	102	113	107	326

（２）保育園

市立保育園

園 名	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
原町あずま保育園	原町区東町三丁目 7-4	22-2344	齋 藤 由美子
原町なかまち保育園（休園中）	原町区仲町一丁目 177	23-6532	猪 狩 忠 信
原町さくらい保育園	原町区桜井町一丁目 153	22-1985	齋 藤 由美子
原 町 区			小 計
か し ま 保 育 園	鹿島区西町三丁目 90	46-1717	鈴 木 甲 子
かみまの保育園	鹿島区浮田字一丁目 67	47-2307	鈴 木 甲 子
鹿 島 区			小 計
			合 計

私立保育園

園 名	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
北 町 保 育 所	原町区北町 373-124	22-8432	近 藤 啓 一
よ つ ば 保 育 園	原町区西町二丁目 34-1	24-6478	近 藤 真紀子
よつば乳児保育園西町園	原町区西町二丁目 32-1	24-4285	近 藤 智 之
みなみそうまペンギン国際幼児園	原町区大木戸字南東方 38-12	26-4020	藤 田 友 美
			合 計

(令和3年5月1日現在)

定員	教職員		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
	専任	その他							
115	23	8	6	19	21	22	24	22	114
100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	9	5	0	0	0	20	21	21	62
315	32	13	6	19	21	42	45	43	176
108	22	6	11	20	21	23	23	23	121
60	8	3		4	9	10	6	11	40
168	30	9	11	24	30	33	29	34	161
483	62	22	17	43	51	75	74	77	337

定員	教職員		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
	専任	その他							
60	15	5	10	14	13	10	12	12	71
150	23	4	18	23	4	39	41	54	179
50	15	2	3	20	40				63
50	16	3	6	10	10	12	14	7	59
310	69	14	37	67	67	61	67	73	372

(3) 認定こども園

市立認定こども園

園 名	所 在 地	電 話	園長氏名
おだか認定こども園	小高区関場二丁目 21	26-6043	長 森 由歌里

私立認定こども園

園 名	所 在 地	電 話	園長氏名
原町聖愛こども園	原町区二見町一丁目 80-1	22-5090	寺 田 進

(4) 小規模保育事業所

私立小規模保育事業所

園 名	所 在 地	電 話	園長氏名
なかよし園	原町区二見町三丁目 67-3	23-3306	安 川 利 子
原町にこにこ保育園	原町区錦町一丁目 125	26-6836	小 林 総一郎
ユニソンワールド保育園 ヨークタウン原町	原町区旭町三丁目 58-1	26-9726	鹿 頭 由 江
聖愛ちいろば園	原町区橋本町一丁目 47-1	32-0952	遠 藤 美保子
			合 計

(令和3年5月1日現在)

定員	教職員		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	専任	その他							
123	11	6	2	6	12	14	18	8	60

(令和3年5月1日現在)

定員	教職員		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	専任	その他							
90	17	4	8	12	20	19	26	20	105

(令和3年5月1日現在)

定員	教職員		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	専任	その他							
12	4	1		4	10				14
10	9	1	2	4	5				11
19	6	2	2	6	9				17
19	5	3	6	5	8				19
60	24	7	10	19	32				61

※公立・私立とも原発避難者特例法による児童の受け入れ有り。

2 園児数

(1) 園種別

(令和3年5月1日現在)

区 分	市立幼稚園	市立保育園	市立こども園
園 数	8	5	1

※うち市立幼稚園4園、市立保育園1園は休園中

(2) 学年別等園児数

市立幼稚園

(令和3年5月1日現在)

学 年	園 児 数
3歳児	59
4歳児	85
5歳児	86
計	230

市立保育園

(令和3年5月1日現在)

学 年	園 児 数
0歳児	17
1歳児	43
2歳児	51
3歳児	75
4歳児	74
5歳児	77
計	337

市立こども園

(令和3年5月1日現在)

学 年	園 児 数
0歳児	2
1歳児	6
2歳児	12
3歳児	14
4歳児	18
5歳児	8
計	60

(3) 園児数の推移

市立幼稚園

(各年5月1日現在 単位：人)

園名 \ 年度	H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
高 平 幼	62	0	33	51	57	60	58	57	72	81	78	70
大 甕 幼	74	0	41	44	42	47	45	59	63	71	66	66
太 田 幼	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石 一 幼	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石 二 幼	154	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿 島 幼	80	93	98	109	108	88	85	90	93	92	85	85
真 野 幼	22	0	0	0								
八 沢 幼	45	46	38	32	28	36	26	31	23	22	17	9
上 真 野 幼	39	44	28	25	23	20	21	8	0	0	0	0
小 高 幼	48	0	0	0	0	0	0	3	15	13		
福 浦 幼	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金 房 幼	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鳩 原 幼	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	773	183	238	261	258	251	235	248	266	279	246	230

※平成23年度は、震災の影響により、5月1日時点では全幼稚園が休園しており、鹿島幼稚園・上真野幼稚園が6月1日、八沢幼稚園が9月1日に再開した。(平成23年度は、各園の再開時園児数を記載)

※真野幼稚園が平成26年3月31日で廃園となった。

※小高幼稚園が平成29年4月1日に再開し、令和2年3月31日で廃園となった。

※福浦・金房・鳩原幼稚園が令和3年3月31日で廃園となった。

私立幼稚園

(各年5月1日現在 単位：人)

園名 \ 年度	H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
さ ゆ り 幼	69	13	18	24	29	40	65	89	82	86	86	84
青 葉 幼	205	22	62	100	111	127	130	137	152	159	160	147
原 町 み な み 幼	164	27	48	72	84	94	95	98	100	96	102	95
小 高 教 会 幼	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	465	62	128	196	224	261	290	324	334	341	348	326

※平成23年度は、震災の影響により5月1日時点では全幼稚園が休園しており、青葉幼稚園・原町みなみ幼稚園が10月11日、さゆり幼稚園が11月1日に再開した。(平成23年度は、各園の再開時園児数を記載)

市立保育園・認定こども園

(各年5月1日現在 単位：人)

園名 \ 年度	H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
原町あずま保育園	145	0	0	0	0	66	75	82	100	122	113	114
原町なかまち保育園（休園中）	119	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原町さくらい保育園	122	0	0	0	0	0	16	42	69	96	75	62
かしま保育園	135	115	125	132	126	137	135	127	114	132	126	121
かみまの保育園	34	20	31	33	29	46	46	39	46	50	46	40
おだか認定こども園											46	60
合 計	762	135	156	165	155	249	272	290	329	400	406	397

私立保育園・認定こども園・小規模保育事業所

(各年5月1日現在 単位：人)

園名 \ 年度	H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
原町聖愛こども園	107	35	64	64	76	89	93	89	93	105	118	105
北町保育所	74	18	51	57	60	59	53	59	63	68	68	71
よつば保育園	187	55	95	136	143	167	174	189	189	191	200	179
よつば乳児保育園西町園		15	27	40	44	50	51	70	62	54	50	63
みなみそうまペンギン国際幼児園											49	59
なかよし園							6	6	0	0	8	14
原町にこにこ保育園								3	10	10	11	11
ユニソソワールド保育園 ヨークタウン原町											18	17
聖愛ちいろば園												19
合 計	368	123	237	297	323	365	377	416	417	428	522	538

※「よつば保育園」は平成18年度に認可された。

※平成23年度は、震災の影響により、5月1日時点では全保育園が休園となっており、5月6日にかしま保育園、かみまの保育園が再開した。（平成23年度は、各園の再開時園児数を記載）

※私立保育園は、平成23年5月6日から避難区域外の鹿島区において臨時保育園を開設。その後、平成23年9月30日で緊急時避難準備区域の解除により、平成23年10月11日から原町区の自園で通常再開した。

※「よつば乳児保育園西町園」は平成23年4月1日に認可されたが、震災の影響により平成24年1月からの開所となった。

※原町あずま保育園は、平成27年4月1日に再開、原町さくらい保育園は、平成28年4月23日に再開した。

※原町聖愛保育園は、平成28年4月1日から原町聖愛こども園に移行した。

※なかよし園は、平成28年4月1日認可・設置された。

※原町にこにこ保育園は、平成29年4月1日に認可・設置された。

※おだか保育園は、令和2年3月31日廃園。

※おだか認定こども園は、令和2年4月1日開園。

※みなみそうまペンギン国際幼児園及びユニソソワールド保育園ヨークタウン原町は、令和2年4月1日に認可・設置された。

※聖愛ちいろば園は、令和2年6月1日に認可・設置された。

3 保健・安全

(1) 医師等の設置状況

市立幼稚園

(令和3年5月1日現在)

園 名	内科医	眼科医	歯科医
高平幼稚園	小 泉 祐 功	高 野 良 真	松 本 断
大甕幼稚園	石 原 開	小 林 貴 樹	熊 耳 隆 洋
鹿島幼稚園	菅 原 通 夫	佐 柄 英 人	大 沼 俊 美
八沢幼稚園	田 村 融 彦	佐 柄 英 人	木 幡 孝

市立保育園

園 名	内科嘱託医	眼科嘱託医	歯科嘱託医
原町あずま保育園	小 泉 祐 功	佐 柄 英 人	熊 耳 隆 洋
原町さくら保育園	小 泉 祐 功	佐 柄 英 人	佐 藤 進
かしま保育園	鹿島厚生病院	佐 柄 英 人	相 良 一 也
かみまの保育園	鹿島厚生病院	佐 柄 英 人	相 良 一 也

市立こども園

園 名	内科嘱託医	眼科嘱託医	歯科嘱託医
おだか認定こども園	南相馬市立総合病院	佐 柄 英 人	今 村 隆 一

(2) 日本体育・学校健康センター

災害共済契約状況

学校別 項目	幼 稚 園	保 育 園	こども園
加 入 数	2 3 2 人	3 4 2 人	6 0 人

加入対象園と共済掛金

種 別 項 目	一般児童	要保護児童
幼稚園・こども園	2 8 5 円(内保護者負担200円)	—
保 育 園	3 6 5 円(内保護者負担210円)	5 5 円(内保護者負担0円)

4 幼稚園給食

区分 園名	形態	回数 (回)	給食単価 (円)	年間一人当たり 徴収金額(円)	
市立幼稚園	完全給食	1 6 2	2 9 5	0	※令和元年10月から免除

5 幼稚園・保育園・こども園施設一覧

市立幼稚園

園名	園地面積 (㎡)	園				
		面積 (㎡)	内			
			保育室 (㎡)		遊戯室 (㎡)	
高平幼稚園	2,179	517	4	210	1	118
大甕幼稚園	5,422	515	4	212	1	108
太田幼稚園	3,618	452	3	198	1	125
石一幼稚園	3,936	522	4	212	1	132
石二幼稚園	4,782	775	6	319	1	180
鹿島幼稚園	2,681	648	5	259	1	195
八沢幼稚園	2,991	403	3	163	1	120
上真野幼稚園	1,783	286	2	91	1	110

(小数点以下、四捨五入)

市立保育園

園名	園地面積 (㎡)	園				
		面積 (㎡)	内			
			保育室(㎡)		遊戯室(㎡)	
原町あずま保育園	3,424	826	7	318	1	122
原町なかまち保育園	3,138	611	5	253	1	149
原町さくらい保育園	3,157	656	6	335	1	109
かしま保育園	6,007	1,407	6	361	1	268
かみまの保育園	1,757	337	2	89	1	99

市立こども園

園名	園地面積 (㎡)	園				
		面積 (㎡)	内			
			保育室(㎡)		遊戯室(㎡)	
おだか認定こども園	3,902	1,117	7	351	1	245

舎				
訳				
職員室 (㎡)		保健室 (㎡)		資料室その他 (㎡)
1	24	1	9	156
1	28	1	10	157
1	24	1	14	91
1	23	1	14	141
1	43	1	17	216
1	34	1	12	148
1	32	1	10	78
1	30	1	11	44

舎							
訳							
事務室(㎡)		医務室(㎡)		調理室(㎡)		便所(㎡)	その他(㎡)
1	32	1	15	1	37	24	278
1	30	1	6	1	40	32	101
1	23	1	5	1	44	16	124
1	32	1	5	1	33	84	624
1	20	1	13	1	20	14	82

舎							
訳							
事務室(㎡)		医務室(㎡)		調理室(㎡)		便所(㎡)	その他(㎡)
1	58	—	—	1	71	22	370

6 放課後児童クラブ・児童教室

(1) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ運営事業）

<事業目的>

小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に、児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。

<事業内容>

- ①対象児童 南相馬市に在住または在学している小学校児童
定員を超えた応募があった場合は、1年生から3年生までの低年齢の児童を優先する。
- ②活動日時 月曜日～金曜日の下校時～18時
土曜日及び春・夏・冬休みの期間は7時30分～18時
(日曜日、祝祭日、年末年始は休み)
- ③費用 スポーツ保険料 年800円

(2) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）実施状況 (令和3年5月1日現在)

	クラブ名	所在地	電話	設置年月	施設面積 (㎡)
1	東町児童クラブ1	原町区東町二丁目82 (東町児童センター)	22 - 3202	H 9.4	192.54
2	東町児童クラブ2 H22.4 東町児童クラブから分割	原町区東町二丁目82 (東町児童センター)	22 - 3202	H 9.4	115.52
3	原町第一児童クラブ	原町区東町二丁目66 (原町第一小学校)	22 - 5300	H17.11	60.00
4	橋本町児童クラブ	原町区橋本町一丁目83-4 (橋本町児童センター)	24 - 0436	H 9.4	308.61
5	上町児童クラブ1	原町区上町二丁目33 (上町児童センター)	24 - 0253	H 9.4	167.43
6	上町児童クラブ2 H27.4 上町児童クラブから分割	原町区上町二丁目33 (上町児童センター)	24 - 0253	H 9.4	150.15
7	原町第三児童クラブ H30.9 上町児童クラブから分割	原町区上町一丁目13 (原町第三小学校)	26 - 6069	H 9.4	60.00
8	大甕児童クラブ	原町区大甕字鶴蒔8 (大甕小学校)	23 - 1706	H13.1	160.00
9	太田児童クラブ	原町区益田字塩釜236 (太田小学校)	23 - 4114	H13.1	120.00
10	石神第一児童クラブ	原町区北長野字北原田288 (石神第一小学校)	22 - 2870	H13.9	124.00
11	石神第二児童クラブ	原町区大木戸字西原1 (石神第二小学校)	22 - 2761	H13.9	90.00
12	鹿島児童クラブ1	鹿島区鹿島字広町13	46 - 4477	H12.9 H28.7(新築移転)	159.66
13	鹿島児童クラブ2	鹿島区鹿島字広町13	46 - 4477	H12.9 H28.7(新築移転)	159.66
14	八沢児童クラブ	鹿島区南屋形字北原8-1	26-4122	H23.5 H26.9(新築移転)	107.03
15	上真野児童クラブ	鹿島区浮田字一丁田81 (上真野小学校)	26 - 4567	H23.5	65.07
16	小高児童クラブ1	小高区関場一丁目77-1 (小高小学校)	44 - 4118	H13.6	190.00
17	小高児童クラブ2(休止中) H22.4 小高児童クラブから分割	小高区関場一丁目77-1 (小高小学校)	44 - 4118	H13.6	190.00

《児童クラブ登録児童数》

(令和3年5月1日現在)

	クラブ名	定員 (人)	児童数等								指導員数
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
1	東町児童クラブ 1	40	男	0	0	7	9	0	0	16	2
			女	0	0	14	12	0	0	26	
			計	0	0	21	21	0	0	42	
			(障)			1	2			3	
2	東町児童クラブ 2	25	男	18	0	0	0	0	0	18	3
			女	10	0	0	0	0	0	10	
			計	28	0	0	0	0	0	28	
			(障)	2						2	
3	原町第一児童クラブ	35	男	0	16	0	0	0	1	17	2
			女	0	13	0	0	0	0	13	
			計	0	29	0	0	0	1	30	
			(障)		1				1	2	
4	橋本町児童クラブ	55	男	9	10	3	7	0	2	31	4
			女	4	7	9	6	2	1	29	
			計	13	17	12	13	2	3	60	
			(障)	1			2			3	
5	上町児童クラブ 1	40	男	24	0	0	0	0	0	24	2
			女	19	0	0	0	0	0	19	
			計	43	0	0	0	0	0	43	
			(障)								
6	上町児童クラブ 2	40	男	0	14	0	0	0	0	14	2
			女	0	20	0	0	0	0	20	
			計	0	34	0	0	0	0	34	
			(障)		2					2	
7	原町第三児童クラブ	35	男	0	0	6	0	0	0	6	2
			女	0	0	8	0	0	0	8	
			計	0	0	14	0	0	0	14	
			(障)			1				1	
8	大甕児童クラブ	40	男	3	7	4	5	7	2	28	2
			女	3	4	2	5	4	3	21	
			計	6	11	6	10	11	5	49	
			(障)				1	1		2	
9	太田児童クラブ	40	男	3	2	2	2	1	1	11	2
			女	1	4	3	4	4	2	18	
			計	4	6	5	6	5	3	29	
			(障)								
10	石神第一児童クラブ	40	男	4	2	3	2	2	1	14	2
			女	4	4	1	3	3	4	19	
			計	8	6	4	5	5	5	33	
			(障)								
11	石神第二児童クラブ	40	男	3	8	11	1	0	0	23	2
			女	11	8	3	2	0	0	24	
			計	14	16	14	3	0	0	47	
			(障)		2	2				4	

12	鹿島児童クラブ 1	40	男	13	0	7	0	0	0	20	2
			女	12	0	8	0	0	0	20	
			計	25	0	15	0	0	0	40	
			(障)	1		1				2	
13	鹿島児童クラブ 2	40	男	0	12	0	8	0	1	21	2
			女	0	13	0	8	0	1	22	
			計	0	25	0	16	0	2	43	
			(障)						2	2	
14	八沢児童クラブ	30	男	0	4	1	1	2	0	8	2
			女	2	1	2	7	4	0	16	
			計	2	5	3	8	6	0	24	
			(障)		1			1		2	
15	上真野児童クラブ	40	男	1	0	3	4	1	3	12	2
			女	4	3	1	4	7	5	24	
			計	5	3	4	8	8	8	36	
			(障)								
16	小高児童クラブ 1	40	男	2	1	2	4	0	2	11	2
			女	4	2	0	2	7	6	21	
			計	6	3	2	6	7	8	32	
			(障)		1	1				2	
17	小高児童クラブ 2 (休 止 中)	40	男	0	0	0	0	0	0	0	0
			女	0	0	0	0	0	0	0	
			計	0	0	0	0	0	0	0	
			(障)							0	
	計 (※)	620	男	80	76	49	43	13	13	274	35
			女	74	79	51	53	31	22	310	
			計	154	155	100	96	44	35	584	
			(障)	4	7	6	5	2	3	27	

(※) 休止中は含まないものとする。

(※) 障がい者数は学校の特別支援学級と一致しない（本人の申告による）。

(3) 児童の安全管理状況

児童クラブ共済保険内容

保険会社名	保険料	保険給付内容
(財) スポーツ安全協会	A 1 型 登録児童 1 名あたり 保険料 8 0 0 円	傷害保険 死亡 2, 0 0 0 万円 後遺障害 3, 0 0 0 万円 賠償責任 身体・財物 合算 1 事故につき 5 億円 身体賠償 1 事故につき 1 億円

児童クラブ共済保険加入状況

区名	小高区	鹿島区	原町区
人数	3 2 人	1 4 3 人	4 0 9 人

(4) 放課後子ども教室推進事業

<事業目的>

子どもの心豊かで健全な育成と居場所づくりを支援し、帰還を促進するため、小高小学校の児童を対象に、小学校の施設を利用し地域の方々の参加と協力を得て、勉強や文化活動、地域住民との交流活動等のプログラムを実施する。

<事業内容>

- ①対象児童 小高小学校の児童
- ②活動日時 第1・第3・第5金曜日
- ③費 用 スポーツ保険料 8 0 0 円
- ④実施内容 放課後、屋内運動場での自由遊びやスポーツ、文化活動や各種体験活動等を行う。

(5) 放課後児童健全育成事業費補助金事業

<事業目的>

社会福祉協議会、特定非営利活動法人トイボックスを実施主体とする仲町児童センター・高平児童館・錦町児童クラブ管理運営の円滑化を図る。

<事業内容>

小学校児童を対象として児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として運営される経費から国県交付金を控除した金額を補助する。

(令和3年5月1日現在)

施 設 名	所 在 地	電 話	施設面積 (㎡)	児 童 数								職員数	
					1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計	館 長	他
仲町児童センター	原町区仲町一丁目 165	22-1803	413.34	男	12	6	3	3	0	0	24	1	5
				女	4	8	6	3	0	0	21		
				計	16	14	9	6	0	0	45		
				障	1	2	1				4		
高 平 児 童 館	原町区下北高平字古館 36-5	24-3557	188.00	男	7	3	3	2	3	2	20	1	3
				女	8	4	4	3	2	2	23		
				計	15	7	7	5	5	4	43		
				障			1	2	1	1	5		
錦町児童クラブ	原町区錦町一丁目 125	26-6836	195.72	男	2	1	2	3	1	2	11	1	3
				女	3	1	1	1	5	3	14		
				計	5	2	3	4	6	5	25		
				障			1				1		

7 事業計画・実施状況

(1) 令和3年度事業計画

(令和3年4月1日現在)

事業名	事業目的	事業内容
保育所等給食検査体制整備事業補助金	保育所等が安心・安全な給食を提供するための食材事前検査を実施する。	○私立保育園及び私立認定こども園が実施する給食食材の事前検査に係る経費を助成。 ○公立保育園 給食食材の事前検査を実施。
保育士・幼稚園教諭宿舍借り上げ支援事業補助金	保育士や幼稚園教諭の人材確保及び離職防止を図るため、事業者が保育士等の宿舍を借上げる費用の全部又は一部を支援する。	○事業者が借上げた宿舍の家賃補助（1か所月額7万円上限）
保育体制強化事業補助金	保育士の離職防止と働きやすい職場環境を整備するため、事業者が子育て経験者など地域の多様な人材を保育支援者として配置する費用の一部を補助する。	○保育支援者の配置に要する費用を助成。 (1園月額10万円上限) ・保育設備、遊ぶ場所、遊具等の消毒・清掃 ・給食の配膳・後片付け ・寝具の用意・後片付け ・その他、保育士の負担軽減に資する業務
元気あふれる幼児育成推進事業	子どもの可能性や特性を引き出すような情操教育と体力増進を中心とした幼児教育の充実を図るため、幼児育成プログラムや指導者向けの研修等を実施する。	○保育士・幼稚園教諭等の資質と指導力を高める取り組み ・各種研修会の参加 ○幼児教育プログラム実施 ・各園がプログラム内容に沿った事業を実施する。
民間保育所等給食食材費補助金	子育て環境の充実を図るため、民間保育所等が提供する給食用食材費に対し、補助金を交付する。	○私立保育園及び私立認定こども園が実施する給食用食材費を補助。 ・対象年齢 3歳児～5歳児 ・補助額 月額上限一人4,500円
私立幼稚園給食費保護者助成金	教育環境の充実を図るため、私立幼稚園在園児の保護者が負担する給食費に対し助成金を交付する。	○私立幼稚園在園児の保護者が負担する給食費の助成。 ・助成額 月額上限一人4,500円
保育所等事故防止推進事業補助金	保育所等における睡眠中の事故防止のための機器導入に要する経費の一部に対し、補助金を交付する。	○保育所等における睡眠中の事故防止のための機器導入に要する経費を補助。 ・補助額 (1園1回375,000円上限)

(2) 令和2年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
保育所等給食検査体制整備事業補助金	保育所等が安心・安全な給食を提供するための食材検査を実施する。	○私立保育園等が実施する食材検査に係る経費を助成した。 検査測定器配置施設 ・よつば保育園 (よつば乳児保育園西町園・原町聖愛こども園検査含) ○公立保育園で給食食材の事前検査を実施した。 検査測定器配置施設 ・かしま保育園 (かみまの保育園検査含) ・原町あずま保育園 (原町さくら保育園・おだか認定こども園検査含)
保育士・幼稚園教諭宿舍借り上げ支援事業補助金	保育士や幼稚園教諭の人材確保及び離職防止を図るため、事業者が保育士等の宿舍を借上げる費用の全部又は一部を支援する。	○事業者が借上げた宿舍の家賃補助(1か所月額7万円上限) ・よつば保育園 2件 ・よつば乳児保育園西町園 1件
保育体制強化事業補助金	保育士の離職防止と働きやすい職場環境を整備するため、事業者が子育て経験者など地域の多様な人材を保育支援者として配置する費用の一部を補助する。	○保育支援者の配置に要する費用を助成。 (1園月額10万円上限) ・北町保育所 1件 ・みなみそうまペンギン国際幼児園 1件
元気あふれる幼児育成推進事業	子どもの可能性や特性を引き出すような情操教育と体力増進を中心とした幼児教育の充実を図るため、幼児育成プログラムや指導者向けの研修等を実施する。	○保育士・幼稚園教諭等の資質と指導力を高める取り組み ・各種研修会の参加 ○幼児教育プログラム内容検討
民間保育所等給食食材費補助金	子育て環境の充実を図るため、民間保育所等が提供する給食用食材費に対し、補助金を交付する。	○私立保育園及び私立認定こども園が実施する給食用食材費を補助。(3歳児～5歳児) ・補助額 月額上限一人4,500円 ・補助対象者数 前期194人 後期204人 ※令和元年10月から実施
私立幼稚園給食費保護者助成金	教育環境の充実を図るため、私立幼稚園在園児の保護者が負担する給食費に対し助成金を交付する。	○私立幼稚園在園児の保護者が負担する給食費の助成。 ・助成額 月額上限一人4,500円 ・助成対象者数 232人 ※令和元年10月から実施
保育所等事故防止推進事業補助金	保育所等における睡眠中の事故防止のための機器導入に要する経費の一部に対し、補助金を交付する。	○保育所等における睡眠中の事故防止のための機器導入に要する経費を補助。 ・補助額 1園1回375,000円上限 ・補助対象園 よつば保育園、北町保育所 ※令和2年4月から実施

VI 生涯学習・文化振興

1 生涯学習関係

(1) 事業計画

令和3年度事業計画

(令和3年4月1日現在)

事業名	事業目的	事業内容
生涯学習講演会 開催事業補助金	地域の中で、人としての優しさや豊かさ、幸せに生きることの大切さを考える機会を提供するため、市民が広く参加できる講演会を開催する実行委員会に対し、補助金を交付する。	◇補助対象 1 団体 ・事業主体 生涯学習講演会実行委員会 ・補助金額 800千円 ・補助率 定額 ・期 日 未定 ・会 場 鹿島生涯学習センター（さくらホール）予定 ・講 師 未定
報徳精神がいきづく まちづくり事業	報徳仕法のいきづく本市において、その教えを時代を超えて継承し、現代的視点で見つめ直して心豊かなまちづくり・ひとづくりを進めるため、報徳仕法に関する学習機会を提供する。	◇第26回全国報徳サミット掛川市大会 ・期日 令和3年11月5日（金）～6日（土） ・会場 静岡県掛川市生涯学習センター ◇同報徳サミット掛川市大会ツアー ・期日 令和3年11月5日（金）～6日（土） ・会場 静岡県掛川市生涯学習センター ・定員10人（ほか職員引率2人） ◇学校教育との連携による郷土学習 「ふるさと教育」の推進 ・副読本「報徳仕法-南相馬市版（改訂版）」の配付 市内全小学校新4年生児童・転入教諭 ・小中学校教育課程による「ふるさと教育」授業の実施 ・小学校教材用「報徳仕法」DVD制作 ◇「報徳精神」の普及啓発 ・市職員啓発活動 新採用職員への副読本概要版配付 報徳の教え「名札入れカード」全職員配付 ・清掃活動の実施 職員自らが率先垂範して、市役所本庁舎（玄関脇）の二宮尊徳像の清掃活動 「一人ひとりの報徳実践DAY」の実施 ◇各生涯学習センターにおける報徳仕法に関する学級・講座等の開催 【報徳講座】 ・石神生涯学習センター 年4回 ・ひがし生涯学習センター 年3回 【高齢者学級・女性学級等による実施】 ・小高、鹿島、原町、太田、大甕、高平、ひばり ・各センター 年1回 ◇報徳仕法ゆかりの市内めぐりリーフレット ・印刷部数 4,000部 ・配布先 市内公共施設 ◇副読本「二宮尊徳・富田高慶からの贈り物」概要版 ・印刷部数 4,000部 ・配布先 市内公共施設

高等学校 開放講座事業	趣味や知識を深め技術の習得を図るため、市内高等学校の専門的な教育機能を市民に開放し、各種講座を実施する。	◇相馬農業高等学校開放講座 ・開催時期 6～12月 ・回数 年3回 ・定員 20～30人 ◇小高産業技術高等学校開放講座 ・開催時期 6～12月 ・回数 商業系・工業系 年4回 ・定員 10～20人 ◇原町高等学校開放講座 ・開催時期 6～12月 ・回数 年3回 ・定員 10～20人
成人式事業	成人に達した青年の自覚を促すとともに、新成人を祝い励ますために、成人式を開催する。	◇令和3年南相馬市成人式 ・期 日 令和3年11月23日（祝・火） ・会 場 南相馬市民文化会館（ゆめはっと） ・対象者 616人 平成12年4月2日～平成13年4月1日までに生まれた方 ◇令和4年南相馬市成人式 ・期 日 令和4年1月9日（日） ・会 場 南相馬市民文化会館（ゆめはっと） ・対象者 612人 平成13年4月2日～平成14年4月1日までに生まれた方
家庭教育支援 総合推進事業	子供の基本的な生活習慣や生活能力等を身につける家庭教育について学ぶ機会の提供や地域環境づくりを推進するため、学校・社会・家庭との連携協力を図り、家庭教育に関する学習機会の提供や支援を行う。	◇子育て学習講座 2団体 ・企業、NPO 団体、子育てサークル等 ◇家庭教育講座 15件 ・幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校 ◇就学児童子育て講座 ・市内小学校 6校 ◇大学公開講座 年1回
中学生職場体験等 支援事業	生徒自らが体験することで働くことの意義や目的を理解し社会人としての自立促進を図るため、市内中学校が授業の一環として実施する職場体験・福祉体験活動等を支援する。	◇中学生職場体験・福祉体験活動の支援 ・担当者説明会 期 日 令和3年5月25日（火） ・職場体験活動取材 実施校 6中学校 実施期間 令和3年9月7日（火） ～22日（水） ・令和4年度 事業所受入意向調査 調査期間 令和4年2月 ◇職場体験活動情報誌 「体験！Working！」の発行（年1回） ・発行日 令和3年12月15日 ・発行部数 5,000部 ・配布先 市内小中学校、受入事業所 公共施設
生涯学習講座事業	自ら学ぶ楽しさを実感してもらうため、生涯学習事業及び社会教育事業を推進するとともに、市民ボランティア及び行政職員等による出前講座を実施する。	◇各生涯学習センターにおける学級・講座等の開催 ・小高（2学級・4講座） ・鹿島（3学級・5講座） ・原町（3学級・1講座） ・太田（3学級・2講座） ・大甕（2学級・5講座） ・高平（1学級・2講座） ・石神（2学級・4講座） ・ひがし（2学級・4講座） ・ひばり（2学級・2講座）

		合 計 20 学級・29 講座 ◇生涯学習チャンネル配信事業 ・南相馬チャンネルを活用した動画配信による生涯学習講座 11 回 ◇生涯学習まちづくり出前講座の実施 ・対象者 市内に在住・在勤・在学の団体等 ・実施回数 約 200 回 ・市民ボランティア 150 回 ・行政、公共団体等 50 回 ・メニュー表 3,000 部発行 - 発行日 令和3年6月予定 - 配布先 講師及び受講団体、関係機関・団体等 ・出前講座の継続にかかる意向調査予定 - 調査対象 市民ボランティア講師 NPO・各種団体等 - 調査期間 令和4年2月
--	--	--

こども探検隊事業	子どもに社会性や知識を身に付けてもらうため、子ども同士が交流する機会を拡大するとともに、自然の大切さや地域の文化芸術を学ぶ機会を提供する。	◇小高区まち歩き探検事業 ・期日 令和3年6月 ・対象 市民 ・会場 小高神社・同慶寺ほか ・内容 小高区の文化財や史跡巡りを実施 ◇親子探検事業 ・期日 令和3年9月 ・対象 小高区の小中学生の親子 ・会場 小高交流センター ・内容 チョコバナナ作り ◇移動水族館交流事業 ・期日 令和3年10月 ・対象 小高区の小中学生の親子 ・会場 小高区 文化祭会場 ・内容 移動水族館 海洋動物体験コーナー設置 ◇キャンドルライト交流事業 ・期日 令和3年11月 ・対象 小高区の小中学生の親子 ・会場 小高生涯学習センター ・内容 LEDのキャンドルライトで絵文字の作成を実施 ◇親子による自然科学体験 ・対象 小学生とその家族 ・回数 年5回 ・定員 30～50人／回 ◇災害協定締結都市等からの招待事業 ・招待先 3団体 - 東京都青梅市 20人 - 長崎県長崎市 15人（さだ企画） - 長野県信濃町 30人（イオン1%クラブ） ・対象 小学4年生～中学2年生の児童・生徒 ◇こども交流支援事業補助金 招待交流事業実施に伴う経費の補助 ・補助団体 1団体 ・事業主体 NPO法人南相馬こどものつばさ ・補助金額 1,836千円 ・補助率 定額
-----------------	--	--

学 習 活 動 団 体 育 成 支 援 事 業	自ら学ぶ楽しさを実感してもらうため、市民の多様化する学習意欲に対応する機会として各種教室を開催する。	◇生涯学習センターによる各種教室の開催 ・小高（１教室） ・鹿島（１教室） ・原町（５教室） ・太田（３教室） ・大甕（３教室） ・高平（２教室） ・石神（２教室） ・ひがし（１教室） ・ひばり（２教室） 計 ２０教室
----------------------------	--	---

令和３年度社会教育施設等の修繕事業

事 業 名	事 業 目 的	事 業 内 容
生涯学習センター 施 設 営 繕 事 業	施設利用者の安全性を確保し、円滑な施設運営を行うため、施設の維持管理に必要な修繕等を行う。	生涯学習センターの修繕計画に基づいて実施 ＊令和３年度から５年間 ◇鹿島生涯学習センター男子便所洋風便器改修工事 ◇原町生涯学習センタートレーニングルームエアコン設置工事 ◇大甕生涯学習センター和室エアコン設置工事

(2) 事業実施状況

令和2年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
女性団体活動支援補助金	女性の資質や能力を向上させるとともに、生涯学習の視点に立った学習の機会を提供し会員相互の交流や女性団体の自主事業の活性化を促すため、補助金を交付する。	◇補助対象 1団体 ・事業主体 原町区婦人団体連合会 補助金額 90千円 補助率 定額
生涯学習講演会開催事業補助金	地域の中で、人としての温かさや優しさ、幸せに生きることの大切さを考える機会を提供するため、講演会を開催する実行委員会に対し、補助金を交付する。	◇補助対象 1団体 ・事業主体 生涯学習講演会実行委員会 ・補助金額 1,000千円 ・補助率 定額 ※開催中止※
報徳精神がいきづくまちづくり事業	報徳仕法のいきづく本市において、その教えを時代を超えて継承し、現代的視点で見つめ直して心豊かなまちづくり・ひとづくりを進めるため、報徳仕法に関する学習機会を提供する。	◇報徳のまちづくり講演会 ・期 日 令和2年10月2日(金) ・会 場 原町生涯学習センター ・講 師 オーハシヨースケ 氏 (身体表現教育者) ・演 題 二宮尊徳から学ぶ「耐える力」 ～明日に繋ぐ「時機」を待つ!～ ・参加者 59人 ・対 象 一般市民 ◇第26回全国報徳サミット掛川市大会 ・期 日 令和2年11月6日(金)～7日(土) ・会 場 静岡県掛川市生涯学習センター ※開催中止※ ◇同報徳サミット掛川市大会ツアー ・期 日 令和2年11月6日(金)～7日(土) ・会 場 静岡市掛川市生涯学習センター ※開催中止※ ◇学校教育との連携による郷土学習 「ふるさと教育」の推進 ・副読本「報徳仕法-南相馬市版(改訂版)」 の配付(4月) 501部 市内全小学校新4年生児童・転入教諭 ・小中学校教育課程による「ふるさと教育」 授業の実施 ◇「報徳精神」の普及啓発 ・市職員啓発活動 新採用職員への副読本概要版配付 40人 ・清掃活動の実施 職員自らが率先垂範して、市役所本庁舎 (玄関脇)の二宮尊徳像の清掃活動 「一人ひとりの報徳実践DAY」の実施 ◇各生涯学習センターにおける報徳仕法に関する学級・講座等の開催 【報徳講座】 (2センター 62人) 石神 4講座/53人 ひがし 1講座/9人 【高齢者学級・女性学級等による実施】 (7センター 114人) 小高 1学級/12人 鹿島 1学級/24人 原町 1学級/24人 太田 1学級/20人 大甕 1学級/14人

		高平 1 講座／ 9 人 ひばり 1 学級／ 11 人 ◇報徳仕法ゆかりの市内めぐりリーフレット ・印刷部数 4, 000 部 ・配布先 市内公共施設及び観光関連施設 ◇「二宮尊徳・富田高慶からの贈り物」副読本ダイジェスト版作成 ・印刷部数 4, 000 部 ・配布先 市内公共施設及び観光関連施設
高等学校 開放講座事業	趣味や知識を深め技術の習得を図るため、市内高等学校の専門的な教育機能を市民に開放し、各種講座を実施する。	◇相馬農業高等学校開放講座 参加者 62 人 【第 1 回】 期 日 令和 2 年 9 月 19 日（土） 会 場 ひばりが原農場 教室 参加者 20 人 内 容 基礎から学ぶ！寄せ植え講座 材料費 1, 000 円 【第 2 回】 期 日 令和 2 年 9 月 26 日（土） 会 場 相馬農業高等学校 製パン室 参加者 20 人 内 容 ふわふわ焼き立てパン作り講座 材料費 500 円 【第 3 回】 期 日 令和 2 年 12 月 19 日（土） 会 場 相馬農業高等学校機械室 参加者 22 人（内親子参加：2 組 4 人） 内 容 新年を彩るミニ門松作り講座 材料費 1, 000 円 ◇小高産業技術高等学校開放講座 商業系、工業系講座 年 4 回 ※実施見送り※
成人式事業	成人に達した青年の自覚を促すとともに、新成人を祝い励ますために、成人式を開催する。	◇令和 3 年南相馬市成人式 ・期 日 令和 3 年 1 月 10 日（日） ・会 場 南相馬市民文化会館（ゆめはっと） ・対象者 616 人 平成 12 年 4 月 2 日～ 平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた方 ※令和 3 年度に延期※

家庭教育支援 総合推進事業	子供の基本的な生活習慣や生活能力等を身につける家庭教育について学ぶ機会の提供や地域環境づくりを推進するため、学校・社会・家庭との連携協力を図り、家庭教育に関する学習機会の提供や支援を行う。	◇子育て学習講座 実績 1団体／1件 22人 ・太田大甕スポーツクラブ ◇家庭教育講座 実績 4件 357人 ・青葉幼稚園 ・大甕幼稚園 ・かしま保育園 ・かみまの保育園 ◇就学児子育て講座 実績 市内小学校で5件 295人 ◇家庭教育大学公開講座 ・期 日 令和2年12月1日（火） ・会 場 原町生涯学習センター集会室 ・講 師 五十嵐 敦氏（福島大学） ・演 題 家庭で考える 子どものやる気と自信の引き出し方 ・参加者 66人 ・対 象 一般市民
中学生職場体験等 支援事業	生徒自らが体験することで働くことの意義や目的を理解し社会人としての自立促進を図るため、市内中学校が授業の一環として実施する職場体験・福祉体験活動を支援する。	◇中学生職場体験・福祉体験活動の支援 ・担当者説明会 期 日 令和2年5月28日（木） ・職場体験活動取材 実施校 4中学校 実施日 令和2年9月9日（水）～17日（木） 生徒数 199人（実数） 受入れ 71事業所（延べ） ・令和3年度 事業所受入意向調査 調査件数 575事業所 調査期間 令和3年1月27日（水）～2月15日（月） ◇職場体験活動情報誌 「体験！Working！」の発行（年1回） ・発行日 令和2年12月15日 ・発行部数 4,500部 ・配布先 市内中学校（生徒、教職員） 市内小学校（教職員） 公共施設、事業所等
生涯学習講座事業	自ら学ぶ楽しさを実感してもらうため、生涯学習事業及び社会教育事業を推進するとともに、市民ボランティア及び行政職員等による出前講座を実施する。	◇各生涯学習センターにおける学級・講座等の開催 ・小高（2学級・3講座） ・鹿島（2学級・5講座） ・原町（3学級・1講座） ・太田（3学級・2講座） ・大甕（2学級・5講座） ・高平（2学級・2講座） ・石神（2学級・4講座） ・ひがし（1学級・3講座） ・ひばり（2学級・2講座） 合 計 19学級・27講座 ◇生涯学習まちづくり出前講座の実施 ・対象者 市内に在住・在勤・在学の団体等 ・実施回数 112回 ・市民ボランティア 61回 ・行政、公共団体等 51回 ・メニュー表 3,000部発行 発行日 令和2年6月 配布先 講師及び受講団体、関係機関・団体等

		・出前講座の継続にかかる意向調査予定 調査対象 市民ボランティア講師 NPO・各種団体等 調査期限 令和3年2月 ・講師登録数 85人 ・講座メニュー数 316メニュー
子ども自然体験 学習事業	子どもに社会性や知識を身に付けてもらうため、自然の大切さや地域の文化芸術を学ぶ機会を提供する。	◇親子による自然科学体験 ・対象 市内の児童・生徒とその家族 ・回数 年3回 ・参加者 80人 【第1回】開講式 期 日 令和2年8月1日（土） 会 場 南相馬市原町区上太田地内 はたるの里 内 容 市内生物系体験観察 参加者 25人 【第2回】 期 日 令和2年9月6日（日） 会 場 南相馬市原町区金沢地内 内 容 野菜収穫体験 参加者 21人 【第3回】 期 日 令和2年11月8日（日） 会 場 南相馬市原町区泉地内 内 容 古代史探検 参加者 34人 【第4回】 期 日 令和3年2月7日（日） 会 場 原町生涯学習センター 内 容 発掘体験 参加予定人数 20人 【第5回】 期 日 令和3年2月 会 場 宮城県七ヶ宿スキー場 内 容 スキー体験 参加予定人数 40人 ※第4回・5回については開催中止 ◇災害協定締結都市等からの招待事業へ参加 ・対象 小学4～中学2年生の児童・生徒 ・団 体 3団体 参加予定人数 東京都青梅市 20人 長崎県長崎市 15人（さだ企画） 長野県信濃町 30人（イオン1%クラブ） ※参加見送り※
学習活動団体 育成支援事業	自ら学ぶ楽しさを実感してもらうため、市民の多様化する学習意欲に対応する機会として各種教室を開催し、将来自立した活動ができるよう各種団体への組織化等の支援を行った。	◇生涯学習センターによる各種教室の開催 ・小高（2教室） 136人 ・原町（5教室） 280人 ・太田（3教室） 275人 ・大甕（3教室） 103人 ・高平（1教室） 107人 ・石神（2教室） 240人 ・ひがし（1教室） 199人 ・ひばり（2教室） 91人 計 19教室 1,431人

こども交流 支援事業補助金	全国各地において、子ども同士や地域住民との交流の拡大を図るため、南相馬こどものつばさが実施する事業に対し、補助金を交付する。	◇補助対象 1 団体 ・事業主体 NPO法人南相馬こどものつばさ ・補助金額 1, 385 千円 ・補助率 定額 ・事業内容 招待交流事業実施に伴う必要経費の一部を補助 【事業実績】 ・夏休みの過ごし方アンケート調査（小中学校） ・夏休みのオンライン学習サポート教室（午前午後の計 8 回実施） 1 回目：令和 2 年 8 月 9 日（日）～12 日（水） 2 回目：令和 2 年 8 月 17 日（月）～20 日（木） 〈2 回目のみ〉 外出自粛に伴う運動不足解消に YouTube 動画配信も併せて実施 ・富良野のおいしい野菜を食べよう会 令和 2 年 10 月 24 日（土）～25 日（日）
紅梅の里・ 親と子の絆づくり 体験事業	小高区の住民同士の絆を深めるとともに、小高区への帰還や生活再建等を促進するため、交流事業を実施する。	◇小高復興まち歩き事業 ・期日 令和 2 年 6 月 ・対象 市民 ・会場 小高区内 ・内容 小高区の文化財や史跡巡りを実施（小高区の再発見と帰還した区民との絆づくり） ◇親子体験事業 ・期日 令和 2 年 9 月 ・対象 小高区の小中学生の親子 ・会場 小高交流センター ・内容 親子でトン汁を作る ◇移動水族館交流事業 ・期日 令和 2 年 10 月 ・対象 小高区の小中学生の親子 ・会場 小高生涯学習センター ・内容 移動水族館 海洋動物体験コーナーの設置 ◇キャンドルライト交流事業 ・期日 令和 2 年 11 月 ・対象 小高区の小中学生の親子 ・会場 小高生涯学習センター ・内容 LED のキャンドルライトで絵文字の制作を実施 ※全事業中止※
その他の事業	市内で活動するの生涯学習団体の支援をするため、登録制度を設けて、使用料の減免をする。	○生涯学習施設等登録団体の支援（R3.3.31） ・登録団体数 301 団体 小高区 19 団体 鹿島区 25 団体 原町区 257 団体

※開催中止(延期)※ 等

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止・延期または開催方法を変更したもの

令和2年度社会教育施設等の修繕事業

事業名	事業目的	事業内容
生涯学習センター 施設営繕事業	施設利用者の安全性を確保するとともに円滑な施設運営を行うため、施設の維持管理に必要な修繕等を行う。	生涯学習センターの修繕計画に基づいて実施 ＊令和2年度から5年間 ◇鹿島生涯学習センター空調設備改修工事 ◇ひがし生涯学習センター多目的トイレ増設工事

2 生涯学習センター関係

(1) 令和3年度事業計画

◆生涯学習講座事業

生涯学習センターが実施する各種学級・講座をとおり、自ら学ぶ楽しさを実感してもらうとともに知識の習得及びスキルの向上を図ることができるよう、生涯学習事業及び社会教育事業を推進する。

①小高生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	ハーバリウム、藍染教室 トールペイント 他	8
うきふね学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	報徳仕法、終活講座 他	4
バラエティ講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	ポーセリンアート、茶道、 陶芸教室、他	5
フラワー教室	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	フラワーアレンジ	5
そば打ち教室	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	そば打ち教室	3
健康いきいき教室	市民が主体的に学習できる場を提供し、健康的な身体づくりを目指す。	ノルディックウォーキング フラダンス、吹矢	5
計			30

②鹿島生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	防災教室、料理教室、フラ ワーアレンジメント 他	5
ひこばえ学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	防災教室、園芸教室 他	4
成人学級	成人を対象に一般的な教養及び歴史の専門知識に関する学習を目的に開催する。	鹿島区の歴史	3
ヨガ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	心身のリラックスヨガ	5
手作りアート講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	絵手紙	5
チャレンジ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	トールペイント	2
パン作り講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	テーブルロール 他	4
郷土を生かした 健康料理講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	地産地消を生かした料理	3
計			31

③原町生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
成人大学 (生涯学習共通事業)	政治、経済、文学、歴史等について大学教授等を招いて豊かな教養を身につける。	漢方の話、方言学入門、山形大学移動研修 他	10
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	防災対策教室、手踊り教室、フラワーアレンジメント教室、移動研修 他	10
さわやか学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	健康講話、移動研修 他	9
バラエティ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	そば打ち体験、フラワーアレンジメント教室 他	6
計			35

④太田生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	かごあみ教室、報徳講座、簡単料理教室 他	5
楽らく学級	健康な身体作りを通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	楽らく体操教室	12
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	苔玉作り教室、報徳講座 他	3
レッツトライ講座	「何でも見てやろう、何にでもトライしてみよう」という学習意欲を醸成していただくため、様々な分野の体験型・見学型講座を提供する。	ドローン操作、スマホ教室 他	4
アートデザイン講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	トールペイント、デコパージュ 他	4
計			28

⑤大甕生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	フラワーアレンジメント、草木染（シルクショール染） 他	5
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	さつま芋苗植え・芋収穫、移動研修 他	6
クッキング講座	新たな工夫で食の安全を確保すべく参加者相互の向上とコミュニケーションをはかる事を目的とする。	薬膳料理、洋食を学ぶ、こんにゃく作り 他	6
うまい生き方講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	相馬地方の方言、茶の湯の楽しみ方 他	5
おおみかハツラツ講座	高齢化社会に対応した健康づくりとともに、生きがいや心の豊かさを見いだし生活に活かすことを目的とする。	健康で快適な生活を維持する方法を身につける	8
ものづくり講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	切り絵、トールペイント、陶芸 等	11
パフォーマンスアップ講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、健康的な身体作りを目指す。	ヨガ、太極拳、パフォーマンスアップ体操	8
計			49

⑥高平生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	ハワイアンキルト、草木染体験 他	8
子育て講座	子供の健やかな成長を願い、遊びながら楽しい子育てをする方法を学習すると共に子育て中の親同士の情報交流の場をもつ。	野菜の収穫体験、リトミック、ミニ運動会 他	12
高平成入講座	健康・政治・経済・歴史・生活に関する情報など幅広くこれからの生活に役立つ知識を身につけられるようにする。	初心者ルアーフィッシング、報徳講座	4
計			24

⑦石神生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
石神女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	みそ作り、クリスマスリース作り 他	4
石神しあわせ学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	生け花教室、干支人形づくり、健康教室 他	6
ふる里味塾	将来に残すべき伝統、そして新たな工夫で食の安全を確保すべく参加者相互の向上とコミュニケーションをはかる。	みそ作り、キムチの素作り 他	5
石神バラエティ講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	ハーバリウム作り、新そば作り 他	4
石神歴史散策講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	古代遺跡研修、塩の道探索 他	4
癒しの時間の演出講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	ブローチ作り、アロマキャンドル作り 他	4
計			27

⑧ひがし生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	スポーツ教室、健康料理づくり、教養講座 他	5
しらゆり学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	健康講座、教養講座、園芸講座 他	6
男の課外授業	学校では教えない幅広いジャンルの中から、暮らしに役立つ知識と技術を身につける。	電気、科学、料理、自動車関連 他	6
うまいもの講座	衣食住に役立つもの作りを体験し、創意工夫を凝らした暮らしづくりをめざす。	パッチワーク、季節の料理、トールペイント	7
ボディチェンジ講座	健康的な肉体を求め、脱メタボをめざす。	健康体操	5
ゆる育講座	子育て中の母親が安心して子育てできるよう、情報交換の場を設けることを目的とする。	写真撮影のコツ、ダンス、子育て講座 他	4
計			33

⑨ひばり生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
ひばり女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	健康体操教室、移動講座（報徳仕法） 他	5
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	健康体操教室、自主防災講座、移動研修 他	6
人生100年時代の学び直し講座	次世代型社会を皆で考え、実現していく講座。世界的な潮流、社会の変容を理解し、毎日の仕事、生活に活かしていくことを目的とする。	移動講座（ハイテク農業、ロボットテストフィールド） 他	5
ひばりバラエティ講座	様々なモノ作りを通して、個々の感性を磨くための体験型学習を目的とする。	アロマセラピー、お菓子作り 他	4
計			20

⑩生涯学習センター（共通）

事業名	事業目的	配信内容
生涯学習チャンネル配信事業	南相馬チャンネルで生涯学習講座を配信し、コロナ禍の中でも自ら学ぶ楽しさを実感してもらうことを目的とする。	・プロに学ぶ、写真撮影のコツ ・おうちで楽しむ茶道教室 ・空きペットボトルでフラワーアート製作 他
計		動画配信予定件数 11

◆学習活動団体育成支援事業

自らの趣味と教養を高めるため、参加者自らが教室の運営に携わり、運営が軌道にのった段階でサークルに移行できるよう活動を支援する。

①小高生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
絵手紙教室	絵手紙	月2回（4月～3月）	23
計			23

②鹿島生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
ハンドメイド教室	インテリア雑貨づくり	偶数月1回（第3木曜日）	5
計			5

③原町生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
童謡・唱歌を歌おう教室	童謡・唱歌を歌う	月1回（第4水曜日）	11
ヨガ教室	ヨガ	月2回（第1・3 木曜日）	24
ギター教室	ギター演奏	月2回（第2・4 水曜日）	22
英会話教室	英会話	月2回（第2・4 火曜日）	24
ウクレレ教室	ウクレレ演奏	月2回（第1・2 金曜日）	20
計			101

④太田生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
レザークラフト教室	レザーで小物等を作る	月 2 回（第 2・4 金曜日）	22
ホームメイドスイーツ教室	簡単なスイーツを作る	年 4 回（第 2 金曜日）	4
太田クッキングルーム	食育と共に簡単にできる料理を学ぶ	月 1 回（第 2 火曜日）	11
計			37

⑤大甕生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
生 け 花 教 室	生け花	月 1 回（第 3 水曜日／8 月～12 月）	5
書 道 教 室	書道	月 2 回（第 2・4 金曜日／8 月～12 月）	10
クラフトテープ教室	基礎を学び独自の作品を作る	月 2 回（第 3・4 月曜日／5 月～3 月）	22
計			37

⑥高平生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
はじめてのクラフトバンド教室	季節の飾り物、小物、バックづくり ほか	月 2 回（第 1・3 水曜日／4 月～3 月）	24
フラダンス教室（初心者向け）	フラダンスの基礎を学ぶ	月 2 回（第 1・3 木曜日／5 月～3 月）	22
計			46

⑦石神生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
石神らくらく健康体操教室	真向法体操を中心に誰でも簡単にできる体操を通して心身のバランスを整える	月 2 回（第 1・3 木曜日）	24
石神たのけん体操教室	毎日の生活に取り入れられる運動	月 2 回（第 1・3 火曜日）	16
計			40

⑧ひがし生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
初 級 者 陶 芸 教 室	陶芸を基礎から学ぶ	月 2 回（第 2・4 木曜日）	20
計			20

⑨ひばり生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
ひばりフォークギター教室	音楽をととして地域住民のふれあいの輪を広げ、地域活性化を目指す	月 2 回（第 1・3 水曜日）	24
季節の料理教室	地元食材・素材を生かした季節の料理を作る	隔月 1 回（第 2 水曜日）	6
計			30

◆その他の事業（大会、展示会等）

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
地区文化祭		1	1	1	1	1	1	1	1	8
パークゴルフ大会				2	6		3			11
地区運動会等 (地域住民全員参加型スポーツ大会)							3			3
ふれあいオリンピック (住民参加型種目別スポーツ大会)						1				1
世代間交流事業				1	3	1				5
夏まつり								1		1
冬まつり								1		1
短歌大会・芸能発表大会		2								2
交流会・作品展				1				1		2
計	-	3	1	5	10	3	7	4	1	34

◆社会教育団体の育成等

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
少年団体				1		2				3
青年団体										-
若妻団体										-
婦人団体	1		1	2		1		2		7
高齢者団体		1		1		1	1	1		5
文化団体		1								1
体育団体				1				3		4
計	1	2	1	5	-	4	1	6	-	20

◆その他の社会教育関係団体（事務局設置）

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
市青少年育成市民会議			○	○	○	○	○			5
防犯協会			○	○	○	○	○			5
地区行政区長会			○	○	○	○	○			5
計	-	-	3	3	3	3	3	-	-	15

(2) 令和2年度事業実施状況

◆生涯学習講座事業

生涯学習センターが実施する各種学級・講座をとおり、自ら学ぶ楽しさを実感してもらうとともに知識の習得及びスキルの向上を図ることができるよう、生涯学習事業及び社会教育事業を推進する。

①小高生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	藍染、木工作品、寄せ植え 健康体操教室 他	6
うきふね学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	報徳仕法、しめ飾り	2
バラエティ講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めことを目的とする。	陶芸教室、そば打ち教室、 動画配信(リボンリース)	2
茶道教室	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	茶道	5
パン作り講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	パン作り ※講座開催中止※	0
スポーツ吹き矢体験講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	スポーツ吹き矢	5
計			20

②鹿島生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	料理教室・フラワーアレンジメント 他	3
ひこばえ学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	マジックショー・パン粘土制作 他 ※講座開催中止※	0
成人学級	成人を対象に一般的な教養及び歴史の専門知識に関する学習を目的に開催する。	報徳仕法と相馬野馬追について	2
ヨガ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	心身のリラックスヨガ	3
手作りアート講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	春夏秋冬の絵手紙を描く	3
チャレンジ料理講座	西洋風的な料理に挑戦し、知識教養を高める。	洋菓子	1
パン作り講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	ピザパン 他	2
郷土を生かした健康料理講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	キムチの素づくり、こんにやくづくり 他	3
計			17

※開催中止※

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止したもの

③原町生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
成人大学 (生涯学習共通事業)	政治、経済、文学、歴史等について大学教授等を招いて豊かな教養を身につける。	漢方の話、方言学入門、果物と食の健康の科学 他	6
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	健康レクリエーション講座、防災のお話、絵手紙 他	4
さわやか学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	交通安全教室、健康講話、移動研修 他	4
バラエティ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	ウクレレ、フライパンを使ったお菓子づくり 他	6
計			20

④太田生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	かごあみ、報徳講座、料理教室、健康体操 他	5
いきいき学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	いきいき体操教室	7
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	苔玉作り、報徳講座、アートしめなわ作り	3
レッツトライ講座	「何でも見てやろう、何にでもトライしてみよう」という学習意欲を醸成していただくため、様々な分野の体験型・見学型講座を提供する。	筆ペン、ロールケーキ作り	2
アートデザイン講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	トールペイント、レザークラフト、コサージュ作り	4
計			21

⑤大甕生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	草木染め、ネイルケア、トールペイント 他	5
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	園児とさつま芋苗植え・芋掘り 移動研修 他	5
おおみかハツラツ講座	高齢化社会に対応した健康づくりとともに、生きがいや心の豊かさを見だし生活に活かすことを目的とする。	健康で快適な生活を維持する方法を身につける	5
パフォーマンスアップ講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、健康的な体づくりを目指す。	ヨガ、ノルディックウォーキング 他	7
クラフトテープ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	クラフトテープ作品作り	8
うまい生き方講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	老後の資産管理、美味しい珈琲のいれ方 他	5
クッキング講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	アレンジピザ、飾り巻き寿司、洋食を学ぶ 他	5
計			40

⑥高平生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	扇子づくり、フラダンス、格闘技エクササイズ 他	13
いきいき学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	ナチュラルメッセージボード作成	1
子育て講座	子供の健やかな成長を願い、遊びながら楽しい子育てをする方法を学習すると共に子育て中の親同士の情報交流の場をもつ。	野菜の収穫体験、ミニ運動会、リトミック 他	8
高平成入講座	健康・政治・経済・歴史・生活に関する情報など幅広くこれからの生活に役立つ知識を身につけられるようにする。	ルアーフィッシング、報徳講座	4
計			26

⑦石神生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
石神女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	ソウタシエ作り、みそ作り、お正月リース作り	4
石神しあわせ学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	生け花教室、健康講座 他	3
ふる里味塾講座	将来に残すべき伝統、そして新たな工夫で食の安全を確保すべく参加者相互の向上とコミュニケーションをはかる。	みそ作り、辛味噌作り、キムチの素作り 他	4
石神バラエティ講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	和紙人形作り体験、パンプキンケーキ作り	2
石神歴史散策講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	牛越城跡散策、小高区の国指定文化財見学 他	4
癒しの時間の演出講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	ミニフラワーアレンジメント作り 他	4
計			21

⑧ひがし生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	スポーツ教室、健康料理教室 他 ※講座開催中止※	0
しらゆり学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	絵手紙、寄せ植え 他	4
男の料理講座	男性も料理を習得し、楽しい食生活を送れるようにする。	和食料理、中華料理 ※講座開催中止※	0
おまがね講座	食をとおして、地域コミュニティの基礎づくりをめざす。	キムチの素作り、変わりりの巻き	2
ボディチェンジ講座	健康的な肉体を求め、脱メタボをめざす。	ストレッチで健康寿命を延ばそう	5
ゆる育講座	子育て中の母親が安心して子育てできるよう、情報交換の場を設けることを目的とする。	絵本読み聞かせ、英語であそぼう、簡単おやつクッキング	3
計			14

※開催中止※

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止したもの

⑨ひばり生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
ひばり女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	介護予防体操、報徳仕法、ペットボトル風車作り	3
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	介護・認知症などの予防対策、しの笛演奏会	2
人生100年時代の学び直し講座	世界的な潮流、社会の変容を理解し、毎日の仕事、生活に生かしていく事を目的とする。	小学校・中学校・高校・高等専門教育の現状と今後について	4
ひばりバラエティ講座	様々なモノ作りを通して、個々の感性を磨くための体験型学習を目的とする。	ポーセラーツ製作、お菓子作り、正月飾り体験 等	3
計			12

⑩生涯学習センター（共通）

事業名	事業目的	配信タイトル	
生涯学習チャンネル 配信事業	南相馬チャンネルで生涯学習講座を配信し、コロナ禍の中でも自ら学ぶ楽しさを実感してもらうことを目的とする。	リトミック	
		リボンリース作り	
		移民たちが伝える郷土料理 べんけい	
		ペットボトル風車を作ろう	
		お家でカンタン体操教室	
		絵手紙を描いてみよう	
		簡単お菓子作り	
		季節を感じる寄せ植えをしてみよう	
		簡単お手軽料理！クルミちりめんの作り方	
計		動画配信件数	9

◆学習活動団体育成支援事業

自らの趣味と教養を高めるため、参加者自らが教室の運営に携わり、運営が軌道にのった段階でサークルに移行できるよう活動を支援する。

①小高生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
絵手紙教室	絵手紙	月1回（7月～3月）	8
フラワーアレンジメント教室	フラワーアレンジメント	月1回（7月～1月）	7
計			15

②原町生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
オカリナ教室	オカリナの演奏	月2回（第2・4月曜日）	8
童謡・唱歌を歌おう教室	童謡、唱歌を歌う	月1回（第4水曜日）	1
ヨガ教室	ヨガ体操	月2回（第1・3木曜日）	10
ギター教室	ギターの演奏	月2回（第2・4水曜日）	9
英会話教室	英会話を学ぶ	月2回（第2・4火曜日）	9
計			37

③太田生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
こころの健康体操教室	自律神経のバランスを整える	月 2 回（第 2・4 水曜日）	18
書 道 教 室	書道	月 2 回（第 2・3 水曜日）	18
生 け 花 教 室	生け花	月 2 回（第 1・3 月曜日）	15
計			51

④大甕生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
切 り 絵 教 室	切り絵を基礎から学ぶ	月 1 回（第 1 金曜日/8 月～1 月）	6
生 け 花 教 室	生け花	月 1 回（第 3 水曜日/9 月～1 月）	5
工 芸 教 室	工芸を基礎から学ぶ	月 1 回（第 4 水曜日/8 月～11 月）	3
計			14

⑤高平生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
クラフトバンド教室 （初級コース）	初心者を対象とした季節の飾り物、小物づくり	月 2 回（第 1・3 水曜日/4 月～3 月）	12
計			12

⑥石神生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
石 神 ギ タ ー 教 室	フォークソングを弾きながら歌う	月 2 回（第 1・3 月曜日）	18
石神らしく健康体操教室	誰でも簡単にできる体操	月 2 回（第 1・3 木曜日）	16
計			34

⑦ひがし生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
陶 芸 教 室	陶芸の基礎を活かした作品づくり	月 2 回（第 2・4 木曜日）	19
計			19

⑧ひばり生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
新 作 郷 土 料 理 教 室	地元食材・素材を生かした試作品(加工品)を作る	月 1 回（第 2 水曜日）	3
ギターふれあい教室	音楽をとおして地域住民のふれあいの輪を広げ、地域活性化を目指す	月 2 回（第 1・3 水曜日）	16
計			19

◆その他の事業（大会、展示会等）

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
地区文化祭								1		1
パークゴルフ大会				2	6		1			9
地区運動会等 (地域住民全員参加型スポーツ大会)							2			2
ふれあいオリンピック (住民参加型種目別スポーツ大会)						1				1
世代間交流事業					3		1			4
夏まつり										-
冬まつり								1		1
短歌大会・芸能発表大会										-
交流会・作品展										-
復興支援コンサート										-
計	-	-	-	2	9	1	4	2	-	18

◆社会教育団体の育成

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
少年団体				1		2				3
青年団体										-
若妻団体										-
婦人団体	1		1	2		1		2		7
高齢者団体		1		1		1	1	1		5
文化団体		1								1
体育団体				1				3		4
計	1	2	1	5	-	4	1	6	-	20

◆その他の社会教育団体の育成等（事務局設置）

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
市青少年育成市民会議			○	○	○	○	○			5
防犯協会			○	○	○	○	○			5
地区区長会			○	○	○	○	○			5
計	-	-	3	3	3	3	3	-	-	15

(3) 令和2年度生涯学習施設の利用状況

小高区

区 分	生涯学習センター	就業改善センター	コミュニティセンター	計
利 用 件 数	366	0	0	366
利 用 人 数	7,088	0	0	7,088

鹿島区

区 分	生涯学習センター	農村環境改善センター	計
利 用 件 数	329	494	823
利 用 人 数	1,941	6,555	8,496

原町区

区 分	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
利 用 件 数	491	299	309	753	380	362	1,186	3,780
利 用 人 数	18,752	2,819	3,005	6,705	11,434	6,126	12,373	61,214

区 分	原町生涯学習センター トレーニング室	労働福祉会館
利 用 件 数	-	254
利 用 人 数	9,287	3,765

※小高区の生涯学習施設の内、小高生涯学習センター「浮舟文化会館」は、平成25年12月16日に再開。

※南相馬市就業改善センター、小高コミュニティセンターについては、平成28年3月31日まで閉鎖。

※新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令のため、令和2年4月18日～5月18日まで全生涯学習センター休館とし、市内における新型コロナウイルス感染症拡大、市内施設の感染対策の確認・対応等のため、令和3年3月20日・21日も臨時休館。

※原町生涯学習センターのトレーニング室は、令和2年2月29日～令和2年6月8日まで利用休止。

3 南相馬市生涯学習施設一覧

小高区

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
小高生涯学習センター 「浮舟文化会館」	小高区本町二丁目 89-1 TEL 44-3049	R C 造 2 F 建物 2,463.77 m ² (1F 1,954.33 m ²) (2F 509.44 m ²)	ホール 298 席 第 1 研修室 (91.59 m ²) 第 2 研修室 (91.59 m ²) 第 3 研修室 (15.91 m ²) 第 1 和室 [楽屋] (10 帖) 第 2 和室 [茶室] (20 帖) 多目的室 (89.04 m ²) 創作室 (64.229 m ²) 小高図書館 (161 m ²) 埴谷・島尾記念文学資料館 (98.54 m ²) 資料収蔵庫 (119.584 m ²) 事務室 (89.04 m ²)
南相馬市就業改善センター	小高区飯崎字北原 125-1 TEL 44-3049 (小高生涯学習センター)	R C 造 2 F 建物 544.32 m ² (1F 317.52 m ²) (2F 226.80 m ²)	事務室 (22.68 m ²) 健康相談室 (22.68 m ²) 娯楽室 (22.50 m ²) 他産業就業研修室 (57.33 m ²) 生活改善実習室 (56.70 m ²) 農業経営研修室 (136.08 m ²) 就業改善相談室 (45.36 m ²)
小高コミュニティセンター	小高区蛭沢字藤沼 50-1 TEL 44-3049 (小高生涯学習センター)	R 造 1 F 建物 276.62 m ²	多目的室 (81.90 m ²) 調理室 (23.94 m ²) 会議室 (36.00 m ²) 図書資料室 (21.00 m ²)

鹿島区

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
鹿島生涯学習センター	鹿島区寺内字迎田 22-1 TEL 46-5116	R C 造一部 4 F 建物 2,008.49 m ²	ホール 504 席 研修室 [控室] (15 m ²) 研修室 [リハーサル室] (50 m ²) 和室 (8 帖) 鹿島図書館 (120 m ²) I T 室 (48 m ²) 相談室 (23.12 m ²) 事務室 (51.87 m ²)
鹿島農村環境改善センター	鹿島区寺内字迎田 22 TEL 46-1040	R C 造 1 F 建物 998 m ²	大会議室 (360 m ²) 農事研修室 (80 m ²) 農産加工実習室 (68 m ²) 営農相談室 (24 m ²) 生活改善室 (64 m ²) 小会議室 (48 m ²) 事務室 (15 m ²)

原町区

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
原町生涯学習センター 「サンライフ南相馬」	原町区小川町 322-1 TEL 24-5322	R C造一部 2 F 1,889.47 m ²	集会室 400 席（補助椅子 103 席含む） 会議室（66.5 m ² ） 研修室（66.5 m ² ） 和室（18 帖） 講習室 1（54.0 m ² ） 講習室 2（24.6 m ² ） 料理実習室（54.0 m ² ） 事務室
太田生涯学習センター	原町区益田字塩釜 26 TEL 22-3821	R C造 1 F 621.21 m ²	和室研修室（87 m ² ） 大会議室（153 m ² ） 研修室（88 m ² ） 料理実習室（44 m ² ） 図書談話コーナー（76 m ² ） 資料室、事務室
大甕生涯学習センター	原町区大甕字十日迫 26 TEL 22-3810	R C造 1 F 598.44 m ²	会議室〔和室〕（42 帖） 大会議室（149 m ² ） 会議室兼研修室（96 m ² ） 料理実習室（45 m ² ） 資料室（18 m ² ） 図書談話コーナー（22 m ² ） 事務室
高平生涯学習センター	原町区下高平寺前 155-1 TEL 22-2302	R C造 1 F 621.50 m ²	大会議室（152 m ² ） 研修室〔和室〕（40 帖） 研修室〔洋室〕（88 m ² ） 料理実習室（48 m ² ） 図書談話コーナー（88 m ² ） 事務室
石神生涯学習センター	原町区石神字坂下 29 TEL 22-3421	R C造 1 F 617.28 m ² （建築年 S 5 4 年）	大会議室（182 m ² ） 研修室〔和室〕（48 帖） 研修室〔洋室〕（72 m ² ） 料理実習室（49 m ² ） 図書談話コーナー（31 m ² ） 事務室（54 m ² ）
ひがし生涯学習センター	原町区高見町二丁目 30-1 TEL 24-1490	R C造 1 F 497.96 m ²	和室会議室（102.85 m ² ） 研修室〔洋室〕（96.5 m ² ） 料理実習室（43.5 m ² ） 陶芸室（119.25 m ² ） 図書談話コーナー（44.1 m ² ） 事務室
ひばり生涯学習センター	原町区本陣前三丁目 60-2 TEL 25-3577	鉄骨造 1 F 860.00 m ²	エントランスホール（78 m ² ） メディアホール（60 m ² ） 学習室〔和室〕（99 m ² ） ボランティア室（30 m ² ） 学習室（72 m ² ） 多目的ホール（204 m ² ） 調理室（36 m ² ） 創作室（69.30 m ² ） 事務室
南相馬市 労働福祉会館	原町区北町 537 TEL 24-5322 （原町生涯学習センター）	鉄骨造 2 F 458.28 m ²	会議室 1（104.6 m ² ） 会議室 2（81.2 m ² ） 和室 1（10 帖） 和室 2（10 帖）

4 図書館関係

(1) 施設概要

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
中央図書館	原町区旭町二丁目7-1 Tel 23-7789	R C 一部 鉄骨造4 F 3,778.31 m ²	1階一般開架室 (1,227 m ²) 事務室 (108 m ²) 1階児童開架室 (297 m ²) 2階一般開架室 (740 m ²) 1～3階書庫 (477 m ²) 研修室 (77.6 m ²) 閲覧席 620 席 蔵書収容能力 597,000 点
小高図書館 (小高生涯学習センター 「浮舟文化会館」内)	小高区本町二丁目 89-1 Tel 66-1011	R C 造	開架室 (161 m ²) 閲覧席 24 席 蔵書収容能力 38,000 点
鹿島図書館 (鹿島生涯学習センター内)	鹿島区寺内字迎田 22-1 Tel 46-5116	R C 造	開架室 (120 m ²) 閲覧席 22 席 蔵書収容能力 19,000 点
市民情報 交流センター	原町区旭町二丁目7-1 Tel 23-7796	R C 一部 鉄骨造4 F 1,619.28 m ²	マルチメディアホール (180 m ²) 大会議室 (88 m ²) 交流広場 (173 m ²) 中会議室 (54 m ²) 生涯学習広場 (66 m ²) 小会議室 (31 m ²) 事務室 (27.5 m ²) 総合案内 (62 m ²) クラフトルーム (78.6 m ²)

(2) 開館日及び開館時間

(令和3年4月1日現在)

施設名	開館時間		休館日
中央図書館	火・水・木・金曜日	9時30分～20時00分	毎週月曜日 年末年始 特別整理期間
	土・日・祝日	9時30分～17時00分	
小高図書館	全日	10時00分～17時00分	毎週月曜日 年末年始 特別整理期間
鹿島図書館	全日	10時00分～17時00分	毎週月曜日 年末年始 特別整理期間
市民情報 交流センター	火・水・木・金曜日	8時30分～20時00分	毎週月曜日 年末年始
	土・日・祝日	8時30分～17時00分	

(3) 所蔵資料の現況

(令和3年3月31日現在)

資料区分	中央図書館	小高図書館	鹿島図書館	移動図書館	計
一般図書	211,239 点	17,232 点	8,818 点	1,434 点	238,723 点
児童図書	59,544 点	5,228 点	5,862 点	2,351 点	72,985 点
郷土資料	11,728 点	495 点	438 点	5 点	12,666 点
参考資料	2,964 点	108 点	178 点	0 点	3,250 点
洋書	1,417 点	0 点	0 点	2 点	1,419 点
紙芝居	1,887 点	265 点	125 点	86 点	2,363 点
CD・DVD等	13,977 点	8 点	7 点	274 点	14,266 点
雑 誌	23,672 点	658 点	701 点	127 点	25,158 点
おもちゃ	358 点	1 点	1 点	2 点	362 点
絵 画	265 点	5 点	0 点	13 点	283 点
地図資料	253 点	0 点	0 点	0 点	253 点
デイジー (録音図書)	130 点	0 点	0 点	0 点	130 点
その他	63 点	1 点	0 点	0 点	64 点
計	327,497 点	24,001 点	16,130 点	4,294 点	371,922 点

「その他」は主に、館内で利用者に貸出している、再生機や眼鏡等の物品

(4) 令和2年度図書館利用実績

- ・登録件数 29,204 件 (団体登録を含む)
- ・入館者数・貸出利用人数・貸出点数

	中央図書館	小高図書館	鹿島図書館	移動図書館	計
入館者数	149,203 人	7,884 人	7,648 人	11,272 人	176,007 人
貸出利用人数	64,432 人	1,718 人	2,765 人	3,617 人	72,532 人
貸出点数	291,622 点	5,198 点	11,518 点	24,827 点	333,165 点

(5) 令和2年度図書館利用促進事業

【1】定例事業

事業名	実施日・場所	内容	回数	対象	参加者数
ライブラリーシアター	毎月第2土曜日 マルチメディアホール	大型スクリーンで映画を楽しむとともに図書館利用促進のため映画会を開催。 ※8月より再開※	6回	一般	164人
子ども映画会	偶数月第1日曜日 中央図書館	子どもたちの利用促進のため映画会を開催。 ※開催中止※	0回	児童 一般	0人
おはなし会 (市民団体主催)	毎月第3土曜日 中央図書館	「絵本と童話の会」の協力により、読み聞かせや手あそびなどを実施。 ※8月より再開※	6回	3歳～ 小学生 保護者	50人
おはなし会 (図書館主催)	毎月第3土曜日 毎月第4土曜日 中央図書館	図書館職員により、読み聞かせや手あそびなどを実施した。※8月より再開※	24回	3歳～ 小学生 保護者	186人
おはなしのへや (市民団体主催)	毎月第2木曜日 中央図書館	「絵本と童話の会」の協力により、読み聞かせや手あそびなどを実施。※開催中止※	0回	乳幼児 保護者	0人
ブックスタート	毎月1回 原町保健センター 隔月1回 鹿島保健センター	絵本をきっかけに、親子のふれあいと赤ちゃんの心と言葉の発達を手助けする事業として実施。 ※6月より再開※	15回	10か月児 検診受診者 保護者	586人
なかよし広場	毎月1回 原町保健センター 鹿島保健センター	乳幼児を対象とした相談会の中で、絵本の紹介や読み聞かせ等を実施。 ※開催中止※	0回	乳幼児 保護者	0人

※開催中止等※

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止・延期または開催方法を変更したもの

【2】その他企画事業

事業名	実施日・場所	内容	対象	参加者数
ライブラリーシアター シネマバトル	第1回 9月12日 第2回 12月12日 マルチメディアホール	3人の発表者がおすすめの映画を紹介、聴衆が一番観たいと思った映画に投票し、1位を獲得した作品をその場で上映する映画会を開催。	一般	第1回 23人 第2回 25人
見て！読んで！第1回親子で読んでほしい絵本大賞 in 福島	9月20日 マルチメディアホール	JRAC（JPIC 読書アドバイザー）選出の第1回親子で読んでほしい絵本大賞の大賞作品及び受賞作品の読み聞かせや作品の解説、展示。	児童 一般	44人
古本市	10月24日、25日 大・中・小会議室、マルチメディアホール、クラフトルーム	例年開催している「市民一箱古本市」を新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら実施。	一般	150人
想いを絵本で。繋がる つなげる おはなし会&絵本講座	11月21日 マルチメディアホール	絵本専門士・田中雄人氏を講師に迎え、絵本の読み聞かせや、子育てに役立つ絵本を紹介する絵本講座を開催した。	幼児～ 一般	56人
小原風子 原画展	1月29日～31日 クラフトルーム	2020年9月に発行された『こわいきもちとちょっとのゆうき』の原画の展示。	幼児～ 一般	156人
バイリンガルおはなし会～日本語と英語で絵本を楽しもう！～	3月21日 マルチメディアホール 大会議室	午前中は日本語と英語でおはなし会。午後は読み聞かせボランティアを対象にした読み聞かせ講座。 ※開催中止※	児童	0人
第15回図書館連続講演会 & ボランティア向け研修会	3月27日 大会議室	東北福祉大学非常勤講師の高梨富佐氏を講師に迎え、午前中はボランティア向け絵本講座、午後は「コロナ時代の読書と図書館」というテーマの講演会を開催。	一般	23人

なお、例年実施していた「こども読書週間事業」及び「夏休み特別企画事業」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は中止とした。

(6) 企画展示

区 分	内 容
通年企画	・ 東日本大震災常設展 ・ 映画化、ドラマ化、原作本特集 ・ 大人の嗜みコーナー ・ 視覚・聴覚障がい資料コーナー ・ いま、輝ける自分コーナー ・ コメディカルコーナー ・ ロボットコーナー ・ 原発事故常設展 ・ いま、地域再生を考える常設展 ・ これで憲法がわかる常設展 ・ 闘病記文庫コーナー ・ 冠婚葬祭コーナー ・ デイジー図書（録音図書）コーナー ・ 正しく知ろう、コロナのこと
タイムリー企画	・ 大河ドラマ「麒麟がくる」（～12月） ・ 古関裕而（4月～11月） ・ ねこ図書館（4月～5月） ・ 車の世界（4月～5月） ・ 司書おすすめこの1冊（5月～7月） ・ 脱力系（6月～7月） ・ 考える～人の考えを知る（6月～7月） ・ 芥川・直木賞（6月～7月、1月～2月） ・ 野馬追展示（7月） ・ 地図旅（8月～9月） ・ 怪談を紐解く（8月～9月） ・ 戦争を知る（8月～9月） ・ 副業と複業（10月～11月） ・ 読書の形（10月～11月） ・ 冒険（10月～11月） ・ ゲーム×稲作（11月～1月） ・ 柳美里全米図書賞受賞記念企画（11月～3月） ・ 名著に挑戦（12月～1月） ・ 自分棚卸し（12月～1月） ・ 列島を知る（2月～3月） ・ 追悼安野光雅（1月～2月） ・ 関係人口入門（2月～3月） ・ JR 常磐線開通1周年記念（2月～）

(7) 学校図書館支援事業

①事業目的

小中学校の学校図書館における自由な読書活動の推進や主体的な学習活動を支援するために、学校司書を派遣し、担当教諭等と連携して学校図書館の整備や利用促進を図った。また、今年度から学校図書館サポート職員 1 名を置き、学校図書館の巡回、学校図書館整備など業務の援助、研修等を行った。

②学校司書数（学校教育課所属）

12 名

③勤務校及び勤務日

【小学校】

学校名	派遣日
原町第一小学校	月・火・水・木・金
原町第二小学校	月・火・水・木・金
原町第三小学校	月・火・水・木・金
高 平 小 学 校	月・火・水
大 甕 小 学 校	木・金
太 田 小 学 校	木・金
石神第一小学校	月・火・水
石神第二小学校	月・火・水・木・金
鹿 島 小 学 校	月・火・水・木・金
八 沢 小 学 校	木・金
上真野小学校	月・火・水
小高区四小学校	月・火・水・木・金

【中学校】

学校名	派遣日
原町第一中学校	月・火・水
原町第二中学校	月・火・水
原町第三中学校	木・金
石 神 中 学 校	木・金
鹿 島 中 学 校	月・火・水
小 高 中 学 校	木・金

④業務内容

- ・図書館資料の受入、装備、貸出
- ・レファレンスサービス
- ・資料選書の補助
- ・図書委員活動の支援
- ・図書館情報等の広報活動
- ・予約、リクエスト
- ・利用案内の作成、掲示
- ・貸出統計、利用統計
- ・単元に基づく学習支援 など
- ・学校図書館支援事業報告書作成

⑤図書館からの支援

- ・学校司書新人研修の企画・実施
- ・外部講師による研修の企画・立案
- ・県立図書館などで開催される研修、先進地視察の図書館職員同行
- ・学校司書欠員の際、図書館職員の派遣
- ・学校図書館支援事業報告書の作成
- ・学校図書館整備の援助
- ・資料装備 など

(8) 移動図書館管理運営事業

移動図書館車を運行して、市民が身近なところで等しく図書館を利用できるアウトリーチサービスを実施した。

【1】運行場所 災害公営住宅、幼稚園・保育園、図書館まで距離のある地域の拠点施設等

【2】運行日 週4日（火曜日～金曜日）

【3】巡回日程

No.	区分	名称	巡回予定	区分別
1	幼稚園・保育園・こども園	大甕幼稚園(原町)	第4火曜日 10:00 ~ 11:00	17か所
2		八沢幼稚園(鹿島)	第3木曜日 13:00 ~ 14:00	
3		青葉幼稚園(原町)	第2火曜日 13:00 ~ 13:30	
4		原町みなみ幼稚園(原町)	第2火曜日 10:00 ~ 10:30	
5		さゆり幼稚園(原町)	第2木曜日 14:00 ~ 15:00	
6		あずま保育園(原町)	第2木曜日 9:30 ~ 10:30	
7		よつば保育園(原町)	第1火曜日 10:00 ~ 11:00	
8		原町聖愛こども園(原町)	第2金曜日 10:00 ~ 11:00	
9		原町子育て支援センター(原町)	第3木曜日 10:30 ~ 11:30	
10		鹿島子育て支援センター(鹿島)	第1木曜日 11:00 ~ 11:30	
11		鹿島幼稚園(鹿島)	第4木曜日 13:00 ~ 14:00	
12		おだか認定こども園(小高)	第3木曜日 10:00 ~ 11:00	
13		かみまの保育園(鹿島)	第1木曜日 10:00 ~ 11:00	
14		さくらい保育園(原町)	第2水曜日 10:00 ~ 11:00	
15		かしま保育園(鹿島)	第4金曜日 10:30 ~ 11:30	
16		高平幼稚園(原町)	第1水曜日 10:00 ~ 11:00	
17		みなみそうまペンギン国際幼児園(原町)	第3火曜日 10:00 ~ 11:00	
18	災害公営住宅	西川原第一団地(鹿島)	第2・第4金曜日 14:15 ~ 15:00	6か所
19		西川原第二団地(鹿島)	第2・第4金曜日 15:15 ~ 16:00	
20		西町団地(鹿島)	第2・第4金曜日 13:00 ~ 13:45	
21		萱浜団地(原町)	第2・第4火曜日 14:30 ~ 15:15	
22		上町団地(小高)	第2・第4水曜日 13:30 ~ 14:15	
23		東町団地(小高)	第2・第4水曜日 14:45 ~ 15:30	
24	集会所や公共施設	高松ホーム(原町)	第1木曜日 14:30 ~ 15:30	11か所
25		彩りの丘(小高)	第4木曜日 10:00 ~ 11:00	
26		太田生涯学習センター(原町)	第1・第3金曜日 10:00 ~ 11:00	
27		大甕生涯学習センター(原町)	第1・第3金曜日 14:30 ~ 15:30	
28		石神生涯学習センター(原町)	第1・第3水曜日 13:00 ~ 14:00	
29		高平生涯学習センター(原町)	第1・第3水曜日 15:00 ~ 16:00	
30		かしま交流センター(鹿島)	第1・第3火曜日 13:30 ~ 14:15	
31		前川原体育館前(鹿島)	第1・第3火曜日 14:45 ~ 15:30	
32		小高区サロン(小高)	第3水曜日 10:30 ~ 11:30	
33		鹿島区福祉サービスセンター(鹿島)	第4水曜日 10:30 ~ 11:30	
34		みんなの遊び場(鹿島)	第4木曜日 14:00 ~ 15:00	

(9) 令和2年度市民情報交流センター利用実績

- ・マルチメディアホール、大会議室、中会議室、小会議室、クラフトルーム利用件数
- ・申請件数、利用人数（施設別）

区 分	マルチメディアホール	大会議室	中会議室	小会議室	クラフトルーム	計
申請件数	83 件	151 件	106 件	166 件	68 件	574 件
利用人数	6,182 人					6,182 人

(10) 令和2年度埴谷・島尾記念文学資料館事業内容

【1】収蔵資料点数

① 埴谷雄高関係資料

種 類	点 数
書 籍	1,279 点
原 稿	16 点
書	4 点
書 簡	57 点
写 真	10,000 点
蔵 書	7,803 点
ビデオ	204 点
レコード	157 点
※その他	1,001 点
合計	20,521 点

② 島尾敏雄関係資料

種 類	点 数
書 籍	817 点
原 稿	5 点
書	9 点
衣 類	10 点
手紙・はがき	147 点
※その他	21 点
合計	1,009 点

③ 小高の人物関係資料

種 類	点 数
鈴木安蔵	79 点
半谷清壽	19 点
大曲駒村	7 点
半谷絹村	4 点
豊田君仙子	100 点
天野秀延	11 点
平田良衛	13 点
杉山元治郎	6 点
合計	239 点

④ その他

種 類	点 数
俳句関係	413 点
その他	635 点
合計	1,048 点

※その他とは、新聞記事の切り抜き等の分類できない資料

【2】入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入館者	39	5	30	27	22	38	70	42	24	63	36	59	455

【3】企画展示

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、企画展や記念事業は実施しなかった。

5 文化振興関係

(1) 令和3年度事業計画

(令和3年4月1日現在)

事業名	事業目的	事業内容
芸術文化協会等事業補助金	市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図るため、芸術文化の普及を行う団体に対し、補助金を交付する。	◇事業主体 南相馬市芸術文化協会 ・内 容 文化祭、情報紙発行、芸能発表大会、短歌大会、各区芸術文化協会事業の開催 ・補助金額 1,700千円 / 定額 ※令和元年7月17日に小高区芸術文化協会、鹿島区文化協会、原町区芸術文化協会が統合し「南相馬市芸術文化協会」を設立したことから、南相馬市芸術文化協会へ補助金を交付。
地域文化振興助成事業補助金	市民の芸術文化活動の振興及び育成を図るため、成果発表等を行う団体等に対し、補助金を交付する。	◇事業主体 市内の個人又は団体 ・補助率 補助対象経費の1/2以内(上限あり) ・対象事業 成果発表、大会出場・出品・派遣、地区文化祭、文化財保護等 ◇文化団体の成果発表事業等への助成 地区文化祭 7件、成果発表 20件 文化財 1件、大会出場 2件 計 30件
学校等市民文化会館利用支援補助金	学校等の芸術文化及び教育活動の振興を図るため、行事等で市民文化会館を利用する学校等に対し、利用料金の一部を補助する。	◇事業主体 市内の幼稚園、保育園、小中学校、高等学校等 ・補助率 対象経費全額又は1/2(回数制限あり) ・対象経費 学校行事、部活動で市民文化会館を利用した際の施設利用料金及び附属設備利用料金 ・予定件数 11件 (学校行事4件、部活動5件、園行事2件)
ふるさと民俗芸能伝承事業	伝統芸能の保存伝承と後継者育成を図るため、伝承活動を支援する。	◇ふるさと民俗芸能伝承事業 小中学校における「相馬流れ山踊り」ほか伝承事業に対する講師派遣支援
文化芸術ふれあい事業	市民が芸術文化にふれる機会の充実と芸術文化による新たなまちづくりの契機とするため、本市を活動拠点とする民間団体等や市民アートサポーターと協力しながら創造的な芸術文化活動を実施し、市内の芸術文化の振興を図る。	◇市民アートサポーターとアーティストの交流 ※市民アートサポーターとアーティストが交流しながら作品制作、展示等を行う。 【作品制作】 制作期間 令和3年9月～10月 1週間程度(予定) 【作品展示】 期 日 令和3年10月予定 会 場 市内公共施設等 ◇アート映像等の作品上映と講演 期 日 令和3年6月5日(土) 会 場 国登録有形文化財「朝日座」 内 容 令和2年度事業の映像等の上映、講師によるトークショー、映画「縄文にハマる人々」上映 講 師 安芸早穂子氏(縄文復元画家)ほか

第 1 5 回 南 相 馬 市 総 合 美 術 展 覧 会	美術・芸術への理解と関心を高めるとともに、創作活動を促し、美術・芸術の振興と情操の育成を図るため、小学生から大人までの作品を集め、展覧会を開催する。	◇第 1 5 回南相馬市総合美術展覧会の開催 ・会 期 令和 4 年 1 月 2 2 日（土） ～ 2 5 日（火） ・会 場 鹿島農村環境改善センター （万葉ふれあいセンター） ・部 門 一 般：日本画・洋画・書・彫刻工芸・写真 小中学生：平面・立体作品・書・技術家庭 ◇展覧会表彰式 ◇こども茶道教室参加児童生徒による茶会 ◇ワークショップの実施
----------------------------------	--	---

（２）令和 2 年度事業実施状況

事 業 名	事 業 目 的	事 業 内 容
芸術文化協会等事業補助金	市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図るため、芸術文化の普及を行う団体に対し、補助金を交付する。	◇文化芸術団体が実施する文化事業に対する補助 《鹿島区文化協会》 ・みちのくの万葉の里短歌大会 期日 令和 2 年 1 1 月 2 9 日（日） 会場 鹿島農村環境改善センター （万葉ふれあいセンター） ※開催中止※ ・芸能発表大会 期日 令和 2 年 1 0 月 2 5 日（日） 会場 鹿島生涯学習センター （さくらホール） ※開催中止※ ・鹿島区文化祭 期日 令和 2 年 1 0 月 3 1 日（土） ～ 1 1 月 1 日（日） 会場 鹿島農村環境改善センター （万葉ふれあいセンター） ※開催中止※ 《原町区芸術文化協会》 ・情報紙 ・芸文協だより（第 7 8 号）発行 ・芸文協だより（第 7 9 号） ※発行中止※ ・機関紙「会報」発行（第 5 2 号） ※発行中止※ ・文化祭 期日 令和 2 年 1 1 月 1 4 日（土） ～ 1 5 日（日） 会場 市民文化会館（ゆめはっと） ※開催中止※ 《小高区芸術文化協会》 ・芸術芸能祭 ※開催中止※
地域文化振興助成事業補助金	市民の文化活動の振興及び育成を図るため、成果発表等を行う団体等に対し、補助金を交付する。	◇文化団体の成果発表事業等へ補助 地区文化祭 1 件 成果発表 3 件 計 4 件

学校等市民文化会館 利用支援事業補助金	市内学校の芸術文化活動を支援するため、学校行事等で市民文化会館を利用する際の利用料金の一部を補助する。	◇市民文化会館施設利用料金及び附属設備 利用料金の一部を補助 学校行事 1件 部活動 1件 園行事 2件 計 4件
ふるさと民俗芸能伝承事業	伝統芸能の保存伝承と後継者育成を図るため、伝承活動を支援する。	◇ふるさと民俗芸能伝承事業 小中学校における「相馬流れ山踊り」ほか 伝承事業に対する講師派遣 ・小高中学校 「相馬流れ山踊り」 参加生徒 延べ 108人
文化芸術ふれあい事業	市民が芸術文化にふれる機会の充実と芸術文化による新たなまちづくりの契機とするため、本市を活動の拠点とする民間団体等と協力しながら、創造的な芸術文化活動を実施し、市内の芸術文化の振興を図る。	◇南相馬の記憶をアートする in 浦尻貝塚 ～遺跡のアート展覧会「浦尻 時の間めぐり～」 期 日 令和3年3月27日(土) 会 場 国指定史跡「浦尻貝塚」 内 容 URAJIRI Online ぶらぶらアートの遺跡の現場説明会 (野外展示のオンラインライブ配信) 講 師 安芸早穂子氏 ほか (アートと考古学実行委員会) 申込者 82人 ※オンライン Web 会議ツール ZOOM
第14回南相馬市 総合美術展覧会	美術・芸術への理解と関心を高めるとともに、創作活動を促し、美術・芸術の振興と情操の育成を図るため、小学生から大人までの作品を集め、展覧会を開催する。	◇展覧会 会 期 令和2年11月13日(金) ～15日(日) 会 場 小川町体育館 出品展数 一般の部 221点 小中学校の部 126点 入場者数 856人 ◇表彰式 ※開催中止※ 表彰者 45人 【一般の部】 市美展賞 5人 優秀賞 8人 奨励賞 19人 特別賞 1人 【小中学校の部】 市長賞 5人 教育長賞 7人 ◇こども茶道教室参加児童生徒による茶会 ※開催中止※ ◇ワークショップ ※開催中止※

※開催中止※ ※発行中止※

新型コロナウイルス感染症拡大防止ため、事業を中止したもの

(3) 文化施設一覧

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
南相馬市民文化会館	原町区本町二丁目 28-1 TEL 25-2763	R C 造 (地上4階、地下1階) 7,536.71 m ²	大ホール 客席 1階席 721席 2階席 388席 多目的ホール 椅子席 120人 (スクール形式 80人) 練習室 5室 楽屋 6室 スタジオ 1室 ギャラリー 1スペース 事務室 2室
鹿島生涯学習センター	鹿島区寺内字迎田 22-1 TEL 46-5116	R C 造一部 4 F 建物 2,008.49 m ²	ホール 504席 研修室 [控室] (15 m ²) 研修室 [リハーサル室] (50 m ²) 和室 (8帖) 鹿島図書館 (120 m ²) I T 室 (48 m ²) 相談室 (23.12 m ²) 事務室 (51.87 m ²)
小高生涯学習センター 「浮舟文化会館」	小高区本町二丁目 89-1 TEL 44-3049	R C 造 2 F 建物 2,463.77 m ² (1F 1,954.33 m ²) (2F 509.44 m ²)	ホール 298席 第1研修室 (91.59 m ²) 第2研修室 (91.59 m ²) 第3研修室 (15.91 m ²) 第1和室 [楽屋] (10帖) 第2和室 [茶室] (20帖) 多目的室 (89.04 m ²) 創作室 (64.229 m ²) 小高図書館 (161 m ²) 埴谷・島尾記念文学資料館 (98.54 m ²) 資料収蔵庫 (119.584 m ²) 事務室 (89.04 m ²)

(4) 芸術文化団体 (南相馬市芸術文化協会)

(令和3年5月1日現在)

構成 団体名 領域	小高区芸術文化協会		鹿島区文化協会		原町区芸術文化協会		計	
	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
文 芸	1	18	2	45	3	58	6	121
生活文化			3	23	3	229	6	252
美 術	1	8	1	9	2	22	4	39
音 楽	3	6	9	93	7	101	19	200
舞 踊	6	73	5	33	8	57	19	163
趣 味			2	17			2	17
演 劇								
研 究	1	2	1	36	1	15	3	53
ダンス			5	131			5	131
体 操			1	12			1	12
そ の 他								
計	12	107	29	399	24	482	65	988

Ⅶ 歴史文化

1 文化財保護関係

(1) 南相馬市の文化財

国指定文化財

(令和3年5月1日現在)

No.	名 称	種 別	指定年月日	所 在 地	所 有 者 等
1	刺繍阿弥陀名号掛幅	重要文化財 (工芸品)	S35. 6. 9	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
2	旧武山家住宅	重要文化財 (建造物)	S46. 3. 11	原町区 北原	南相馬市
3	桜井古墳	史 跡	S31. 11. 7	原町区 上渋佐	南相馬市
4	羽山横穴	史 跡	S49. 12. 23	原町区 中太田	南相馬市
5	薬師堂石仏 附阿弥陀堂石仏	史 跡	S5. 7. 8	小高区 泉沢	慈徳寺ほか
6	観音堂石仏	史 跡	S5. 7. 8	小高区 泉沢	慈徳寺
7	真野古墳群	史 跡	S54. 10. 24	鹿島区 寺内、小池	個人ほか
8	浦尻貝塚	史 跡	H18. 1. 26	小高区 浦尻	南相馬市
9	泉官衙遺跡	史 跡	H22. 2. 22	原町区 泉	南相馬市ほか
10	横大道製鉄遺跡	史 跡	H23. 2. 7	小高区 飯崎	南相馬市ほか
11	相馬野馬追	重要無形 民俗文化財	S53. 5. 22	南相馬市ほか	管理団体 相馬野馬追保存会

国登録有形文化財

No.	名 称	種 別	登録年月日	所 在 地	所 有 者 等
1	朝日座	建造物	H26. 4. 25	原町区 大町	一般社団法人 朝日座
2	大谷家住宅東蔵・中蔵・門	建造物	H28. 8. 1	鹿島区 栃窪	個人
3	高島家住宅コンクリート蔵、門及び塀	建造物	H29. 10. 27	小高区 上町一丁目	個人
4	天野家住宅主屋、米蔵、西蔵、外便所、正門、通用門・裏門および塀	建造物	H30. 11. 2	小高区 耳谷	個人
5	太田家住宅主屋、米蔵、味噌蔵、道具蔵	建造物	H30. 11. 2	原町区 信田沢	個人
6	鈴木家住宅主屋	建造物	H30. 11. 2	小高区 仲町一丁目	個人

国選択民俗文化財（記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財）

No.	名 称	種 別	選択年月日	所 在 地	所 有 者 等
1	鹿島日吉神社のお浜下り	風俗慣習	S54. 12. 7	鹿島区 江垂	日吉神社のお浜下り保存会
2	浜通りのお浜下り	風俗慣習	R2. 3. 16	福島県浜通り	特定せず

県指定文化財

No.	名 称	種 別	指定年月日	所 在 地	所 有 者 等
1	木造十一面観音立像	重要文化財 (彫 刻)	S37. 3. 30	原町区 泉	泉行政区
2	地藏菩薩立像板木	重要文化財 (工 芸)	S31. 9. 4	鹿島区 小島田	個人
3	刺繍阿弥陀三尊来迎掛幅	重要文化財 (工 芸)	S54. 3. 23	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
4	法然上人像板木	重要文化財 (工 芸)	S55. 3. 28	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺

5	大名婚礼調度品	重要文化財 (工 芸)	S62. 3. 27	小高区 小高	同慶寺
6	大悲山文書	重要文化財 (書 跡)	S30. 2. 4	小高区 小高	個人
7	泉廃寺跡出土瓦	重要文化財 (考古資料)	S31. 9. 4	原町区 博物館	南相馬市
8	杉阿弥陀堂 木造阿弥陀如来坐像	重要文化財 (彫 刻)	H30. 4. 6	鹿島区 江垂	江垂行政区
9	杉阿弥陀堂 木造毘沙門天立像	重要文化財 (彫 刻)	H30. 4. 6	鹿島区 江垂	江垂行政区
10	泉廃寺跡	史 跡	S30. 12. 27	原町区 泉	個人
11	小高城跡	史 跡	S33. 8. 1	小高区 小高	相馬小高神社ほか
12	横手廃寺跡	史 跡	S33. 8. 1	鹿島区 横手	個人
13	横手古墳群	史 跡	S53. 4. 7	鹿島区 横手	個人
14	大悲山の大スギ	天然記念物	S30. 2. 4	小高区 泉沢	慈徳寺
15	泉の一葉マツ	天然記念物	S30. 12. 27	原町区 泉	泉行政区
16	海老浜のマルバシヤリンバイ自生地	天然記念物	S31. 9. 4	鹿島区 南海老	南相馬市
17	初発神社のスダシイ樹林	天然記念物	S44. 4. 11	原町区 江井	初発神社
18	相馬野馬追額	重要有形 民俗文化財	S34. 3. 17	小高区 小高	相馬小高神社
19	蛭沢稲荷神社奉納絵馬地引大漁図 及び和船模型	重要有形 民俗文化財	H8. 3. 22	小高区 下蛭沢	蛭沢稲荷神社
20	旧修験日光院所蔵修験資料	重要有形 民俗文化財	H9. 3. 25	鹿島区 小山田	日光寺
21	紙本著色野馬追図	重要有形 民俗文化財	H12. 3. 31	原町区 博物館	個人
22	相馬野馬追図屏風	重要有形 民俗文化財	H28. 4. 26	原町区 博物館	南相馬市
23	日吉神社のお浜下りと手踊	重要無形 民俗文化財	S53. 4. 7	鹿島区 江垂	日吉神社
24	村上の田植踊	重要無形 民俗文化財	H27. 3. 31	小高区 村上	村上の田植踊保存会

市指定文化財

No.	名 称	種 別	指定年月日	所 在 地	所 有 者 等
1	裏剣蓋付舟形刳抜石棺	有形文化財	S41. 3. 31	小高区 泉沢	南相馬市
2	平福徳庵筆馬額	有形文化財	S42. 8. 29	原町区 博物館	相馬太田神社
3	藤田家所蔵文書	有形文化財	S42. 8. 29	原町区 博物館	個人
4	藪内の十一面観音	有形文化財	S43. 2. 1	小高区 上浦	共有
5	龍と唐獅子	有形文化財	S45. 11. 12	原町区 本町	三嶋神社
6	野馬追図屏風	有形文化財	S45. 11. 12	原町区 本町	個人
7	阿弥陀寺の善光寺式仏像	有形文化財	S48. 12. 20	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
8	浮田の木造聖観音立像	有形文化財	S54. 5. 15	鹿島区 浮田	浮田行政区
9	深鉢「縄文前期関山式併行」	有形文化財	S57. 9. 20	県立博物館	南相馬市
10	上柘窪遺跡出土の縄文土器	有形文化財	S61. 9. 1	原町区 博物館	南相馬市
11	阿弥陀寺の銅鐘	有形文化財	S61. 9. 1	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
12	高台寺式唐草模様懸盤漆塗膳枕	有形文化財	S61. 9. 1	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
13	安養寺の十三仏	有形文化財	S62. 12. 15	鹿島区 小池	安養寺
14	一文字頭本縫丸胴具足	有形文化財	S62. 12. 15	原町区 博物館	個人
15	陣幕	有形文化財	S63. 12. 15	鹿島区 塩崎	塩崎行政区
16	北郷の四脚門一括	有形文化財	S63. 12. 15	鹿島区 北海老ほか	個人
17	中村迫の文殊菩薩座像	有形文化財	H2. 2. 14	小高区 上浦	金性寺
18	中村迫の虚空蔵菩薩座像	有形文化財	H2. 2. 14	小高区 上浦	金性寺
19	下岩崎の聖観音菩薩立像	有形文化財	H2. 2. 14	小高区 福岡	金性寺
20	曳覆曼荼羅版木	有形文化財	H6. 6. 9	鹿島区 北海老	宝蔵寺
21	牛王宝印版木	有形文化財	H6. 6. 9	鹿島区 北海老	宝蔵寺

22	弘法大師御影版本	有形文化財	H6. 6. 9	鹿島区	北海老	宝蔵寺
23	四日市文書	有形文化財	H7. 7. 13	鹿島区	南柚木	個人
24	中村城小書院板壁画	有形文化財	H7. 7. 13	原町区	博物館	個人
25	木造聖観音菩薩立像	有形文化財	H10. 8. 11	鹿島区	江垂	江垂行政区
26	木造薬師如来坐像	有形文化財	H10. 8. 11	鹿島区	大内	大内行政区
27	八幡大菩薩旗	有形文化財	H11. 2. 17	小高区	小高	個人
28	能装束	有形文化財	H11. 2. 17	小高区	小高	個人
29	伝相馬昌胤着用白羅紗地陣羽織	有形文化財	H11. 2. 17	小高区	小高	個人
30	麻地錆浅葱色大紋	有形文化財	H11. 2. 17	小高区	小高	個人
31	女房火事装束	有形文化財	H11. 2. 17	小高区	小高	個人
32	野馬狩の告文	有形文化財	H11. 2. 17	小高区	小高	個人
33	相馬家系図	有形文化財	H11. 2. 17	小高区	小高	個人
34	小高城跡採集金鯢片	有形文化財	H11. 2. 17	小高区	小高	個人
35	火矢野原六字名号石碑	有形文化財	H11. 6. 25	鹿島区	小池	個人
36	大六天遺跡出土ヘラ書「少穀殿」土器	有形文化財	H11. 6. 25	原町区	博物館	南相馬市
37	銅製鰐口（正長元年鑄造）	有形文化財	H12. 2. 1	原町区	江井	個人
38	銅製鰐口（元禄九年鑄造）	有形文化財	H12. 2. 1	原町区	江井	個人
39	上洪佐7号墳出土銅鏡	有形文化財	H13. 9. 1	原町区	博物館	南相馬市
40	生駒家文書	有形文化財	H14. 3. 31	小高区	泉沢	個人
41	高平の板石塔婆	有形文化財	H14. 11. 5	原町区	上高平	白山神社ほか
42	荷渡大権現の板石塔婆	有形文化財	H14. 11. 5	原町区	北長野	泉龍寺
43	相馬太田神社の板石塔婆	有形文化財	H14. 11. 5	原町区	中太田	相馬太田神社
44	社号額「大明神」	有形文化財	H14. 11. 5	原町区	博物館	塩釜神社
45	火縄銃 銘中村住神尾久右衛門橋公宗	有形文化財	H17. 3. 31	原町区	押釜	個人
46	黒漆塗鳩胸五枚胴具足 附采配、具足櫃、櫃覆	有形文化財	H17. 3. 31	原町区	博物館	南相馬市
47	文禄四年「俵口橋左衛門宛相馬義胤書状」	有形文化財	H17. 10. 13	鹿島区	北右田	個人
48	牛河内の木造聖観音立像	有形文化財	S54. 5. 15	鹿島区	牛河内	牛河内行政区
49	陣太鼓	有形民俗文化財	S42. 8. 29	原町区	博物館	相馬太田神社
50	鳥毛槍	有形民俗文化財	S42. 8. 29	原町区	博物館	相馬太田神社
51	聖石	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	大甕	日祭神社
52	金箔押盛上本小札紺糸威二枚胴具足	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	博物館	個人
53	紺糸威二枚胴具足の兜と大袖	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	栄町	個人
54	盛上本小札紺糸裾濃威胴丸	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	博物館	個人
55	盛上本小札縹糸威二枚胴丸	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	博物館	個人
56	切付盛上札色々威二枚胴具足	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	博物館	個人
57	色々威胴丸	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	博物館	個人
58	紺糸威丸胴および兜と袖	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	博物館	個人
59	金箔押盛上本小札緋鹿角紺糸紋	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	博物館	個人
60	測量具と量地三略版本	有形民俗文化財	H5. 9. 14	原町区	博物館	南右田神社
61	旧門馬家所蔵火伏せ資料、外火伏せ資料	有形民俗文化財	H10. 8. 11	原町区	博物館	南相馬市
62	小浜千石稻荷神社 地引網漁図絵馬	有形民俗文化財	H21. 4. 10	原町区	小浜	千石稻荷神社
63	北右田の屋敷林	有形民俗文化財	R3. 4. 23	鹿島区	北右田	南相馬市
64	相馬家墓地並びに相馬家霊堂	史 跡	S41. 3. 31	小高区	小高	同慶寺
65	浪岩横穴古墳A群 11 号	史 跡	S41. 3. 31	小高区	泉沢	南相馬市
66	村上城跡	史 跡	S41. 3. 31	小高区	村上	個人ほか
67	菖蒲沢の野馬土手・高木戸の野馬土手	史 跡	S45. 3. 1	小高区	羽倉	個人
68	小谷津の貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	泉沢	個人
69	片草の貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	片草	個人
70	角部内南台の東貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	角部内	個人

71	角部内南台の南貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	角部内	個人
72	浦尻の神ノ前貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	浦尻	個人
73	浦尻の北向貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	浦尻	個人
74	浦尻の北原貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	浦尻	個人
75	上浦の加賀後貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	上浦	個人
76	上浦の宮田北貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	上浦	個人
77	上浦の宮田東貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	上浦	個人
78	羽山岳の木戸跡	史 跡	S47. 7. 1	原町区	上太田	個人
79	泉の館跡	史 跡	S48. 6. 1	原町区	泉	南相馬市ほか
80	岩屋堂の磨崖仏	史 跡	S48. 12. 20	鹿島区	塩崎	個人
81	北原古墳群	史 跡	S48. 12. 20	鹿島区	南海老	個人
82	日向横穴群 1 号墓	史 跡	S57. 9. 20	小高区	塚原	個人
83	岩屋堂石仏並びに横穴墓群	史 跡	H6. 1. 26	小高区	吉名	個人
84	桜井古墳群上渋佐 7 号墳	史 跡	H12. 2. 1	原町区	上渋佐	南相馬市
85	野馬土手	史 跡	H14. 11. 5	原町区	上渋佐	南相馬市ほか
86	行津の大杉	天然記念物	S43. 2. 1	小高区	行津	星神社
87	阿弥陀寺の大いちょう	天然記念物	S48. 12. 20	鹿島区	南屋形	阿弥陀寺
88	日吉神社の大杉	天然記念物	S48. 12. 20	鹿島区	江垂	日吉神社
89	鹿島御子神社の大けやき	天然記念物	S48. 12. 20	鹿島区	鹿島	鹿島御子神社
90	宝蔵寺の楓と大モミ	天然記念物	S48. 12. 20	鹿島区	北海老	宝蔵寺
91	山田沼のモリガオガエル生息地	天然記念物	S48. 12. 20	鹿島区	上栢窪	個人
92	同慶寺のいちょう	天然記念物	S50. 10. 1	小高区	小高	同慶寺
93	飯崎のしだれ桜	天然記念物	S57. 9. 20	小高区	飯崎	南相馬市
94	冠嶺神社の樹林一括	天然記念物	H2. 10. 12	鹿島区	上栢窪	冠嶺神社
95	八坂神社のアカガシ樹林	天然記念物	H5. 4. 1	原町区	石神	八坂神社
96	上浦のキャラ	天然記念物	H6. 1. 26	小高区	上浦	個人
97	下大神宮のヒイラギ	天然記念物	H7. 7. 13	鹿島区	南柚木	下大神宮
98	恐竜の足跡化石産出地	天然記念物	H9. 4. 17	鹿島区	小山田	個人
99	(新種) 裸子植物ソテツ目の絶滅種化石ニルソニオ・クレイダス・タイラエ／ニルソニオ・クレイダイス・ジャポニカス	天然記念物	H9. 4. 17	原町区	博物館	南相馬市
100	大富のヒイラギ	天然記念物	H9. 7. 1	小高区	大富	個人
101	小林家のアカガシ	天然記念物	H13. 6. 4	鹿島区	小池	個人
102	金谷の獅子舞	無形民俗文化財	S50. 10. 1	小高区	金谷	金谷地区
103	小池の獅子踊り	無形民俗文化財	S62. 12. 15	鹿島区	小池	小池地区
104	中村藩日置流印西派弓組	無形民俗文化財	S63. 12. 15	鹿島区	塩崎	中村藩日置流印西派弓組保存会
105	北萱浜の天狗舞	無形民俗文化財	H7. 5. 1	原町区	北萱浜	北萱浜神楽愛好会
106	馬場の神楽七芸	無形民俗文化財	H7. 5. 1	原町区	馬場	馬場民俗芸能保存会

(2) 令和3年度事業計画

(令和3年4月1日現在)

事業名	事業目的	事業内容
文化財保護審議会	文化財を指定し、保護・保存を図る。	・市指定文化財候補を調査し、価値を有する場合は、文化財指定を行う。 ・文化財保護審議会の開催 3回
文化財保護事業	市内に残る文化財等の調査を進め、指定等の文化財の保護を図る。	・建造物調査
文化財活用事業	市内文化財の公開、活用を行い、地域に学び育つ人づくりに資する。	・文化財案内、出前講座等の実施 ・羽山横穴、旧武山家住宅の一般公開 年4回(4・5・9・10月)
指定文化財保存管理事業	指定文化財を市民共有の財産として保存に努め、文化財保護・保存意識の高揚を図る。	・桜井古墳公園等の保存管理 ・泉の一葉マツの保存管理 ・薬師堂石仏・観音堂石仏既存看板設置場所の変更
民俗芸能保存伝承事業	市内に残る民俗芸能の保存、伝承、公開に努め、郷土愛の育成を図る。	・第16回南相馬市民俗芸能発表会の開催 ・浜通りのお浜下り調査
市内遺跡発掘調査事業	市内に存する遺跡の確認調査を進め、開発との調整に必要な保存協議資料を得るための発掘調査を実施する。	・試掘調査 三島町遺跡ほか9件 調査原因 個人住宅建設、土砂採取等 ・整理調査 梨木西館跡5次ほか ・保存目的発掘調査 羽山の木戸跡、真野古墳群2件 ・調査報告書刊行 1冊
浦尻貝塚史跡公園整備事業	東日本を代表する縄文時代の浦尻貝塚を史跡公園として保存整備する。	・ガイダンス施設等実施設計 ・浦尻貝塚史跡公園づくり市民検討会の開催 ・整備検討委員会の開催 年2回 ・貝層展示施設工事 建築面積 52 m ² ・貝層剥ぎ取り業務 約 12 m ² ・境界測量 1.98ha ・指定地外用地取得 908 m ² ・発掘調査 30 m ²
泉官衙遺跡史跡公園整備事業	行方郡家跡と確認された泉官衙遺跡において、指定地の公有化を図るとともに、史跡公園として保存整備する。	・泉官衙遺跡を楽しむ会の開催 ・整備基本設計 ・保存整備指導委員会の開催 年2回 ・新設市道実施設計 285m
大悲山石仏保存修理事業	国指定史跡である大悲山石仏の恒久的保存のため、保存環境の改善を行う。	・保存整備指導委員会の開催 年1回 ・薬師堂石仏、阿弥陀堂石仏環境調査 ・観音堂石仏崖対策工事
県立特別支援学校建設関連発掘調査事業	県立特別支援学校建設に伴い、発掘調査の整理調査を行う。	・整理調査 (鷺内遺跡 調査面積約 6,500 m ²) ・出土遺物の保存処理
相馬野馬追保存会	相馬野馬追の保存伝承を図る。	・甲冑着付・馬具着装・陣貝術講習会の実施 ・相馬流れ山踊の伝承公開 担当 浪江町 ・相馬野馬追保存会総会の開催 2回 ・相馬野馬追保存専門委員会の開催 2回

(3) 令和2年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
文化財保護審議会	文化財を指定し、保護・保存を図る。	・文化財保護審議会 2回 ・「北右田の屋敷林」の市指定文化財指定答申
文化財保護事業	市内に残る文化財等の調査を進め、指定等の文化財の保護を図る。	・建造物調査 旧富田家住宅 旧志賀邸・中里邸 ・泉の大般若経の調査
文化財活用事業	市内文化財の公開、活用を行い、地域に学び育つ人づくりに資する。	・泉官衙遺跡発掘調査説明会 11月7日 203人参加
指定文化財保存管理事業	指定文化財を市民共有の財産として保存に努め、文化財保護・保存意識の高揚を図る。	・桜井古墳公園等の保存管理 ・泉の一葉マツ保存管理
民俗芸能保存伝承事業	市内に残る民俗芸能の保存、伝承、公開に努め、郷土愛の育成を図る。	・第15回南相馬市民俗芸能発表会 無観客開催 4団体発表 ・福島県民俗文化財伝承復興事業（文化庁補助）による用具等の新調等（小池の獅子踊り、江井の神楽）
市内遺跡発掘調査事業	市内に存する遺跡の確認調査を進め、開発との調整に必要な保存協議資料を得るための発掘調査を実施する。	・試掘調査 池ノ沢遺跡他 20件 調査原因 個人住宅、土砂採取等 ・整理調査 梨木西館跡 5次ほか ・保存目的調査 真野古墳群ほか 1件 ・調査報告書 1冊刊行 300部 (R2年度調査分)
復興事業推進関連発掘調査事業	復興計画に伴う開発関連の埋蔵文化財発掘調査の整理調査を実施する。	・整理調査（過年度実施分 東町遺跡ほか） ・報告書刊行 1冊 各 300部 (東町遺跡)
浦尻貝塚史跡公園整備事業	東日本を代表する縄文時代の浦尻貝塚を史跡公園として保存整備する。	・浦尻貝塚史跡公園整備事業基本設計（繰越） ・浦尻貝塚史跡公園づくり市民検討会 年1回 ・浦尻貝塚整備検討委員会 年1回 ・整理調査（15～17次調査） ・浦尻貝塚通信印刷 10,000枚
泉官衙遺跡史跡公園整備事業	行方郡家跡と確認された泉官衙遺跡を史跡公園として保存整備するため、指定地の公有化を図るとともに、史跡公園として保存整備する。	・泉官衙遺跡保存整備指導委員会 年2回 ・泉官衙遺跡を楽しむ会 年1回 ・泉官衙遺跡発掘調査現地説明会 年1回 ・発掘体験 年1回 ・指定地公有化 取得面積 1,785㎡ ・発掘調査 967㎡
大悲山石仏保存修理事業	国指定史跡である大悲山石仏の恒久的保存のため、保存環境の改善を行う。	・薬師堂石仏覆屋の屋根修繕工事 ・環境調査
県立特別支援学校建設関連発掘調査事業	県立特別支援学校建設に伴い、発掘調査の整理調査を実施する。	・整理調査 (鷲内遺跡、調査面積約 6,500㎡) ・出土遺物の保存処理
民間土砂採取事業関連発掘調査事業	民間土砂採取事業に伴い、発掘調査ならびに整理調査を実施する。	・発掘調査、整理調査 (東迫遺跡 調査面積 2000㎡) ・報告書刊行 300部

相馬野馬追保存会	相馬野馬追の保存伝承を図る。	・甲冑着付・馬具着装・陣貝術講習会の実施 ・相馬野馬追保存会総会の開催 2回 ・相馬野馬追保存専門委員会の開催 1回
----------	----------------	--

2 博物館関係

・南相馬市博物館

(1) 施設概要

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
南相馬市博物館	原町区牛来字出口 194 Tel 23-6421	R C 造	事務室 (84 m ²)、体験学習室 (108 m ²) 補修工作室 (84 m ²)、写真室 (42 m ²) 燻蒸室 (12 m ²)、シアター (78 m ²) エントランスホール (82 m ²) 常設展示室 (593 m ²)、特別展示室 (176 m ²) 展示ホール (82 m ²)、収蔵庫 (225 m ²) 特別収蔵庫 (70 m ²)

(2) 令和3年度事業計画

① 展示事業

・企画展

(令和3年4月1日現在)

展示会名	期間	趣旨・目的等
受け継がれる伝統のチカラ 相馬野馬追	7月3日 ～ 8月22日	東日本大震災から10年目を迎えた今年、震災以降の野馬追の復興のあゆみを中心に、天保の飢饉や明治維新、太平洋戦争、東日本大震災、コロナ禍といった困難な時代にあつて、それぞれ工夫を凝らしながら、野馬追を継承してきた歴史をふり振り返りながら、野馬追とはいかなる行事であるのか、あらためてその根本的価値を再確認するものとする。
相馬地方の近代のはじまり (仮)	11月3日 ～ (令和4年) 1月23日	近世から近代へと大きく時代が動いた戊辰戦争から廃藩置県までに焦点を当て、いかにして相馬地方の人びとが新しい時代を迎えたのか明らかにする。また、南相馬市合併前より編纂を続けていた『小高町史』『鹿島町史』『原町市史』が平成31年3月に編纂を終えた。これら市町史の調査により、新たな資料が数多く発見され、各市町史に掲載されている。その成果を本企画展においても紹介する。
猫の浮世絵展 (仮)	(令和4年) 2月11日 ～ 3月31日	近年、江戸時代から明治時代に流行した猫をテーマとし、猫をあしらった浮世絵展が全国的な人気を博している。今般、浮世絵の所有者から被災地支援として猫の浮世絵の無償貸与の申し出があったことから、猫に関連する浮世絵と、浮世絵から見た猫の文化史について紹介する。

・ミニテーマコーナー展示

常設展示室の一部に小展示スペースを設け、学芸調査で一定のまとまった資料の展示を行う。

テーマ	展示期間	展示の概要
小正月行事 カセドリ・火伏と天燈籠・墨塗り・綿団子	(令和3年)1月9日～4月2日	1月1日を中心とする大正月に対する、1月15日を中心とする小正月を紹介。
塔と壁画があった仮設住宅	4月3日～5月5日	建築家とアーティストの共同作業による、異色の仮設住宅・鹿島区牛河内第二仮設住宅について紹介。

・エントランスホール展示

季節の話題（野馬追・正月等）・ニュース性があるテーマ、また常設展・企画展の導入としてエントランスホールを活用し、展示や情報提供を行う。

テーマ	展示期間	展 示 の 概 要
歴史をつなぐために 若い世代の新しい取り組み	(令和3年) 2月20日～5月5日	郷土料理・ベンケイを活用した、高校生による取り組みの紹介
カヤネズミの生態展示	3月2日～	本市産のカヤネズミの生態展示
企画展「南相馬の震災10年」イントロダクション	3月6日～5月5日	震災の記憶を記録したアート作品 (岡部昌生氏・片桐功敦氏)
メダカの生態展示	4月1日～	本市産のメダカの生態展示
「震災絵日記」	秋季予定	故朝倉悠三氏作品の紹介

② 調査研究事業

テーマ	事業内容
【共同テーマ】 1) 東日本大震災にかかる資料・情報収集	将来の東日本大震災の展示等（常設展示等）を念頭に、震災に係る資料・情報を収集する。
【分野別テーマ】 1) 東日本大震災と野馬追	原発事故により、一時中断していた旧警戒区域の野馬追行事を中心に、記録の収集に努める。震災10年目をふりかえる野馬追関係者インタビューも予定。令和3年度の企画展「受け継がれる伝統のチカラ 相馬野馬追（仮）」で紹介する。
2) 野馬追絵画の調査	平成29年度当館で購入した『野馬追備列絵巻』を中心に、近年発見された野馬追図屏風等について、詳しい内容の調査を行う。成果は、将来、報告書等の出版物にて発表予定。
3) 東日本大震災後の生物（小高の自然）調査	東日本大震災後の津波被災地、原発20キロ圏内の動植物について、環境省、国内の研究者、大学と連携し、情報交換を行いながら生物相（変化）の継続した調査を行う。 津波被災地では、被災後に県内において初確認された数種の動植物についての今後の動向や保全策について、地元や関係機関との調整を行っていく。また、原発事故後の生物の状況については、関係機関にサンプル提供を継続し、データの蓄積を行う。これらの結果や今後の課題については、当館の企画展示のみならず、学会や研究者のシンポジウム等にて発表し、各地の研究者と情報を共有すると共に、議論しながら今後の復興工事や保全計画等に活かせるものとする。
4) 津波跡地の植物相調査と標本の収集	津波の跡地に生じた湿地や水路には新たな生態系が広がっている。中には絶滅危惧種であるツツイトモ（震災前には福島県で未報告）、リュウノヒゲモ（福島県絶滅危惧ⅠA類）などが確認されている。これらの生物の存在の証拠となる植物標本を収集・作製を継続して進める。
5) 南相馬市内の木の木の放射能濃度調査	学校や家庭において教育目的で扱われることの多い植物種（ドングリなど）の放射能濃度および空間線量を市内各地で調査する。データの蓄積が進めば放射能濃度検査を行わなくとも、空間線量の計測だけで木の实などを利用する際の目安として利用することができ、子どもが外遊びなどをする際の助けとなることが期待される。 この調査は「市民科学」の方法を念頭に、市民と学芸員が協働して進める。それによって、身近な生物や科学的な調査への市民の関心を喚起することも狙いである。
6) 文化財レスキュー活動	震災以降、小高区を中心に被災家屋の主屋・蔵・納屋等の解体が続いている。それに伴い、多くの文献資料や民俗資料（民具）が大量に廃棄されているため、被災文化財のレスキュー活動と資料整理を行う。

7) 「浜下り」の映像記録制作（祭礼の年に随時継続）	「浜通りのお浜下り」は令和2年（2020）3月16日に国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選定された。当館ではこれまで市内各地に伝わる「浜下り」の映像記録制作を行い、博物館および関係地区で上映会を開催してきた〔日吉神社の浜下り・男山八幡神社のお浜下り・鶏足神社の浜下り・南相馬の子供の祭り（小沢と下江井の天神様のお浜下り）〕。 令和3年度は、鹿島区烏崎の「津神社の浜下り」を映像に記録する（鹿島区海老の「虚空蔵尊の浜下り」は新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期）。
8) 相双地方の焼き物調査	近世に開窯した大堀相馬焼は、中村藩の外貨獲得に貢献したほか、東北地方から関東地方まで広く流通し、特に東北地方の各窯に影響を与えたと言われている。同窯の製品や作品の調査を行い、その優れた作品、技術等を紹介する展示につなげるための調査を行う。
9) 歴史資料の整理と調査	多くの資料が博物館に寄贈・寄託されているが、未整理のままとなっているものが多い。当地方の代表的な古文書群である石神の富田家資料などの整理と調査を行い、これまで公開されていない資料の公開につなげる。また、敷居が高いと思われる古文書の魅力をさまざまな世代に向けて分かりやすく発信する。
10) 戦争体験者からの聞き取り調査	終戦から70年以上が経過し、戦争の体験者は急速に少なくなりつつあり、戦争の記憶は薄れつつある。体験者の記憶を記録するための聞き取り調査を行う。その成果は、報告物や展示等で発表する。
11) 相双地域の郷土食調査	相双地域に伝わる郷土食は、当地の歴史的・環境的背景の中で育まれてきた文化である。しかし、食生活の多様化や住民の高齢化、東日本大震災・原発事故に伴う地域の崩壊や解体等の影響により、それらの食文化の継承が危惧される状況にある。 郷土食を継続的に調査・記録し、展示等により地域の人々に関心を持ってもらい、継承へつなげる。

③ 教育普及事業

・博物館講座

開催日	内 容	担当・講師	定員(人)
5月15日	古文書をよむ「鎌倉時代の相馬氏①～源頼朝と相馬師常～」	岡田清一氏	30
7月10日	古文書をよむ「鎌倉時代の相馬氏②～義胤・胤綱と執権政治～」	岡田清一氏	30
7月18日	野馬追の旗について	二上裕嗣氏	30
9月18日	古文書をよむ「鎌倉時代の相馬氏③～相馬胤村の所領配分～」	岡田清一氏	30
11月20日	古文書をよむ「鎌倉時代の相馬氏④～所領を巡る一族の争い～」	岡田清一氏	30
(令和4年) 1月15日	古文書をよむ「鎌倉時代の相馬氏⑤～相馬氏の奥州移住と得宗専制～」	岡田清一氏	30
2月11日	江戸時代にもあった猫ブーム	則武和広氏	30
3月5日	古文書をよむ「鎌倉時代の相馬氏⑥～幕府滅亡前後の相馬氏～」	岡田清一氏	30

・体験学習

開催日	内 容	担当・講師	定員(人)
4月29日	東ヶ丘公園で春の植物を観察しよう	当館学芸員	15
5月3日	香りの宝石せっけんを作ろう	小林香代子氏	15
5月23日	化石をさがそう	平宗雄氏・八巻安夫氏	20
5月23日	蓄音機コンサート	佐藤晴美氏・当館学芸員	30
8月1日	トンボDAY 第一部「トンボの観察会」	三田村敏正氏	15
	トンボDAY 第二部「水彩、コラージュを楽しもう」「空気に絵を描こう」	小原風子氏	15
8月8日	勾玉を作ろう！	当館学芸員	15
8月9日	葉っぱのノート作り	当館学芸員	15
9月12日	化石のレプリカを作ろう！	八巻安夫氏・荒好氏	15
10月10日	蓄音機コンサート	佐藤晴美氏・当館学芸員	30
10月頃	秋のキノコ観察	当館学芸員	15
11月7日	化石をさがそう	平宗雄氏・八巻安夫氏	20
11月～12月	冬の野鳥観察	当館学芸員	15
12月25日	正月飾り作り	高田求幸氏	15
(令和4年) 3月13日	勾玉を作ろう！	当館学芸員	15
3月20日	プラスチック標本でペンダントを作ろう！	当館学芸員	15

・バスツアー、講演会等

開催日	内 容	担当・講師	定員(人)
5月8日	バスツアー「ブラハラマチ～原町はなぜ野馬追の里になった？～」	当館学芸員	10
6月13日	講演会「歴史としての東日本大震災一口碑伝承をおろそかにするなかれ」	岩本由輝氏	30
8月21日	講談「怪談－江島屋騒動」	一龍齋貞山氏	30
9月26日	バスツアー「テーマ未定」	当館学芸員	10

④その他の事業

(1) 文化財資料収蔵施設整備事業

本市の歴史、民俗、自然科学等の特徴を示す資料や美術工芸品及び震災資料を適切に保存するための収蔵施設を整備する。

スケジュール 令和3年度 施設整備方針の決定

4年度 施設整備工事設計

5・6年度 施設整備工事

(2) 収蔵品等展示交流事業

台湾竹山鎮との文化交流推進のため、博物館資料の展示交流を行う。

スケジュール 令和3年度 打合せ、現地展示施設下見など事業構築作業

4年度 台湾竹山鎮で展示（予定）

⑤ 各機関との連携

1) 学校との連携	ア 小学校・中学校・高等学校との連携・協力	・小学校3年生社会科の単元「古い道具と昔の暮らし」への館蔵資料による展示と解説 ・博物館を活用した「総合的な学習の時間」への協力 ・出前講座や資料の貸出しによる学校教育活動への協力
	イ 指導者対象の講座・行事	・地域指導の資料としての情報提供（→講座・体験的行事）
2) 各生涯学習関係機関との連携	ア 生涯学習課・生涯学習センターとの連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
	イ 生涯学習各種団体との連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
3) 地域創生の核となる博物館実行委員会事業（事務局：本館）	ア 構成団体	・南相馬市博物館（会長）・こどもひかりプロジェクト（副会長）・九州国立博物館・兵庫県立人と自然の博物館・兵庫県立考古博物館・仙台市縄文の森広場・ふくしま海洋科学館
	イ 連携事業	・子ども・親子対象体験プログラムの実施 ・ミュージアムユース（高校生・大学生）の育成
4) 地域を創生するミュージアム活用実行委員会事業（事務局：本館）	ア 構成団体	・南相馬市博物館（会長）・ひとはく連携グループ run♪run♪plaza（副会長）・さゆり幼稚園・兵庫県立人と自然の博物館・京都国立博物館・NPO法人南相馬こどものつばさ
	イ 連携事業	・市内幼稚園・こども園等での体験プログラムの実施 ・当館での体験プログラムフェアの開催 ・子育て世代と企画する子育て講座の開催
5) 博物館・その他の機関との連携	・福島県博物館連絡協議会（事務局：県博）への参加 ・「ライフミュージアムネットワーク実行委員会（事務局：県博）」への参加 ・館蔵資料の貸出等	

(3) 令和2年度事業実施状況

① 利用状況

・観覧者数

(単位：人)

入館者数				開館日数
一般	高校生	小・中学生	合計	
3,350	57	885	4,292	259

・その他利用者

(単位：人)

講座・体験学習・バスツアー	17件	240
出前講座	37件(学校関係19件、一般18件)	937(557、380)
職場体験受入れ	2校	9
博物館実習受入れ	2件	2
取材・レファレンス	247件	258
発表・シンポジウム	3件	95
地域創生の核となる博物館実行委員会事業	5件	313
他団体との連携等	3件	42
合計		1,896

② 展示事業

・企画展

展示会名	期間	趣旨・目的等
「冥界へようこそ —仏画・幽霊画などから みた死生観—」 観覧者数 1,412人	10月1日 ～ 11月29日	地獄極楽図や十王像は盆や彼岸にお寺で公開・絵解きが行われ、仏教の地獄極楽思想は日本人の他界観や道德観に大きな影響を与えてきた。一方、江戸時代には講談・演劇などで幽霊話が人気となり、世間では夜中の怪談話が流行して多くの幽霊画が描かれた。 本展では、市内に伝わる仏画・幽霊画・民俗例などから伝統的な死生観や他界観を紹介した。
「南相馬の震災10年」 観覧者数 1,354人	(令和3年) 3月6日 ～ 5月5日	令和3年(2021)3月、東日本大震災からちょうど10年という節目を迎え、震災によって南相馬市で何が起こり、人々が何を考え、どのように復興の道を探ってきたのかをあたためてふりかえり、今後の震災の伝承について考える機会を設けることを目的とした。

・特別展

展示会名	期間	趣旨・目的等
「相馬野馬追収蔵資料展」 観覧者数 724人	7月1日 ～ 8月23日	令和2年度の相馬野馬追は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事内容を大幅に縮小して神事のみ開催した。これを受けて、野馬追とはいかなる行事であるのか、あらためて再確認する機会を提供するため、おもに当館収蔵資料を中心として野馬追の概要を紹介した。 特に、令和2年3月に新発見された戦中・戦後の野馬追のようすを記した報告書について、令和2度の野馬追の状況を受けて注目される資料として初公開した。

・ミニテーマコーナー

テーマ	展示期間	展 示 の 概 要
猫好き必見！ ねこの浮世絵だニャ～	2月22日 ～ 6月7日	2月22日の「猫の日」にちなんで、猫が描かれた浮世絵を展示。江戸時代の人々が猫に寄せた思いを浮世絵から読み取るものとした。
浦尻貝塚・泉官衙遺跡	7月1日 ～ 10月2日	市内の国指定史跡を紹介。発掘調査で出土した遺物を展示し、全国有数の遺跡の内容や特徴を紹介するとともに文化財保護思想の啓蒙を図った。
古文書の整理と保存	10月3日 ～ (令和3年) 1月8日	報徳仕法を指導した富田高慶家に伝わった古文書を中心に、博物館における文書の整理・保存の工程など紹介した。
小正月行事	1月9日 ～ 4月2日	火祭・農作物の予祝・水祝い・小正月の訪問者・墨塗り

・エントランスホール展示

テーマ	展示期間
常磐線と磐城無線電信局ふっこうステーションまちかど写真館	(令和2年)3月27日～4月17日
メダカの生態展示	4月1日～
春の味はどんな味？	4月8日～6月30日
蓄音機と昭和歌謡の時代	5月20日～7月23日
南相馬味めぐり 夏の食べ物編	7月1日～9月3日
野馬追の旗と武具	7月24日～8月23日
令和の省略野馬追	8月8日～9月27日
学芸員実習成果展～野馬追の武具	8月27日～9月27日
「報徳仕法」と“いもずいも”	9月4日～10月31日
企画展「冥界へようこそ」導入	9月29日～12月10日
南相馬味めぐり ベンケイ編	11月1日～(令和3年)1月23日
大甕幼稚園 クリスマス・リース展 ～東ヶ丘公園で見つけた自然素材を添えて	12月12日～12月15日
南相馬の化石	12月12日～12月16日
正月 神楽と凧(中部地方)	(令和3年)1月5日～1月23日
いろいろなモチ ぐらしの知恵 ごんだ餅	1月24日～2月19日
昔の道具	1月31日～2月27日
「記念物100年」パネル展(文化庁・記念物100年展参加事業)	2月16日～3月11日
歴史をつなぐために 若い世代の新しい取り組み	2月20日～5月5日
カヤネズミの生態展示	3月2日～
企画展「南相馬の震災10年」イントロダクション	3月6日～5月5日

③収蔵資料の状況

(令和3年3月31日現在)

区 分	収集・寄贈等	購入	寄託	合計
人文科学資料				
古美術資料	674	41	2	717
近代美術資料	23	0	2	25

考古資料	5, 2 2 3	6	2, 4 7 7	7, 7 0 6
民俗資料	6, 5 9 1	3 5	2 5 9	6, 8 8 5
歴史資料	5, 4 6 8	1 6 9	5, 2 7 3	1 0, 9 1 0
その他	5 4 8	0	0	5 4 8
図書	1 1, 1 5 8	2 1 6	0	1 1, 3 7 4
写真	1, 3 3 0	0	0	1, 3 3 0
小計	3 1, 0 1 5	4 6 7	8, 0 1 3	3 9, 4 9 5
自然科学資料				
動物資料	1, 2 4 9	4 0	4 0	1, 3 2 9
植物資料	9 3	5	0	9 8
地学資料	9	0	2	1 1
その他	6 4	0	0	6 4
図書	3 6 0	3 7	0	3 9 7
写真	1 1 6	0	0	1 1 6
小計	1, 8 9 1	8 2	4 2	2, 0 1 5
合計	3 2, 9 0 6	5 4 9	8, 0 5 5	4 1, 5 1 0

④ 教育普及事業

・博物館講座

開催日	内 容	担当・講師	参加者数
7月19日	市史をよむ「野馬追のちょっとむかし」	二上文彦	2 4
8月23日	市史をよむ「戦国時代の相馬氏と行方郡」	岡田清一氏	2 2
11月3日	木の実講座	仲川邦広	5
11月15日	市史をよむ「彼方の世界をどうみてきたか —私たちの他界観・来世観」	岩崎真幸氏	1 6
(令和3年) 2月21日	市史をよむ「相馬地方の大地の成り立ち」	竹谷陽二郎氏	2 3
2月28日	市史をよむ「南相馬市の原始と古代」	玉川一郎氏	2 1
6回	合 計		1 1 1

・体験学習

開催日	内 容	担当・講師	参加者数
8月8日	葉っぱのノート作り	仲川邦広	9
8月9日	化石をさがそう	平宗雄氏、八巻安夫氏	1 1
9月6日	勾玉を作ろう①	荒淑人	8
9月27日	東ヶ丘公園で秋の植物をさがそう	仲川邦広	1 0
10月11日	樹脂封入標本を作ろう	仲川邦広	8
11月8日	化石をさがそう②	平宗雄氏、八巻安夫氏	2 0
11月28日	いきものの消しゴムスタンプをつくろう！	ほいはんこ氏	1 8
12月27日	正月飾り作り	高田求幸氏	6
(令和3年) 3月6日	化石のレプリカをつくろう	八巻安夫氏・荒好氏	1 5
3月14日	プラスチック標本でペンダントをつくろう	仲川邦広	1 4
10回	合 計		1 1 9

・バスツアー

開催日	内 容	担当・講師	参加者数
(令和3年) 3月7日	津波被災地と震災慰霊碑を巡る	二本松文雄	10
1回	合 計		10

⑤ 各機関との連携

1) 学校との連携	ア 小中高等学校との連携・協力	・小学校3年生社会科の単元「古い道具と昔の暮らし」への館蔵資料による展示と解説 ・博物館を活用した「総合的な学習の時間」への協力 ・出前講座や資料の貸出しによる学校教育活動への協力
	イ 指導者対象の講座・行事	・地域指導の資料としての情報提供（→講座・体験的行事）
2) 各生涯学習関係機関との連携	ア 生涯学習課・生涯学習センターとの連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
	イ 生涯学習各種団体との連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
3) 地域創生の核となる博物館実行委員会事業（事務局：本館）	ア 構成団体	・南相馬市博物館（会長）・こどもひかりプロジェクト（副会長）・九州国立博物館・兵庫県立人と自然の博物館・兵庫県立考古博物館・仙台市縄文の森広場・ふくしま海洋科学館
	イ 連携事業	・子ども・親子対象体験プログラムの実施 ・ミュージアムユース（高校生・大学生）の育成 ・ミューキッズ・ミニフェアの開催
4) 博物館・その他の機関との連携	・福島県博物館連絡協議会（事務局：県博）への参加 ・「ライフミュージアムネットワーク実行委員会（事務局：県博）」への参加 ・館蔵資料の貸出等	

3 市史編さん関係

(1) 令和2年度事業実施状況

(令和3年4月1日現在)

事業名	事業目的	事業内容
震災記録	東日本大震災及び原子力災害の関係資料を収集し、発災状況から応急対応、復旧・復興の取り組みなどについて、市の記録として編さんする。	・東日本大震災及び原子力災害の関係資料の収集、原稿整理 ・3,000冊 刊行

VIII スポーツ

1 スポーツ関係

(1) 令和3年度事業計画

(令和3年4月1日現在)

事業名	事業目的	補助団体	事業内容	開催期間
社会体育 団体等補助 事業	スポーツ団体へ援助を行い、その活動や指導者の支援及び選手の競技力向上等を図る。	南相馬市 体育協会	競技力向上対策事業 内 容：各競技の技術力の向上（9競技） 参加者：南相馬市体育協会加盟団体登録者・市民全般他 1,500人 場 所：南相馬市内他	4月～2月
			第15回南相馬市総合体育大会を中心とした各種事業 内 容：市民を対象とした各種競技大会（23競技） 参加者：市民全般 約 1,900人 場 所：南相馬市内他	8月～1月
		南相馬市レクリエーション協会	第22回南相馬市スポーツレクリエーション祭を中心とした各種事業 内 容：市民を対象とした各種競技大会 参加者：市民全般 約 500人 場 所：南相馬市内他	5月～2月
			生涯スポーツ推進事業（スポーツ教室） 内 容：各種ニュースポーツ 10教室の開催 参加者：市民全般 約 500人 場 所：南相馬市内他	7月～2月
		南相馬市陸上競技協会	第33回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 内 容：市町村対抗駅伝大会 参加者：一般市民ランナー 計 24人（選手 16人・補欠 8人） 場 所：白河～福島 94.8km 16区間	11月21日
		野馬追の里健康マラソン大会実行委員会	第34回野馬追の里健康マラソン大会・第16回ウォーキング大会 種 目：1.5km、2km、3km、5km、10km、ハーフ、親子ペア、ウォーキング 参加者：小学生～一般男女 約 3,000人 場 所：雲雀ヶ原陸上競技場	12月5日
			第10回みらい夢こども交流事業 内 容：トップアスリートによるワークショップ、子ども交流会、法螺貝体験 参加者：小中学生 150人（南相馬市及び招待自治体の子どもたち） 場 所：未定	12月4日

	相馬氏の祖「平将門」終焉の地でゆかりのある茨城県坂東市との歴史的な縁として、大会に参加することでスポーツ交流人口の拡大を図る。		第 31 回坂東市将門ハーフマラソン大会 種 目：3 km、5 km、10 km、ハーフ 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、 スタッフ 約 60 人 会 場：茨城県坂東市	11 月 14 日
共 催 事 業	スポーツの振興を図るため、各種団体と共催して大会等を開催する	福 島 県	第 74 回福島県総合体育大会 競技名：馬術 場 所：南相馬市馬事公苑	5 月 22 日～ 5 月 23 日
			第 74 回福島県総合体育大会 競技名：テニス（成年） 場 所：南相馬市テニスコート	7 月 3 日～ 7 月 5 日
交流・滞在型 ス ポ ー ツ 事 業	野馬追の里浮舟杯卓球大会及びトップアスリート教室を開催し、本市の子どもたちの卓球の競技力向上と指導者の指導力向上を図る	野 馬 追 の 里 浮舟杯卓球大会 実 行 委 員 会	野馬追の里 第 47 回浮舟杯卓球大会 第 8 回トップアスリート教室 種 目：卓 球 場 所：未定	2 月 12 日～ 2 月 13 日
交流・滞在型スポーツ 支 援 事 業	滞在型スポーツ大会等を誘致し、スポーツ交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。	東 北 学 生 卓 球 連 盟	第 73 回東北学生卓球選手権大会 種 目：卓 球 場 所：未定	6 月 9 日～ 6 月 11 日
健康スポーツ推進事業	市民の誰もが気軽に楽しめるスポーツ教室を開催し市民のスポーツ人口の拡充や健康増進を図る	南相馬市スポーツ推進委員会	健康スポーツ教室 内 容：市民の誰もが気軽に参加できるスポーツ教室の開催（年 1 2 回開催） 場 所：小川町体育館 ほか	4 月～3 月

スポーツ大会等出場 激 励 金 交 付 事 業	全国大会並びに国際大会その他東北大会以上の規模で行われる各種スポーツ大会に出場する選手及び団体に対し、激励金を交付する。	個 人 ・ 団 体	全国スポーツ大会等出場選手への激励金交付 2,500,000 円	4 月～3 月
スポーツ少年団選手 派 遣 事 業	スポーツ少年団に加盟する団員の県大会以上の大会に出場するスポーツ少年団に対して、補助金を交付する。	団 体	スポーツ少年団県大会等派遣事業 14 件 1,000,000 円	4 月～3 月
南相馬市・杉並区 ス ポ ー ツ 交 流 事 業	杉並区とのスポーツ交流事業の実施により、市民がスポーツに親しむ機会の拡充やスポーツ団体等の活性化、震災後のスポーツ活動の復興に繋がっていくため、事業実施団体に対し補助金を交付する。	南 相 馬 市 少 年 野 球 連 盟	杉並区との少年野球交流大会派遣事業 派遣者：南相馬市少年野球連盟員・選手等 会 場：杉並区	8 月
		南 相 馬 市 少 年 野 球 連 盟	杉並区・取手市・南相馬市交流自治体少年野球大会 参加者：南相馬市少年野球連盟員・選手等 会 場：取手市	9 月
		南 相 馬 市 野 球 協 会	杉並区交流自治体中学生親善野球交流大会 派遣事業 派遣者：南相馬市野球協会員 市内中学生選手等 会 場：台湾	12 月
		南相馬市バレー ボ ー ル 協 会	杉並区交流自治体スポーツ交流大会派遣事業 (家庭婦人バレーボール) 派遣者：南相馬市バレーボール協会員・選手等 会 場：杉並区	11 月
		南 相 馬 市 陸 上 競 技 協 会	杉並区中学校対抗駅伝大会派遣事業 派遣者：南相馬市陸上競技協会員・市内中学生選手 会 場：杉並区	12 月
		原町ミニバスケット ボ ー ル ス ポ ー ツ 少 年 団	ミニバスケット交流大会派遣事業 派遣者：原町ミニバスケットボールスポーツ少年団員・監督・コーチ 会 場：取手市	12 月

(2) 令和2年度事業実施状況

事業名	事業目的	補助団体	事業内容	開催期間
社会体育 団体等 補助事業	スポーツ団体へ援助を行い、その活動や指導者の支援及び選手の競技力向上等を図る。	南相馬市 体育協会	競技力向上対策事業 内 容：各競技の技術力の向上（8 競技） ※新型コロナウイルス感染症の影響により 2 競技中止 参加者：南相馬市体育協会加盟団体登録者・ 市民全般他 1,462 人 場 所：南相馬市内他	4 月～2 月
			第14回南相馬市総合体育大会を中心とした各種事業 内 容：市民を対象とした各種競技大会 （18 競技） ※新型コロナウイルス感染症の影響により 4 競技中止 参加者：市民全般 1,524 人 場 所：南相馬市内他	9 月～2 月
		南相馬市レクリ エーション協会	第21回南相馬市スポーツレクリエーション祭 を中心とした各種事業 内 容：市民を対象とした各種競技大会 参加者：市民全般 6 種目 292 人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により 3 競技中止 場 所：南相馬市内他	6 月～3 月
			生涯スポーツ推進事業（スポーツ教室） 内 容：各種ニュースポーツ 7 教室の開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響により 1 教室中止 参加者：市民全般 364 人 場 所：南相馬市内他	8 月～1 月
		南相馬市陸上 競技協会	第32回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 内 容：市町村対抗駅伝大会 参加者：一般市民ランナー 計15人 （選手9人・補欠6人） 場 所：郡山～福島 50.2 km 9 区間 結果：総合17位／49市町村及び合同1チーム 市の部8位／13市	11 月 15 日
		南相馬市スポー ツ少年団本部	少年少女のつどい 内 容：スキー交流 場 所：北塩原村 ※新型コロナウイルス感染症の影響により 中止	2 月
		野馬追の里 健康マラソン 大会実行委員会	第33回野馬追の里健康マラソン大会・ 第15回ウォーキング大会 ONLINE 種 目：ハーフ、5 km（高校生以下）、 ウォーキング（100 km） 参加者：日本全国（自由）1,386 人 場 所：日本全国（自由）	12 月 6 日～ 12 月 19 日

			第9回みらい夢こども交流事業 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	12月5日
	相馬氏の祖「平将門」終焉の地でゆかりのある茨城県坂東市との歴史的な縁として、大会に参加することでスポーツ交流人口の拡大を図る。		第30回坂東市将門ハーフマラソン大会 会 場：茨城県坂東市 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	11月8日
共 催 事 業	スポーツの振興を図るため、各種団体と共催して大会等を開催する。	福 島 県	第73回福島県総合体育大会 競技名：馬術 場 所：南相馬市馬事公苑 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	5月23日～ 5月24日
交流・滞在型スポーツ事業	野馬追の里浮舟杯卓球大会及びトップアスリート教室を開催し、本市の子どもたちの卓球の競技力向上と指導者の指導力向上を図る。	野 馬 追 の 里 浮舟杯卓球大会 実 行 委 員 会	野馬追の里 第46回浮舟杯卓球大会 第7回トップアスリート教室 種 目：卓 球 場 所：南相馬市スポーツセンター 参加者：トップアスリート教室 201人 浮舟杯卓球大会 171人 ※2月14日の浮舟杯卓球大会は福島県沖地震の影響により中止	2月13日～ 2月14日
まちづくり 活性化スポーツ交流 支援事業	滞在型スポーツ大会等を誘致し、スポーツ交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。	東 北 学 生 卓 球 連 盟	令和2年度東北学生卓球連盟秋季リーグ戦 第87回全日本大学総合卓球選手権(個人の部)予選大会 種 目：卓 球 場 所：南相馬市スポーツセンター ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	8月10日～ 8月13日

健康スポーツ推進事業	市民の誰もが気軽に楽しめるスポーツ教室を開催し市民のスポーツ人口の拡充や健康増進を図る。	南相馬市スポーツ推進委員会	健康スポーツ教室 内 容：市民の誰もが気軽に参加できるスポーツ教室の開催（9回開催） 場 所：南相馬市スポーツセンターほか	4月～3月
スポーツ大会等出場 激励金 交付事業	全国大会並びに国際大会に出場する選手及び団体に対し激励金を交付する。	個人・団体	全国スポーツ大会等への派遣事業 11件 580,000円	4月～3月
スポーツ少年団選手 派遣事業	スポーツ少年団に加盟する団員の県大会以上の大会に出場するスポーツ少年団に対して、補助金を交付する。	団体	スポーツ少年団県大会等派遣事業 5件 387,289円	4月～3月
南相馬市・杉並区 スポーツ 交流事業	杉並区とのスポーツ交流事業の実施により、市民がスポーツに親しむ機会の拡充やスポーツ団体等の活性化、震災後のスポーツ活動の復興に繋げていくため、事業実施団体に対し補助金を交付する。	南相馬市少年 野球連盟	南相馬市・杉並区少年野球交流大会 会 場：杉並区 ※新型コロナウイルス感染症の影響により出場辞退	8月
		南相馬市少年 野球連盟	杉並区取手市南相馬市交流自治体少年野球大会 会 場：取手市 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	9月
		南相馬市 野球協会	杉並区交流自治体中学生親善野球大会派遣事業 会 場：杉並区 ※新型コロナウイルス感染症の影響により出場辞退	11月

		南相馬市バレー ボ ー ル 協 会	杉並区交流自治体スポーツ交流大会派遣事業 (家庭婦人バレーボール) 会 場：東吾妻町 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中 止	11 月
		南 相 馬 市 陸 上 競 技 協 会	杉並区中学生駅伝大会派遣事業 会 場：杉並区 ※新型コロナウイルス感染症の影響により出 場辞退	12 月
		原町ミニバスケ スポーツ少年団	南相馬市杉並区取手市ミニバスケ交流大会 会 場：取手市 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中 止	12 月

(3) 令和2年度スポーツ施設利用状況

【小高区】

社会体育施設等の利用状況

(単位：件、人)

施設名	利用件数	利用者数
小高体育センター	5,349	9,135
中部運動場	132	4,868
西部運動場	12	263
東部運動場	0	0
片草運動場	51	323
合計	5,544	14,589

学校体育施設開放事業の利用状況

※震災の影響により学校開放を休止していたが、平成29年6月より小高小、小高中の学校開放再開

(単位：件、人)

学校名	体育館		校庭		合計	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
小高小学校	11	54	35	1,051	46	1,105
金房小学校	—	—	—	—	—	—
福浦小学校	—	—	—	—	—	—
鳩原小学校	—	—	—	—	—	—
小高中学校	0	0	0	0	0	0
合計	11	54	35	1,051	46	1,105

【鹿島区】

社会体育施設等の利用状況

(単位：件、人)

施設名	利用件数	利用者数
千倉体育館	904	6,400
前川原体育館	445	3,149
千倉グラウンド	423	10,180
前川原グラウンド	99	1,900
千倉テニスコート	98	469
鹿島B&G海洋センター	—	—

施 設 名	利用件数	利用者数
鹿 島 体 育 館	1,166	12,103
み ち の く 鹿 島 球 場	71	4,291
南相馬市パークゴルフ場	-	59,823
合 計	3,206	98,315

学校体育施設開放事業の利用状況

(単位：件、人)

学 校 名	体 育 館		校 庭		合 計	
	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数
鹿 島 小 学 校	147	1,691	10	125	157	1,816
八 沢 小 学 校	150	2,500	0	0	150	2,500
上 真 野 小 学 校	125	2,530	0	0	125	2,530
鹿 島 中 学 校	130	1,379	0	0	130	1,379
合 計	552	8,100	10	125	562	8,225

【原町区】

社会体育施設等の利用状況

(単位：件、人)

施 設 名	利用件数	利用者数
南相馬市スポーツセンター	1,391	23,246
雲雀ヶ原陸上競技場	658	16,318
夜の森公園テニスコート	74	448
南相馬市テニスコート	3,467	31,887
南相馬市弓道場	962	3,940
南相馬市野球場	162	4,980
南相馬市民プール	151	3,831
小川町体育館	1,306	12,688
南相馬市サッカー場	40	1,880
北新田第一運動場	136	4,033
北新田第二運動場	-	-
北新田野球場	106	3,035
南相馬市相撲場	35	166
栄町柔剣道場	1,302	6,122
屋内市民プール	34,743	34,820
合 計	44,533	147,394

学校体育施設開放事業の利用状況

(単位：件、人)

学 校 名	体 育 館		校 庭		合 計	
	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数
原 町 第 一 小 学 校	229	4,074	105	1,828	334	5,902
原 町 第 二 小 学 校	188	3,473	16	266	204	3,739
原 町 第 三 小 学 校	135	2,074	41	462	176	2,536
高 平 小 学 校	143	1,750	7	87	150	1,837
大 甕 小 学 校	101	2,287	3	75	104	2,362
太 田 小 学 校	20	309	0	0	20	309
石 神 第 一 小 学 校	167	2,963	10	300	177	3,263
石 神 第 二 小 学 校	193	4,915	45	1,190	238	6,105
原 町 第 一 中 学 校	0	0	0	0	0	0
原 町 第 二 中 学 校	186	2,321	0	0	186	2,321
原 町 第 三 中 学 校	66	715	0	0	66	715
石 神 中 学 校	157	2,012	2	30	159	2,042
合 計	1,585	26,893	229	4,238	1,814	31,131

馬事公苑の利用状況

(単位：人、頭)

区 分	入苑者延人数	馬匹延頭数
各 種 馬 術 大 会	563	215
馬 術 競 技 合 宿	593	417
個 人 乗 馬 練 習	484	315
デ ィ ス ク ゴ ル フ	1,154	0
一 般 利 用	1,950	3,296
合 計	4,744	4,243

2 スポーツ施設一覧

小高区

施設名	所在地	競技種目	施設内容	使用料
小高体育センター	小高区関場一丁目 77 Tel (44) 6092	屋内競技	床面積 1,417.00 m ² バレーボール 2面 バドミントン 4面 バスケット 2面 卓球 6面 テニス 1面	体育目的の場合 全面利用（単1時間） 市民 1,140 円 市民以外 1,710 円 半面利用（単1時間） 市民 570 円 市民以外 850 円 個人利用（単1区分） 大人 100 円 高校生 50 円 小中学生 20 円 〔時間区分〕 A. 9 時～12 時 B. 12 時～15 時 C. 15 時～17 時 D. 17 時～19 時 E. 19 時～21 時 体育目的以外、営利目的等に利用する場合、また、入場料を徴する場合等は別料金が設定されています。
小高東部運動場	小高区蛸沢字藤沼 50-1	屋外競技	敷地面積 10,844.00 m ² ソフトボール 1面 野球場 1面 (夜間照明有) トイレ	利用料 無料 夜間照明料 1時間 2,100 円 市民以外が利用する場合、また、入場料を徴する場合等は別料金が設定されています。
小高中部運動場	小高区関場二丁目 29	屋外競技 多目的広場 1面	敷地面積 4,251 m ²	許可を得た者 無料 市民以外が利用する場合、また、入場料を徴する場合等は別料金が設定されています。
小高西部運動場	小高区飯崎字北原 51-1	屋外競技 ソフトボール 2面 野球場 1面 ゲートボール	敷地面積 14,445 m ² トイレ	許可を得た者 無料 市民以外が利用する場合、また、入場料を徴する場合等は別料金が設定されています。

小高片草運動場	小高区片草字南原 46-1	屋外競技 多目的広場 1 面 テニスコート 3 面 (ナイター設備 有)	敷地面積 13,285.38 m ² トイレ	多目的広場 許可を得た者は無料 テニスコート 大人 2 時間 200 円 高校生 2 時間 100 円 小中学生 2 時間 50 円 夜間照明 1 時間 200 円 〔時間区分〕 A. 9 時～11 時 B. 11 時～13 時 C. 13 時～15 時 D. 15 時～17 時 E. 17 時～19 時 F. 19 時～21 時 市民以外が利用する場合、また、入場料を徴する場合等は別料金が設定されています。
---------	------------------	--	---	--

鹿島区

施設名	所在地	競技種目	施設内容	使用料
千倉体育館	鹿島区鹿島字北千倉 20 TEL (46) 1215	室内競技	バレーボール 2 面 バスケットボール 1 面 バドミントン 3 面 卓球 5 台 アリーナ 3 2 m × 2 3 m	体育目的の場合 全面利用 (単 1 時間) 市内 1,140 円 市外 1,710 円 半面利用 (単 1 時間) 市内 570 円 市外 850 円
前川原体育館	鹿島区角川原字前川原 69-1	室内競技	バレーボール 2 面 バスケットボール 1 面 バドミントン 3 面 アリーナ 6 4 4 m ²	個人利用 (単 1 区分) 大人 100 円 高校生 50 円 小中学生 20 円 〔時間区分〕 A. 9 時～12 時 B. 12 時～15 時 C. 15 時～17 時 D. 17 時～19 時 E. 19 時～21 時
鹿島体育館	鹿島区横手字川原 186-1	室内競技	アリーナ面積 1,050 m ² バドミントン 6 面 バレーボール 2 面 バスケットボール 1 面 2 階多目的室	体育目的以外、営利目的等に 利用する場合、また、入場料 を徴する場合等は別料金が 設定されています。
千倉グラウンド	鹿島区鹿島字北千倉 24-1	屋外競技	競技場面積 17,895 m ² ソフトボール 2 面 野球 他 夜間照明有	体育目的の場合 (単 1 時間) 市内 無料 市外 630 円 千倉グラウンド夜間照明料 30 分 1,050 円
前川原グラウンド	鹿島区角川原字前川原 69-1	屋外競技	競技場面積 14,496 m ² ソフトボール 1 面 野球 他	体育目的以外、営利目的等に 利用する場合、また、入場料 を徴する場合等は別料金が 設定されています。

千倉 テニスコート	鹿島区鹿島字北千倉 24-1	テニス	競技場面積 1,368 m ² ハードコート 2面 (ナイター設備2面)	非営利目的の場合 全面貸切(単1時間) 市内 1,050円 市外 1,570円 個人利用(1回券) 大人 2時間 200円 高校生 2時間 100円 小中学生 2時間 50円 夜間照明料(単1時間) 1面 200円 営利目的等に利用する場合、 また、入場料を徴する場合等 は別料金が設定されていま す。
みちのく鹿島 球場	鹿島区南右田字榎 内 146-1	野球 その他	競技場面積 13,980 m ² 両翼 100m 中堅 122m 収容人員 3,000人 本部室、審判室 救護室、放送室 スコアボード	体育目的の場合(単1時間) 市内 700円 市外 1,050円 体育目的以外、営利目的等に 利用する場合、また、入場料 を徴する場合等は別料金が 設定されています。
南相馬市 パーク ゴルフ場	鹿島区川子字大迫 地内	パークゴ ルフ	コース面積 52,580 m ² 6コース 54ホール 管理棟、東屋、トイレ棟、 駐車場 261台	個人利用(1回券) 大人 1回 500円 高校生以下 1回 250円 個人利用(回数券) 大人 12回 5,000円 高校生以下 12回 2,500円 付属備品利用料金 クラブ 1回 500円 ボール 1回 50円

原町区

施設名	所在地	競技種目	施設内容	使用料
夜の森公園 テニスコート	原町区三島町一丁 目 88	ソフト テニス	競技場面積 7,051 m ² クレーコート 5面 管理棟・物品庫	個人利用(1回券) 大人 100円 高校生 50円 小中学生 20円 個人利用(回数券) 大人(12回) 1,000円 高校生(12回) 500円 小中学生(12回) 200円 個人利用(年間利用券) 大人 3,000円 高校生 1,500円 小中学生 600円 貸切一面1回 非営利目的の場合(1時間) 市内 260円 市外 390円 営利目的の場合(1時間) 910円

雲雀ヶ原 陸上競技場	原町区中太田字天 狗田 96	陸上競技	競技場面積 21,996 m ² 400mトラック (第3種公認)	個人利用(1回券) 大人 1回 100円 高校生 1回 50円 小中学生 1回 20円 個人利用(回数券) 大人(12回) 1,000円 高校生(12回) 500円 小中学生(12回) 200円 個人利用(年間利用券) 大人 3,000円 高校生 1,500円 小中学生 600円 全面貸切の場合は、別料金が設定 されています。
南相馬市 野球場	原町区桜井町二丁 目 252	野球 その他	競技場面積 17,367 m ² 両翼 100m 中堅 119m 収容人員 5,000人 本部席・審判席 内野席(両翼)864席 夜間照明 6基	貸切利用(1時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 520円 市外 780円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,040円 市外 1,300円 営利目的の場合 1,820円 夜間照明料(単1時間) 全灯 6,940円 半灯 3,470円
南相馬市民 プール	原町区桜井町二丁 目 166 TEL (22) 4871	水泳	総面積 5,018 m ² 50mプール (50m×19m) 9コース 幼児プール (26m×22m) 管理棟・機械棟	全面貸切利用 非営利目的の場合 市内 2,100円 市外 3,150円 営利目的の場合 7,350円 一部貸切利用 非営利目的の場合 市内 1,050円 市外 1,570円 営利目的の場合 3,670円 個人利用(1回券) 大人 100円 高校生 50円 小中学生 30円 個人利用(回数券) 大人(12回) 1,000円 高校生(12回) 500円 小中学生(12回) 300円

南 相 馬 市 サ ッ カ ー 場	原町区高見町一丁目 5	サッカー	競技場面積 10,050 m ² コート 1 面 (芝) (70m×105m)	全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 1,050 円 市外 1,570 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 2,100 円 市外 2,620 円 営利目的の場合 3,670 円
南 相 馬 市 テ ニ ス コ ー ト	原町区高見町一丁目 5	テ ニ ス	競技場面積 10,130.8 m ² 砂入り人工芝 14 面 (ナイター設備 14 面) 管理棟 139.12 m ² 物品庫	1 面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 1,050 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 3,670 円 個人利用 (1 回券) 大 人 200 円 高 校 生 100 円 小中学生 50 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 2,000 円 高 校 生 (12 回) 1,000 円 小中学生 (12 回) 500 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 6,000 円 高校生 3,000 円 小中学生 1,500 円 夜間照明料 (単 1 時間) 1 面 200 円
南 相 馬 市 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	原町区桜井町二丁目 200 Tel (22) 8951~2 FAX (22) 8953	室内競技	総面積 6,135 m ² 1 階 4,061 m ² 2 階 1,862 m ² バスケットボール 2 面 バレーボール 2 面 バドミントン 10 面 テニス 2 面 卓 球 26 台 体操・トレーニング 収容人員 1 階 3,000 名 2 階 (固定席) 1,716 名	競技場全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 1,890 円 市外 2,830 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 3,780 円 市外 4,720 円 営利目的の場合 6,610 円 競技場半面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 940 円 市外 1,410 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,880 円 市外 2,350 円 営利目的の場合 3,290 円 ステージ (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 630 円 市外 940 円

				体育競技以外を目的とする場合 市内 1,260 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 2,200 円 多目的室 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 230 円 市外 340 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 460 円 市外 570 円 営利目的の場合 800 円 会議室 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 170 円 市外 250 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 340 円 市外 420 円 営利目的の場合 590 円 個人利用 (1 回券) 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,000 円 高 校 生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円
南 相 馬 市 弓 道 場	原町区三島町一丁目 67-1	弓 道	競技場面積 880 m ² 6 人立射場 会議室・練習場 更衣室	全面貸切利用 非営利目的の場合 市内 520 円 市外 780 円 営利目的の場合 1,820 円 個人利用 (1 回券) 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,000 円 高 校 生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 3,000 円 高 校 生 1,500 円 小中学生 600 円

北 新 田 第 一 運 動 場	原町区北新田字諏訪 231-1	少年野球 ソフト ボ ー ル	競技場面積 11,387 m ² 少年野球 2 面 ソフトボール 2 面 (157m×78m) 管理棟・物品庫 便所	全面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 630 円 市外 940 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,260 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 2,200 円 半面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 310 円 市外 460 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 620 円 市外 770 円 営利目的の場合 1,080 円
北 新 田 第 二 運 動 場	原町区北新田字諏訪 68-1	屋外競技	競技場面積 7,758 m ² ゲートボール アーチェリー フェンスH=4.5m L=395m 矢 止 H=2.0m L=20m 物品庫 便 所	全面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 420 円 市外 630 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 840 円 市外 1,050 円 営利目的の場合 1,470 円 半面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 210 円 市外 310 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 420 円 市外 520 円 営利目的の場合 730 円 個人利用 (1 回券) 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,000 円 高 校 生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 3,000 円 高 校 生 1,500 円 小中学生 600 円

北新田野球場	原町区北新田字諏訪 241-7	野 球 ソ フ ト ボ ー ル	競技場面積 7,780 m ² 両 翼 85m センター 90m 外野フェンス H=3.00m バックネット H=10.00m 倉 庫 2 足洗場 1	全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 520 円 市外 780 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,040 円 市外 1,300 円 営利目的の場合 1,820 円
南 相 馬 市 馬 事 公 苑	原町区片倉字畦原 4-1 TEL (24) 4511 FAX (24) 4518	馬 術 ディスク ゴ ル フ	競技場面積 28ha 障害馬術馬場 馬場馬術馬場 覆馬場 走 路 直線坂路 みどりの広場 管理棟	個人使用 単位 2 時間 学生以下 100 円 一 般 200 円 (回数券 12 回) 学生以下 1,000 円 一 般 2,000 円 貸切使用料 全面 1 日 50,970 円 半日 25,480 円 1 施設ごと 1 日 16,310 円 半日 8,150 円
栄町柔剣道場	原町区栄町二丁目 42 TEL (24) 2810	柔 道 剣 道 囲 碁 会 議	総面積 781 m ² 1 階 320 m ² 2 階 461 m ² 柔道場 (96 畳) 剣道場 (19m×20m) 講和室 2 更衣室 2	講和室全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 1,050 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 3,670 円 講和室半面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 520 円 市外 780 円 営利目的の場合 1,820 円 柔剣道場全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 1,050 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 3,670 円 柔剣道場半面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 520 円 市外 780 円 営利目的の場合 1,820 円 個人利用 (1 回券) 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,000 円 高 校 生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 3,000 円

				高 校 生 1,500 円 小中学生 600 円
南 相 馬 市 相 撲 場	原町区桜井町二丁目 333	相 撲	土俵 1 面 更衣室、トイレ	全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市 内 710 円 市 外 1,060 円 営利目的の場合 2,480 円 個人利用 (1 回券) 大 人 110 円 高 校 生 60 円 小中学生 30 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,100 円 高 校 生 (12 回) 600 円 小中学生 (12 回) 300 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 3,300 円 高 校 生 1,800 円 小中学生 900 円
小川町体育館	原町区小川町 322-1	室内競技	総面積 1,269 m ² バスケットボール 2 面 バレーボール 2 面 バドミントン 6 面 卓 球 10 台 フロアー (35m×30m) 2 階多目的ホール	競技場全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市 内 1,140 円 市 外 1,710 円 体育競技以外を目的とする場合 市 内 2,280 円 市 外 2,850 円 営利目的の場合 3,990 円 競技場半面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市 内 570 円 市 外 850 円 体育競技以外を目的とする場合 市 内 1,140 円 市 外 1,420 円 営利目的の場合 1,990 円 個人利用 (1 回券) 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,000 円 高 校 生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円 多目的ホール 1 区画貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市 内 210 円 市 外 310 円

				体育競技以外を目的とする場合 市内 420 円 市外 520 円 営利目的の場合 730 円
南 相 馬 屋 内 市 民 プ ー ル	原町区小川町 553-1 Tel (26) 5586	屋内プール	建築面積 836 m ² 25mプール (25m×10m) 6 コース	全面貸切利用 非営利目的の場合 市内 6,300 円 市外 9,450 円 営利目的の場合 22,050 円 一部貸切利用 非営利目的の場合 市内 3,150 円 市外 4,710 円 営利目的の場合 11,010 円 個人利用 (1 回券) 大 人 500 円 高 校 生 200 円 小中学生 100 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 5,000 円 高 校 生 (12 回) 2,000 円 小中学生 (12 回) 1,000 円 個人利用 (年間券) 大 人 (年間) 15,000 円 高 校 生 (年間) 6,000 円 小中学生 (年間) 3,000 円

3 学校体育施設開放

小高区

開放する施設	開放する施設種目	使用できる体育種目	開放する日時
小 高 区 内 小 中 学 校	校庭 多目的ホール 屋内運動場	サッカー バレーボール 卓球 剣道など	(火) 午後 5:00～午後 7:00 (水、金) 午後 7:00～午後 9:00 (土) 第 1・第 3 土曜日 午前 9:00～正午 第 2・第 4 土曜日 午前 9:00～午後 5:00

鹿島区

開放する施設	開放する施設種目	使用できる体育種目	開放する日時
鹿 島 区 内 小 中 学 校	校庭	サッカー 等	(月～金) 開放しない (土・日・祝日及び長期休業日) 午前 8:30～午後 5:00
	屋内運動場	バレーボール バドミントン 剣道 他	(月～金) 午後 5:00～午後 9:00 (土・日・祝日及び長期休業日) 午前 8:30～午後 9:00

原町区

開放する施設	開放する施設種目	使用できる体育種目	開放する日時
原 町 区 内 小 中 学 校	校庭	ソフトボ ール サッカー など	5 月 1 日～ 10 月 31 日 まで
		上記以外の 日	(月～金) 午後 5:00～午後 9:00 (土・日・祝日・長期休業日) 午前 8:30～午後 9:00
	多目的ホール 屋内運動場	バレーボール 卓球など	(土・日・祝日・長期休業日) 午前 8:30～午後 5:00

使用料（各区共通）

施設等	使用料	摘要
多目的ホール	1 時間につき 520 円	普通券及び回数券の 1 回の使用時間は、1 時間とする。
屋内運動場	1 時間につき 520 円	
	普通券 1 回 520 円	
	回数券 12 回 5,200 円	
校庭	夜間照明を使用する場合 1 時間につき 200 円	
	夜間照明を使用しない場合 無料	

Ⅸ 各種委員会等名簿

南相馬市生涯学習推進委員

職 名	氏 名	所 属 等	選 出 区 分
委員長	大 場 盛 子	学識経験者	原町区
副委員長	豊 田 一 弘	学識経験者	鹿島区
委 員	和 田 節 子	南相馬市小中学校長会 (原町第二中学校)	関係機関
委 員	赤 石 澤 啓 雅	南相馬市体育協会	関係機関
委 員	目 黒 道 崇	原町青年会議所	関係機関
委 員	杉 重 典	学識経験者	小高区
委 員	飯 塚 宏	学識経験者	小高区
委 員	西 山 喜 代 子	学識経験者	小高区
委 員	清 野 久 子	学識経験者	小高区
委 員	今 野 秀 幸	学識経験者	鹿島区
委 員	埴 龍 太 郎	学識経験者	鹿島区
委 員	渡 部 喜 典	学識経験者	鹿島区
委 員	渡 部 紀 佐 夫	学識経験者	原町区
委 員	西 ち い 子	学識経験者	原町区
委 員	星 臣	学識経験者	原町区

任期 令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

南相馬市文化財保護審議会委員

役 職 名	氏 名	所 属 等	専門分野
会 長	二 上 裕 嗣	学識経験者	歴 史
副 会 長	石 井 幹 雄	学識経験者	歴 史
委 員	伊 賀 和 子	学識経験者	自 然
委 員	猪 狩 正 志	学識経験者	歴 史
委 員	岩 崎 真 幸	学識経験者	民 俗
委 員	岡 田 清 一	学識経験者	歴 史
委 員	玉 川 一 郎	学識経験者	考 古
委 員	藤 原 一 良	学識経験者	歴 史
委 員	八 巻 安 夫	学識経験者	自 然
委 員	山 本 富 士 夫	学識経験者	歴 史

任期 令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

南相馬市スポーツ推進審議会委員

No.	氏 名	所 属	役 職
1	佐 久 間 光 弘	南相馬市体育協会	会長
2	片 山 義 雄	南相馬市体育協会	副会長
3	江 本 節 子	南相馬市レクリエーション協会	会長
4	門 馬 浩 二	南相馬市スポーツ少年団本部	本部長
5	猪 狩 香 奈	相双教育事務所	社会教育主事
6	今 野 蓮	相双高等学校体育連盟	理事 (ふたば未来学園)
7	高 田 昌 幸	南相馬市小中学校校長会	太田小学校校長
8	西 祥 一	スポーツ施設指定管理者協議会	太田大甕スポーツ クラブ会長
9	岡 田 祐 司	一般社団法人原町青年会議所	専務理事
10	中 村 博 之	スポーツ国際交流経験者	
11	石 川 美 紀	南相馬市P T A連絡協議会	会長

任期 委嘱の日から2年

南相馬市スポーツ推進委員

No.	氏 名	性別	住 所	役職名・ グループ名	No.	氏 名	性別	住 所	役職名・ グループ名
1	小 屋 進	男	南相馬市 鹿島区	会 長	21	佐 藤 文 彦	男	南相馬市 原町区	
2	米 津 とき子	女	南相馬市 原町区	副会長	22	高 玉 雅 利	男	南相馬市 原町区	
3	松 本 淳	男	南相馬市 小高区	副会長 (兼事務局長)	23	佐 藤 信 成	男	南相馬市 小高区	
4	岡 本 慶 子	女	南相馬市 鹿島区	会 計	24	米 田 寛	男	南相馬市 小高区	
5	大 土、 光 雄	男	南相馬市 鹿島区	監 事	25	草 野 禎 夫	男	南相馬市 鹿島区	
6	佐 藤 実	男	南相馬市 原町区	監 事	26	濱 野 和 人	男	南相馬市 原町区	
7	杉 重 博	男	南相馬市 小高区	おだかグループ長	27	飯屋崎 真也	男	南相馬市 原町区	
8	和 泉 ひで子	女	南相馬市 鹿島区	かしまグループ長	28	瀬 下 智 美	女	南相馬市 小高区	
9	境 原 祥 友	男	南相馬市 原町区	はらまちグループ長					
10	松 野 たつ子	女	南相馬市 原町区						
11	小 倉 陽 一	男	南相馬市 鹿島区						
12	荒 義 裕	男	南相馬市 鹿島区						
13	小野田 収一	男	南相馬市 原町区						
14	鈴 木 時 子	女	南相馬市 原町区						
15	佐 藤 徳	男	南相馬市 原町区						
16	岡崎 真奈美	女	南相馬市 小高区						
17	三本松 裕子	女	南相馬市 原町区						
18	大 浦 完 一	男	南相馬市 原町区						
19	阿 部 秀 子	女	南相馬市 小高区						
20	秩 父 重 弘	男	南相馬市 鹿島区						

任期 令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

南相馬市立図書館協議会

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	鎌 田 孝 子	社 会 教 育 関 係
副 会 長	松 永 雄 一	学 識 経 験 者
委 員	伏 見 康 弘	学 校 教 育 機 関 （ 原 町 第 一 小 学 校 ）
委 員	伊 藤 浩 樹	学 校 教 育 機 関 （ 原 町 第 一 中 学 校 ）
委 員	大 谷 留 美 子	学 識 経 験 者
委 員	今 野 聡	学 識 経 験 者
委 員	金 谷 清 子	学 識 経 験 者
委 員	鈴 木 久 美 子	社 会 教 育 関 係
委 員	湯 澤 由 紀 子	社 会 教 育 関 係
委 員	森 岡 こ う	社 会 教 育 関 係

任期 令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

南相馬市立博物館協議会

役 職 名	氏 名	所 属
委 員	渡 部 紀 佐 夫	南 相 馬 市 生 涯 学 習 推 進 委 員 会
委 員	岩 崎 真 幸	学 識 経 験 者 （ 民 俗 ）
委 員	鎌 田 文 代	南 相 馬 市 私 立 幼 稚 園 協 会
委 員	高 田 昌 幸	南 相 馬 市 小 ・ 中 学 校 長 会 （ 太 田 小 学 校 ）
委 員	高 橋 知 宏	南 相 馬 市 小 ・ 中 学 校 長 会 （ 鹿 島 中 学 校 ）
委 員	山 崎 雅 弘	福 島 県 立 原 町 高 等 学 校
委 員	米 澤 政 美	一 般 社 団 法 人 南 相 馬 観 光 協 会
委 員	藤 原 妃 敏	学 識 経 験 者 （ 考 古 ）
委 員	岡 田 清 一	学 識 経 験 者 （ 歴 史 ）
委 員	竹 谷 陽 二 郎	学 識 経 験 者 （ 自 然 ）

任期 令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

X 教育史年表

小高町

年	沿 革
昭和 29	町村合併促進法により、旧小高町、福浦村、金房村の一町二カ村が合併して小高町となる 町村合併により福浦村立福浦小学校を小高町立福浦小学校、金房村立金房小学校を小高町立金房小学校と改称 金房小学校から独立し、小高町立鳩原小学校となる 小高中学校特別教室（理科室・技術実習室）完成
31	小高小学校プール完成
34	小高小学校校舎の老朽化により改築、第一校舎完成
37	塚原分教場廃止 金房小学校学校給食開始 給食室完成 小高中学校屋内運動場落成式
39	小高小学校 12 月 8 日、火災により校舎全焼 改築の第 1、第 3 校舎は類焼をまぬがれ、2・4 校舎を完成
40	小高中学校プール関連施設完成
43	金房小学校プール完成 鳩原小学校町立幼稚園併設
44	小高小学校町立幼稚園併設 鳩原小学校プール完成
45	福浦小学校体育館完成、校門舗装並びに校庭柵新設、吊輪設置
47	小高、金房、福浦三中学校を統合
48	小高中学校新校舎第 1 期工事開始
49	小高中学校新校舎第 2 期工事開始
50	小高中学校新校舎第 3 期工事開始
51	小高中学校体育館完成
52	小高小学校米食給食開始 小高中学校プール完成
53	金房小学校新校舎第 1 期建築工事着工（旧金房中学校校舎へ移転）同完成（995 m ² ）
54	金房小学校新校舎第 2 期建築工事着工（1,171 m ² ） 新校舎完成 金房小学校教育振興会結成
55	福浦小学校旧校舎解体開始 校舎新築起工式
56	福浦小学校新校舎落成式、同祝賀会
57	福浦幼稚園舎、校地内に新築 鳩原小学校校舎改築工事、新校舎への移転
58	鳩原小学校屋内運動場建築工事完成
61	金房小学校給食室新築（100 m ² ） プール配管修理
平成 2	金房小学校プール改修工事完成
3	小高小学校校舎改築第 1 期工事着工
4	小高小学校校舎改築第 1 期工事完成 校舎改築第 2 期工事着工、同完成
5	小高小学校体育館プール工事着工、同完成 小高小学校新築落成式
13	福浦小学校プール改修工事完成

鹿島町

年	月	沿 革
昭和 29	3	町村合併促進法により、旧鹿島町、真野村、八沢村、上真野村の一町三カ村が合併し鹿島町となる 町村合併により、鹿島町立真野小学校、鹿島町立上真野小学校と改称
32	3	北右田分校廃止
34	12	上真野小学校学校給食開始
35	12	真野小学校学校給食開始
37	1	鹿島小学校学校給食開始
39	10	町村合併により鹿島町立八沢小学校と改称
40	3	上真野小学校新校舎第 1 期工事 4 教室完成
41	3 "	真野小学校屋内運動場新設 上真野小学校新校舎第 2 期工事 4 教室完成
42	3 7	上真野小学校新校舎第 3 期工事 4 教室完成 鹿島小学校プール完成
43	2 " 4 6	鹿島小学校屋内運動場完成 真野小学校北校舎とりこわし 給食センター開設、給食センターによる給食開始 真野小学校特別教室新設（4 教室）
44	3 4	栃窪分校廃校 烏崎分校を真野小学校に統合 特殊学級設置
45	2 3 7	八沢小学校、校舎鉄筋改築 プール完成 南柚木分校を本校へ統合、スクールバスを運行 小池分校廃校 真野小学校プール完成
46	1 12	上真野小学校プール新築 八沢小学校屋内体育館完成
47	4	鹿島小学校に鹿島幼稚園を併設
48	3	上真野小学校に上真野幼稚園併設
49	9	真野小学校新校舎建築着工
50	3	真野小学校新校舎完成
51	4	鹿島幼稚園を新設し移転
52	9	八沢小学校給食へ米飯給食取り入れ
53	4	真野小学校に真野幼稚園併設
54	9 12	鹿島小学校新校舎落成式典 鹿島日吉神社のお浜下り国選択民俗文化財となる
56	3 4	上真野幼稚園新園舎完成移転 真野幼稚園独立園舎完成
58	4	鹿島中学校・上真野中学校を統合し、鹿島町立鹿島中学校となる
59	3	鹿島幼稚園新園舎完成移転
60	3	鹿島中学校屋外部室完成
61	1	鹿島中学校柔剣道場完成・道場開き
平成 4	3 4 9	真野小学校体育館新設 上真野小学校校舎大規模改造工事完成 鹿島中学校校庭を整地
5	10 11	鹿島中学校プール専用水道配管工事完成 体育館道路フェンス完成

鹿島町

年	月	沿 革
6	2	上真野小学校校舎大規模改造内装工事完成
6	3	鹿島中学校南校舎内壁塗装工事完成
7	3	八沢小学校プール西側及び北側フェンス改修工事完成
	7	上真野小学校プール修理工事完成
8	3	鹿島中学校北校舎内壁塗装工事完成
10	3	八沢小学校プール改築工事完成
11	3	鹿島小学校プール完成
12	6	真野小学校プール改修工事完成
15	3	鹿島小学校屋内運動場工事完成
17	5	八沢小学校新校舎完成

原町市

年	月	日	沿 革
昭和 29	3	20	原町、太田村、大甕村、高平村の一町三カ村が合併して原町市となる
	4	1	原町第二小学校を設置（原町第一小学校に併設、9月22日から橋本町1丁目）
	5	6	原町市教育委員会傍聴人規則を制定（教規2）
	6	20	太田中学校体育館完成
		28	原町市公立施設等の使用に関する条例を制定（条29）
	11	19	原町市公立学校通学区域に関する規則を制定（教規10）
	12	27	原町市社会教育委員の定数及び任期に関する条例が制定される（条63）
30	12	27	「泉の一葉松」福島県の天然記念物に指定される
		〃	「泉廃寺跡」福島県の史跡に指定される
	12	30	太田中学校校舎増築
31	5	15	原町市営夜の森テニスコート完成（三島町1丁目地内）
	8	21	原町第二小学校校舎完成
	9	4	「泉廃寺跡出土瓦一括26点」福島県の重要文化財に指定される
		30	石神村が原町市に合併
	10	3	教育長に対する事務委任規則を制定（教規6）
		〃	教育長専決規定を制定（教程1）
	11	7	「桜井古墳」国の史跡に指定される
	12	26	原町市教育委員会事務局処務規程を制定（教程3）
32	6	3	学校の長に対する事務委任規則を制定（教規1）
		〃	原町市立公民館管理運営規則を制定（教規2）
	10	1	原町市社会教育委員の会議運営に関する規則を制定（教規3）
	12	27	原町市育英資金貸付条例を制定（条28）
34	1	24	原町第二小学校体育館完成
	4	1	高平中学校を校名変更し原町第二中学校を設置
	5	10	高平校舎の347名原町第二中学校に移転
35	2	6	原町校舎の391名原町第二中学校に移転
	3	29	石神第二小学校プール兼防火用池完成
	4	6	原町市立公民館運営審議会規則を制定（教規2）
	7	20	原町市体育館条例を制定（条19）
	11	24	原町第二中学校校舎完成（桜井町1丁目地内）
		26	原町市立公民館の連絡等にあたる公民館に関する規則を制定（教程10）
36	3	31	高平小学校に体育館完成
	4	1	太田・大甕中学校を統合し原町第三中学校を設置（下太田川内前地内）
	7	31	原町市営雲雀ヶ原陸上競技場完成（中太田天狗田地内）
37	3	30	「木造十一面観音立像」が福島県の重要文化財に指定される
	4	20	大甕校舎から原町第三中学校に移転
	5	24	体育指導委員の定数、任期等に関する規則を制定（教規1）
	6	16	原町第二中学校体育館完成
		27	原町市教育委員会事務局組織規則を制定（教規2）
38	1	14	原町第三中学校校舎竣工
		18	太田校舎から原町第三中学校に移転、完全統合なる
39	2	1	石神第二小学校校舎増築
	3	27	原町市小学校及び中学校条例を制定（条37）
		〃	原町市公民館条例を制定（条38）
		〃	原町市文化財保護条例を制定（条例46）
	3	31	原町第三中学校の校舎及び給食調理室完成

	4 6 7 8 9	1 29 10 10 19	原町第二小学校プール完成 原町市文化財保護条例規則を制定（教規 1） 原町第一中学校校舎の一部火災により焼失 原町第一小学校プール完成（25m 5 コース） 原町市スポーツ少年団発足（22 団体 448 人） 太田小学校の校舎増築
40	3 4 8 10	17 12 29 5 10	原町第一小学校体育館完成 原町第三中学校体育館完成 石神第二小学校横川分校 1 ～ 6 年生を廃止 原町市三道会館完成（三島町 1 丁目地内） 原町市総合体育大会を開催
41	2 4 11	15 1 20	原町第二中学校特別教室完成 充て指導主事 1 名配置 原町第二小学校特別教室完成
42	3 8 10	31 〃 29 2 〃	石神第一小学校不動分校（1 ～ 4 年生）並びに原町第一小学校渋佐分校（1 ～ 2 年生）を廃止 原町第二中学校プール完成（25m 6 コース） 「陣太鼓」「鳥毛槍」を市有形民俗文化財に「平福德庵神馬額」「藤田家所蔵文書」を市有形文化財に指定 石神中学校給食調理室完成 原町第一中学校特別教室完成
43	1 3 8 11	26 25 31 15 10	原町第一中学校校舎完成 原町第二小学校校舎増築 原町市教育委員会職員の職名等に関する規則を制定（教規 2） 原町第二小学校給食調理室完成 原町第一中学校体育館完成
44	2 3 4 11 8 11 11	25 31 1 11 24 3 20	原町市公の施設等の使用に関する条例施行規則を制定（規 5） 大甕小学校堤谷分校（1 ～ 2 年生）廃止 原町第一小学校に「ことばの教室」を開設 「初発神社のスダシイ樹林」福島県の天然記念物に指定される 原町第二中学校給食調理室完成 原町市民憲章を制定（告 25） 原町第三中学校プール完成（25m 5 コース）
45	2 6 11	25 28 1 12	石神第一小学校体育館完成 原町第二小学校に交通安全教育センター完成 教育委員会事務局に総務課、指導課を設置 「三島神社の竜と唐獅子」「野馬追図屏風」を市有形文化財に「片倉の笠松」「医徳寺のしだれ松」を市天然記念物に指定（教告 4）
46	1 3 8 4 6 7 12	11 11 8 25 1 〃 26 17 1 〃 11	原町第一中学校給食調理室完成 「旧武山家住宅」国の重要文化財に指定される 石神第二小学校体育館完成 原町市幼稚園条例を制定（条 9） 原町第三小学校を設置（原町第二小学校に併設） 〃 石神第一、石神第二、高平、大甕、太田に幼稚園を設置 原町市立幼稚園の授業料の納入及び減免措置に関する規則を制定（教規 5） 原町市教育施設使用規則を制定（規 6） 原町市農業青年研修センター設置条例を制定（条 19） 〃 原町市農業青年研修センター管理規則を制定（教規 5） 大甕小学校プール完成（25m 6 コース）
47	2 5 6 7	28 20 20 1	原町第三小学校 6 年生、新校舎（上町 1 丁目地内）に移動 原町市教育委員会事務局財務規程を制定（教訓 1） 市内小学校一年生の児童を対象に心電図検査を実施 原町市教育財産管理規則を制定（教規 6）

	8	9	原町市社会教育指導員設置等に関する規則を制定（教規 7）
		10	「羽山岳の木戸跡」を史跡に指定
	9	1	原町第三小学校校舎（第二期）完成、全校移動完了
	10	1	太田小学校プール完成（25m 6コース）
	10	25	原町第一小学校夜間スポーツ活動用夜間照明完成
	11	8	原町第一小学校給食調理室完成
	12		原町市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則を制定（教規 9）
			原町第三小学校給食調理室完成
			原町第三小学校体育館完成
			市内小中学校に O・H・P 46 台導入
48	2	3	原町第一小学校校舎改築工事完成
	3	25	原町公民館改築工事完成
		26	原町公立学校教育指導委員設置に関する規則を制定（教規 5）
		〃	原町市教育委員会公告式規則を制定（教則 10）
		〃	原町市公立学校職員の勤務時間に関する規程を制定（教訓 1）
		〃	原町市立幼稚園職員の勤務時間に関する規程を制定（教訓 4）
		〃	原町市教育委員会公印規程を制定（教訓 5）
	4	1	指導主事 1 名を配置
		26	羽山装飾横穴古墳を発見
	6	1	市内小学校一年生の児童を対象に尿検査を実施
		〃	「泉の館跡」を市史跡に指定
	8	5	石神第一小学校、石神第一幼稚園プール完成（25m 6コース）
		6	原町第二小学校夜間スポーツ活動用夜間照明完成
		23	市内小中学校にアナライザー 16 台設置
	10		原町第一中学校に相撲場建設（国庫補助 300,000 円）
49	2	5	原町市立図書館完成
		〃	原町市立勤労青少年ホーム完成
		21	原町第三小学校校舎完成
		〃	原町市野球場完成（桜井町 1 丁目地内）
	3	22	原町市立図書館条例を制定（条 21）
		〃	原町市勤労青少年ホーム条例を制定（条 22）
		〃	原町市スポーツ施設条例を制定（条 23）
		31	原町第一小学校ことばの教室増築
	4	1	教育委員会に対する事務委任規則を制定（規 16）
		〃	原町市立図書館処務規則を制定（教規 3）
		〃	原町市立図書館運営協議会の会議運営に関する規則を制定（教規 4）
		〃	原町市勤労青少年ホーム条例施行規則を制定（教規 5）
		〃	原町市文化センター管理規則を制定（教規 6）
		〃	原町市体育館条例施行規則を制定（教規 12）
		〃	原町市スポーツ施設使用料の減免及び返還に関する規則を制定（教規 13）
		〃	原町市スポーツ施設条例施行を制定（教規 14）
		〃	原町市教育委員会事務決裁規程を制定（教訓 1）
		〃	原町市勤労青少年ホーム処務規程を制定（教訓 3）
		6	原町市立図書館規則を制定（教規 2）
	6	7	原町市教育委員会会議規則を制定（教規 17）
	7	17	原町市育英資金貸付条例施行規則を制定（教規 21）
	12	23	「羽山横穴」国の史跡に指定される
50	5	16	高平小学校校舎の一部を火災により焼失
	9	13	原町第三小学校プール完成（25m 6コース）
51	3	23	石神第二小学校校舎の一部を火災により焼失
		30	大甕小学校校舎改築及び給食調理室完成
	4	1	原町市社会教育事業連絡協議会規程を制定（訓 4・教訓 1）

	6 10	5 30 31	「聖石」鎧「紺威銅丸」・「金箔押盛上本小札紺糸威二枚胴具足」・「紺糸威二枚胴具足の兜と大袖」・「盛上本小札紺糸裾濃威胴丸」・「盛上本小札縹糸威二枚胴具足」・「切付盛上札色々威二枚胴具足」・「色々威胴丸」・「紺糸威胴丸および兜と袖」・「金箔押盛上本小札緋鹿角紺糸紋柄威二枚胴具足」を市有形民俗文化財に指定 原町市私立幼稚園在籍園児の保護者に対する助成金交付要綱を制定（教訓 2） 原町市勤労青少年ホーム運営委員会規則を制定（教規 3） 大甕小学校体育館完成
52	2 3 4 9	15 17 20 1 2	原町第一中学校特別教室完成 石神第二小学校校舎改築及び給食調理室完成 高平小学校校舎（第一期）改築工事完成 原町市民プール完成（50m 9 コース） 学校給食に米飯導入（週 1 回） 高平小学校に給食調理室完成
53	3 5 8 9 11 12	3 17 17 30 22 10 30 10 27	高平小学校校舎（第二期）改築工事完成 高平幼稚園園舎改築工事完成 大甕幼稚園園舎改築工事完成 原町サッカー場完成（高見町 1 丁目地内） 大甕公民館の改築漏示完成 原町市補助金等の交付等に関する規則に基づく市長の権限を原町市教育委員会に委任する規則を制定（規 10） 「相馬野馬追」国の重要無形民俗文化財に指定される 高平小学校・高平幼稚園プール完成（25m 6 コース） 石神第一小学校給食調理室完成 原町市中心身障害児就学指導審議会条例を制定（条 28） 原町市中心身障害児就学指導審議会条例施行規則を制定（教規 2） 太田小学校の給食調理室改築工事完成
54	2 3 4 5 6 7 8	10 28 5 30 31 1 7 20 30 15	原町市勤労者体育センターの管理及び運営に関する条例を制定（条 5） 原町市公立小中学校管理規則を制定（教規 1） 太田幼稚園園舎改築工事完成 原町市スポーツ振興審議会条例を制定（条 6） 原町勤労者体育センター管理規則を制定（規 4） 原町運動公園テニスコート完成（高見町 1 丁目地内） 石神第二幼稚園園舎改築工事完成 石神公民館改築工事完成 原町市教育委員会事務局に社会教育課設置 原町市公立幼稚園管理規則を制定（教規 3） 石神第二小学校校舎増築 原町第一中学校プール完成（25m 7 コース） 原町市公立学校体育施設の開放に関する規則を制定（教規 7） 原町市公立学校体育施設の開放に関する実施要綱を制定（教訓 4）
55	1 2 3	19 20 24	石神第一幼稚園園舎改築工事完成 高平公民館改築工事完成 石神第一小学校校舎改築工事完成 石神中学校校舎（第一期）改築工事完成
56	1 3 4	31 21 24 25 31 1 16	石神中学校給食調理室完成 太田公民館改築工事完成 石神中学校校舎（第二期）改築工事完成（校舎及び給食室） 太田小学校校舎（第一期）改築工事完成 原町市福島県営原町体育館管理条例を制定（条 7） 原町市福島県営原町体育館管理条例施行規則を制定（教訓 1） 原町市福島県営原町体育館処務規程を制定（教訓 1） 高平小学校通学区域の正常化を図る 原町市立公民館処務規程を制定（教訓 2）

	7 9	30 5	石神中学校プール完成（25m 7コース） 原町市弓道場完成（三島町1丁目地内）
57	3 5 6 7 12	11 29 30 25 21 7 8	石神中学校体育館完成 太田小学校校舎（第二期）改築工事完成 高平小学校校舎増築工事完成 高平小学校体育館火災により焼失 赤沼遺跡を試掘 石神第二小学校用地を買収 小川町体育施設にゲートボールコート（2面）完成
58	1 2 3 4 5	31 15 28 " " 30 1 " " 10 27	高平幼稚園園舎増築 市営野球場にバックスクリーン及びスコアボード完成 原町第二小学校校舎及び給食調理室改築工事完成（第一期） 大甕小学校校舎増築 石神第二小学校校舎増築 桜井運動公園駐車場用地を買収 修行年限2年以上の専修学校在学者を原町市育英資金貸付の対象とする 通学距離3km以上の小学校1年生、2年生のバス通学者にバス定期代実費の1/2を補助 大甕・太田小学校通学区域の正常化 高平小学校体育館完成 原町市公立小学校遠距離通学費助成金交付要綱を制定（教訓2）
59	1 2 3 4 5 6 7	31 29 " " 4 28 " 12 1 " 20 31	太田小学校体育館改築工事完成 原町第二小学校校舎改築（第二期）工事完成 石神第二小学校校舎改築工事完成 市営野球場に本部席、バックネット及びフェンス等設置 原町第一中学校の校舎一部火災により焼失 バス定期利用者以外の遠距離通学児童についても月額1,000円が58年4月に朔及し補助対象となる（教訓1） 原町市文化及びスポーツ振興基金条例を制定（条12） 遠距離通学助成対象者を小学4年生まで拡大（教訓2） 原町市歴史資料及び民俗文化財調査員設置要綱を制定（教訓4） 原町市教育センター運営要綱を制定（教訓5） 原町無線塔記録ビデオ完成 原町第二小学校プール完成（25m 8コース）
60	2 3 4 7 11	28 15 1 " " 20 8	原町第二小学校校舎改築工事完成 北新田に運動場、管理棟完成 全公民館に社会教育指導員配置 原町市教育委員会事務局処務規程全面改正（訓1） 副読本「社会科はらまち」を刊行し小学校第3学年児童に無償給付する 石神第二小学校にプール完成（25m 6コース） 教育相談員による教育相談開始（毎週火・金曜日）
61	1 3 4 7 8 11 12	18 30 31 10 " 1 1 31 25 30 17 13	北新田に野球場完成 石神第二小学校低学年用プール完成 大甕公民館に研修室（洋室）増築 原町第二中学校校舎改築（第一期）工事完成 原町第二中学校給食室改築工事完成 原町市教育センター指導員配置 市立幼稚園授業料改訂（現行3,000円を4,000円に改訂） 雲雀ヶ原陸上競技場改修工事完成（公認期間延長66.8.5まで） 原町第一小学校プール附属建物改修工事完成 原町第一中学校校舎大規模改修（第一期）工事完成 市内中学校4校にパーソナル・コンピュータ各1台配置（NEC製）。 石神中学校校舎増築

		15	北新田に第二運動場及び附属設備完成
62	2	28	原町第二中学校校舎改築（第二期）工事完成
	3	6	市指定文化財の解除（鎧・紺威胴丸）
	3	25	原町第二中学校自転車置場及び外構工事完成
	4	1	育英資金貸付条例の一部改正され、昭和 62 年度より貸付額の引上げ実施(条 4)
		〃	教育委員会事務局組織が改正され、社会教育課に文化振興係及び体育振興課を新設（教規 1）
	〃	〃	原町第二中学校に多目的ホールを設置し一般開放（教訓 4）
	5	12	市民プール公認期間延長（公認期限 67. 5. 10 まで）
		30	大甕幼稚園幼児プール設置
	6	1	原町第一小学校敷地借地 124 ㎡所有者佐々木隆殿より寄付される
		30	原町市公立学校施設の開放に関する要綱を制定（教訓 4）
	7	1	生涯教育推進本部設置要綱を制定（教訓 5）
		〃	生涯教育推進会議設置要綱を制定（教訓 6）
63		10	石神第二小学校及び大甕小学校に防球ネット設置
	9	30	原町第二中学校体育館床改修工事完成
	11	17	市内小学校 8 校にパーソナル・コンピュータ各 1 台を設置（NEC 製）
	12	21	原町第一小学校（南校舎）庇パラペット補修工事完成
	2	29	原町第二中学校校舎改築（第三期）工事完成
	3	15	原町第二中学校外構及び解体工事完成
	4	1	原町文化及びスポーツ振興育成事業に関する規則を制定施行（教規 2）
		〃	原町市文化及びスポーツ振興育成事業特別会計条例を制定し助成事業を開始
	6	1	第 50 回国民体育大会原町市準備推進本部設置要綱を制定（教訓 1）
		〃	第 50 回国民体育大会原町市幹事会設置要綱を制定（教訓 2）
	11	10	北新田運動場（第一運動場）緑化工事完成
	12	19	石神第二幼稚園遊戯室改築（180 ㎡）完成
平成 元年	1	8	元号改正され「平成」となる
	3	13	石神第二小学校体育館改築（1,100 ㎡）工事完成
		20	市野球場マウンド改修工事完成（基準改正による）
	4	1	原町市語学指導を行う外国青年の給与に関する条例を制定（条 3）
		〃	育英資金貸付条例の一部改正され、平成元年度より貸付額の引上げ実施（条 8）
		〃	招致外国青年就業規則を制定（教規 2）
		〃	教育委員会事務局組織が改正され、体育振興課に国体係を新設（教規 1）
	6	20	北新田運動場（第二運動場）緑化工事完成
	9	20	市野球場に内野スタンド新設（252 人収容）
	10	11	原町第二中学校に相撲練習場（68.96 ㎡）完成
	12	10	北新田運動場に、プレハブ倉庫（46.2 ㎡）完成
		26	育英資金貸付条例の一部改正され、大学生貸付額に区分を設け、なお、貸付額の引上げ実施（条 43）
2		〃	原町市公民館条例の一部改正を行い、「ひがし公民館」を設置する条例を制定（条 44）
	2	15	原町第三中学校校舎一期（1,496 ㎡）及び給食室（127 ㎡）改築及び防球ネット・フェンス等設置工事完成
		28	原町第三小学校校舎増築（861 ㎡）及び外構工事完成
	3	20	原町第二小学校体育館及び附属便所改修工事完成
		〃	ひがし公民館建設（493 ㎡）
	7	20	北新田運動場（多目的広場）緑化工事完成
	8	20	市野球場に内野スタンド新設（二期）
		31	運動公園に原町市相撲場建設
	10	5	原町第一小学校屋体整備第一期改修工事完成
		9	原町第二中学校にパーソナル・コンピュータ（NEC 製）10 台配置
	11	9	原町市相撲場関連施設工事完成

3	3	11 15 25 3 4 7 10	11 15 25 28 1 17 15 31	原町第三中学校校舎二期 (2,151 m ²) 改築工事完成 原町第一小学校 (北校舎) 庇パラペット補修工事完成 原町第三中学校屋外環境整備工事、外構工事等完成 教育委員会事務局組織が改正され、体育振興課国体系を市長部局に組織替となる 社会体育課が生涯教育課と改称 (4月1日実施) 雲雀ヶ原陸上競技場改修工事完成 (公認期間延長 8. 8. 5 まで) 原町第三小学校パラペット・外壁塗装改修工事完成 原町市野球場スタンド改修工事完成
4	1 2 3 4 9 10	1 2 3 4 9 10	24 31 29 31 1 12 6	野馬追の里歴史民俗資料館建設の基本構想 市指定文化財の解除 (天然記念物・片倉の笠松) 原町第一中学校校舎一期 (534 m ²) 増改築工事完成 原町第三中学校にパーソナル・コンピュータ (NEC 製) 10 台配置 グランドピアノ 5 台を更新 (原町第二小学校・太田小学校・石神中学校・原町第一中学校・原町第二中学校) 教育委員会事務局組織が改定され、生涯教育課を生涯学習課と文化課の 2 課とする (4月1日実施) 県営原町体育館を原町市スポーツセンターと名称を変更 学校週五日制に係る学校開放事業開始 市民プール公認期間延長 (公認期間 9. 5. 10 まで)
5	3 4 8 9 10 12	3 4 8 9 10 12	5 10 20 30 31 1 30 1 10 30 29 20	原町市第三小学校屋体の屋根ふき替工事完成 太田小学校校舎 (400 m ²) 改築工事完成 原町第一中学校校舎二期 (509 m ²) 増築工事完成 原町第一中学校・石神中学校にパーソナル・コンピュータ (NEC 製) 10 台配置 グランドピアノ 8 台を更新 (石神第一小学校・石神第二小学校・原町第一小学校・原町第三小学校、全中学校) 全小中学校にファクシミリ機器を設置 「八坂神社のアカガシ樹林」を市天然記念物に指定 市情報公開条例により教育委員会が実施機関となる 各公民館に空調設備工事完成 「野馬追図の屏風」を市有形民俗文化財に指定 原町第一中学校屋内運動場 (一期) 工事完成 大甕小学校校舎外壁・防水改修工事完成 全中学校にパーソナル・コンピュータ (NEC 製) 10 台配置 1 学校 21 台の配置を完了 生涯学習都市宣言
6	1 3 6 7 9 6 9 10	1 3 6 7 9 6 9 10	31 15 25 31 20 20 20 30 20 20 30 31	野馬追の里歴史民俗資料館建設起工式 大甕小学校・原町第二中学校及び原町第三中学校のプール施設の全面改修工事完成 太田小学校・原町第三小学校・石神第一小学校プール改築・改修工事完成 サッカー場改修工事完成 (芝張) 勤労者体育センター外部等改修工事完成 高平小学校プール施設の全面的な塗装改修工事完成 市立図書館及び原町公民館事務室の冷暖房設備の整備 太田幼稚園の園庭整備 (太田小旧プール跡地の活用) 原町第一中学校屋内体育館の内・外壁及び照明器具の全面改修工事完成 (平成 5 年は、当該施設の床の全面改修を図ったもの) 高平小プール全面塗装改修工事完成 太田幼稚園園庭整備 原町第一中学校屋内運動場改修工事完成 (2 期) 石神中学校運動場用地取得 (8,528 m ²)
7	3	3	15 15 15	大甕小学校プール改築工事完成 原町第二中学校プール改築工事完成 原町第三中学校プール改築工事完成

	4	1	野馬追の里歴史民俗資料館開設
		〃	原町市生涯学習センター、各地区生涯学習センター開設
	5	1	「北萱浜の天狗舞」・「馬場の神楽七芸」を原町市無形民俗文化財に指定
	8	26	野馬追の里歴史民俗資料館一般公開開始
	9	20	大甕小学校浄化槽全面改修工事完成
	10	31	原町市体育館屋根改修工事完成
8	3	22	小川体育館改築完成
		〃	原町市野球場夜間照明施設整備
		〃	石神中学校プール改築工事完成
		〃	石神中学校運動場整備
		〃	運動公園テニスコート改修工事完成
	4	1	生涯学習部設置
	5	9	野馬追の里歴史民俗資料館が博物館法に定める博物館に登録される
	6	26	全小学校にパーソナル・コンピュータ（NEC製）各 21 台配置
	8	15	農業研修センターを改築し、陸上競技場管理棟に改める
	11	1	原町市教育相談室「やすらぎ広場」開設
9	3	17	原町第二中学校屋内運動場改築工事完成
	4	1	生涯学習部文化課内に市史編さん担当の配置
		〃	石神第一幼稚園で 3 歳児保育を試行
		〃	市立幼稚園の授業料改訂（月額 4,000 円から 5,000 円へ）
	7	24	英語指導助手 2 名体制となる
	10	1	生涯学習まちづくり出前講座開講
		15	全中学校にパーソナル・コンピュータ（NEC製）各 42 台配置
	12	2	原町図書館業務電算システム導入
10	3	20	石神第一小学校屋内運動場改築工事完成
	4	1	生涯学習部文化課内に市史編さん室を設置
		〃	野馬追の里歴史民俗資料館が野馬追の里原町市立博物館に名称変更
		〃	「野馬追の図二葉」を市有形民俗文化財に指定
		〃	全幼稚園において 3 歳児保育開始
	6	30	文化センター、各地区生涯学習センターの冷暖房の整備
11	3	12	原町第三小学校屋内運動場改築工事完成
12	1	28	原町第三中学校屋内運動場改築工事完成
	2	1	「銅製鰐口 2 口」を市有形文化財に指定
		〃	「桜井古墳群上渋佐 7 号墳」を市史跡に指定
	3	30	ふれあいドーム建設完成
		31	「紙本著色野馬追図 二鋪」が福島県の重要有形文化財に指定される （市有形民俗文化財「野馬追の図二葉」は市指定解除）
	4	1	原町市教育委員会所管に係る原町市個人情報保護条例施行規程を制定（教訓 2）
		〃	原町市教育委員会会議規則全面改正（教規 1）
		〃	学校給食用食器を漆器製食器に切り替え使用開始
13	4	1	原町市教育委員会事務局等組織規則全面改正
		〃	原町市生涯学習センター条例及び施行規則制定
		〃	原町市公立中学校管理規則全面改正
		〃	市立幼稚園の授業料を改訂（月額 5,000 円から 5,700 円へ）
	8		ひばり生涯学習センター建設完成
	8	31	小学校にパーソナル・コンピュータ（富士通製）各 51 台、中学校に各 9 台（富士通製）を配置
	9	1	「上渋佐 7 号墳出土銅鏡」を市有形文化財に指定
14	2	16	市民文化会館建設着工
		20	原町第三中学校屋外運動場（テニスコートフェンス）整備
		28	太田幼稚園園舎（保育室）増築
	8	23	全中学校にパーソナル・コンピュータ（NEC製）各 42 台の入れ替え
	11	5	「野馬土手」及び「行方郡家政庁院跡」を市史跡に指定

		〃	「高平の板石塔婆群」、「荷渡大権現の板石塔婆群」、「相馬太田神社板石塔婆群」及び「社号額『大明神』」を市有形文化財に指定
15	2 3 4 5 6 8 10	7 25 1 18 18 20 23 30	大甕小学校屋内運動場改築工事完成 原町市史第4巻「古代・中世」の刊行 公募による地区生涯学習センター所長が就任 桜井古墳公園開園 ハネダ・カンボス彗星の看板を設置 市立幼稚園トイレの洋式化（2ヶ所） 小学校にパーソナル・コンピュータ（富士通製）全100台、中学校全47台を配置 市民文化会館建設完成
16	2 3 4 6 8 11	25 25 1 〃 30 24 13	原町市史第10巻「野馬追」の刊行 市野球場改修工事完成（ダッグアウト増設、フェンス防護マット設置、防球ネット設置） 市立図書館が図書業務係と建設係の2係となる 市内中学校給食の民間委託を行う 市民プールを改修工事完成 原町第二小学校トイレの洋式化 第10回全国報徳サミット原町大会を開催
17	2 3 4 7 8 12	1 25 31 1 29 31 11	子ども110番の家・車を指定し、防犯マップを作成 原町市史第8巻「自然」の刊行 「火縄銃 銘中村住神尾久右衛門橘公宗」「黒漆塗鳩胸五枚胴具足 附采配 具足櫃 櫃覆」を原町市文化財として指定 市立幼稚園で預かり保育を実施 市立幼稚園に空調設備設置 石神中学校、太田小学校のトイレの洋式化 石神中学校屋内運動場火災により全焼

南相馬市

年	月	日	沿革
平成 18	1	1	小高町・鹿島町・原町市の二町一市が合併して南相馬市となる
		26	浦尻貝塚（小高区浦尻）、国指定史跡となる
		30	運動公園トリムコースの外灯を増設
	2	28	原町第一中学校北校舎耐震補強工事完成
		3	24
	31		小高町史「おだかの人物」「写真集おだかまちのすがた」の刊行
	4	1	市立幼稚園園長（小高幼稚園、福浦幼稚園、鳩原幼稚園を除く）の専任化
	5	31	石神中学校屋内運動場取壊し（18.3.28～）
	9	27	雲雀ヶ原陸上競技場改修工事完成（公認期間延長 23.8.5 まで）
		29	小高町史「おだかの歴史入門」の刊行
	11	30	鹿島町史「ふる里の歴史」の刊行
19	2	28	石神中学校屋内運動場改築工事完成
	3	15	上真野小学校屋外プール改築工事完成
		26	原町市史第5巻「近世」の刊行
		30	小高町史「写真集おだかまちの民家」の刊行
	5	15	石神中学校屋内運動場落成式
20	2	1	小高体育センターにトレーニング室設置
		15	小高中学校南校舎耐震補強工事完成
		29	真野小学校屋外プール改築工事完成
		〃	原町第一小学校南校舎耐震補強工事完成
	3	24	原町市史第11巻「旧町村史」の刊行
		28	小高町史「海辺の民俗～福浦村を中心に」の刊行
4	1	小高図書館・鹿島図書館が地域教育課所管から原町図書館所管となる	
21	2	13	小高中学校北校舎耐震補強工事完成
		18	原町第一小学校北校舎耐震補強工事完成
		23	上真野小学校屋内運動場改築工事完成
		27	鹿島小学校校舎耐震補強工事完成
	3	31	小高町史「DVD映像で見るおだかの民俗芸能」の刊行
		4	1
	10		小浜千石稲荷神社 地引網漁図絵馬、市有形民俗文化財に指定
	7	15	原町市史「旧町村史」が福島民報出版文化賞特別賞受賞
	10	16	博物館入館者開館以来20万人達成
	12	1	移転により原町図書館から中央図書館に名称変更
22	2	22	泉官衙遺跡（原町区泉）、国指定史跡となる
		〃	浦尻貝塚、国史跡の追加指定となる
		26	福浦小学校校舎耐震補強工事完成
	3	4	原町第二小学校屋内運動場改築工事完成
		31	小高町史「山手の民俗～金房村を中心に」の刊行
	10	7	八沢小学校屋内運動場改築工事完成
23	1	31	原町市史第3巻「考古」の刊行
		2	7
	28		原町第一小学校屋内運動場改築工事完成
	3	11	東日本大震災（震度6弱、大津波警報）
		〃	大津波により真野小学校及び真野幼稚園が被災
	12	避難指示（福島第一原発から半径20km圏内）	
		15	屋内退避指示（福島第一原発から半径20km～30km圏内）
	4	22	警戒区域指定（福島第一原発から半径20km圏内）
		〃	緊急時避難準備区域指定
		〃	（福島第一原発から半径20km～30km圏内は教育施設休止）

4 5 6 8～11 8 9 10 11 12	4 5 6 8 9 10 11 12	22 25 6 1 29 1～5 5～7 9 25 1 30 11 17 20 31 1 15 21 30 6 22 28	小・中学校が鹿島区に移転し再開（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等）
			炊き出し昼食提供開始（2, 500食）
			小学1年生の入学式（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等）
			公立保育園の再開（かしま保育園・かみまの保育園）
			私立保育園の再開 （原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園が鹿島区寺内地区に臨時園舎にて再開）
			児童クラブの再開（千倉（鹿島）・上真野・八沢小学校）
			公立幼稚園の再開（鹿島区鹿島幼稚園・上真野幼稚園）
			八沢小地震被害改修工事完成
			除染作業（保育園・幼稚園・小・中学校の校庭・園庭の表土入替え及び校舎・園舎の洗浄）（警戒区域を除く）
			中央図書館施設除染作業
			中央図書館の再開
			南相馬市博物館の再開
			学校給食再開（3, 300食）
			鹿島区内小・中学校にユニット教室完成・使用開始（24教室～高平小・大甕小・原町一小・石神二小・小高小・金房小・鳩原小・原町二中）
			公立幼稚園の再開（鹿島区八沢幼稚園）
			緊急時避難準備区域の解除（福島第一原発から半径20km～30km圏内）
			私立保育園の本園再開（原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園）
			原町区内小中学校の本校再開①（原町一小・原町三小・大甕小・原町一中・原町二中）
			児童クラブの再開（東町・上町・大甕児童クラブ）
			原一小地震被害改修工事完成
			原一中地震被害改修工事完成
			原二中地震被害改修工事完成
			私立幼稚園再開（青葉幼稚園・原町みなみ幼稚園・さゆり幼稚園）
			原町区内の生涯学習センター（原町を除く）を再開
			南相馬市紹介映画「悠久の風吹くまち」の上映を開始
			仮設校舎完成・使用開始（鹿島小仮設校舎～真野小・福浦小・小高小・鹿島中仮設校舎～石神一小・石神中）
			石神中地震被害改修工事完成
			鹿島図書館の再開
			石神二小地震被害改修工事完成
			原二小地震被害改修工事完成
24	1 2 3 4	1 8 10 20 1 15～27 29 1 15 31 1 1 1 1	南相馬市民文化会館を再開
			南相馬市成人式を3区合同により「ゆめはっと」で開催
			原町区内小学校の本校再開②（原町二小・高平小・太田小）
			児童クラブの再開（橋本町児童クラブ）
			高平小地震被害改修工事完成
			スポーツ施設の再開 （原町区内：南相馬市テニスコート、南相馬市弓道場、原町ふれあいドーム） （鹿島区内：千倉体育館、前川原体育館）
			小・中学校プールの除染作業（警戒区域を除く）
			原町区内小中学校の本校再開③（石神一小・石神二小・原町三中・石神中）
			児童クラブの再開（石神第二児童クラブ）
			鹿島小地震被害改修工事完成
			スポーツ施設の再開（夜の森公園テニスコート）
			原三小地震被害改修工事完成
			鹿島体育館、牛島体育館を解体・廃止
			児童クラブの再開（石神第一児童クラブ・高平児童センター）
			鹿島生涯学習センターを再開
			原町生涯学習センターが市民情報交流センターに一時移転し、業務を再開
			スポーツ施設の再開（栄町柔剣道場）

		〃	公立幼稚園の再開（原町区大甕幼稚園・高平幼稚園）
	4	〃	生涯学習課とスポーツ推進課が市長部局「市民生活部文化スポーツ課」に再編移行
		3	学校図書館支援員の派遣開始（原町三小・石神二小・小高小・鹿島小）
		6	鹿島中仮設校舎入居校（小高小・金房小・鳩原小）
		9	スポーツ施設の再開（南相馬市スポーツセンター）
	7	1	スポーツ施設の再開（南相馬市野球場、北新田野球場、北新田運動場多目的広場）
		2	スポーツ施設の再開（雲雀ヶ原陸上競技場）
		14	スポーツ施設の再開（南相馬市民プール）
	8	31	太田小地震被害改修工事完成
	11	9	南相馬市文化センターの解体
	12	28	原町市史第6巻「近代」の刊行
25	2	28	鹿島・原町区小中学校空調機器（エアコン）整備（上真野小・石神中を除く）
	3	29	小高町史「資料の調査と記録」の刊行
		31	南海老グラウンドを廃止
		〃	鹿島歴史民俗資料館を廃止
	4	1	福浦小が鹿島小仮設校舎から鹿島中仮設校舎へ引越し
		〃	真野小が鹿島小仮設校舎から鹿島小校舎へ引越し
		〃	南相馬屋内市民プールの市の直営管理を開始
		〃	原町生涯学習センターがサンライフ南相馬に移転
		〃	市内全小学校（16校）への学校図書館支援員の派遣開始
		29	鹿島中地震被害改修工事完成
	5	17	スポーツ施設の再開（南相馬市相撲場）
		20	スポーツ施設の再開（小川町体育館）
	7	1	スポーツ施設の再開（北新田第一運動場・北新田第二運動場）
		16	鳩原小地震被害改修工事完成
	8	30	小高小地震被害改修工事完成
		〃	金房小地震被害改修工事完成
	9	1	原町ふれあいドームを廃止
		30	小高中学校屋内運動場耐震改修工事（地震被害改修工事含む）完成
		〃	福浦小地震被害改修工事完成
	11	29	原町第一中学校屋内運動場改築工事完成
	12	16	小高生涯学習センター「浮舟文化会館」を再開
26	1	31	上真野小学校校舎耐震改修工事（エアコン整備を含む）完成
	2	3	スポーツ施設の再開（小高体育センター）
	3	10	原町第二小学校プール改築工事完成
		31	鹿島区真野幼稚園廃止
	4	1	真野小を鹿島小に統合
		〃	市内全中学校（6校）への学校図書館支援員の派遣開始
	6	25	朝日座、国登録有形文化財となる
	7	20	石神中学校校舎耐震改修工事完成（エアコン整備を含む）
	8	30	鹿島町史第1巻「通史」の刊行
	9	29	小高中エレベーター設置工事完成
	12	3	新八沢児童クラブ開所
		1	鹿島中敷地内仮設体育館竣工・供用開始
27	2	1	スポーツ施設の再開（南相馬市馬事公苑）
	3	3	原町区公立保育園芝生化整備（原町あずま保育園）
		〃	鹿島区公立保育園芝生化整備（かしま保育園・かみまの保育園）
	6	6	鹿島区公立幼稚園芝生化整備（八沢幼稚園・上真野幼稚園）
	7	7	新潟県立大学との子どもの福祉・教育に関する連携協定締結
	13	13	原町区公立幼稚園芝生化整備（大甕幼稚園・高平幼稚園）
		31	上町児童センター耐震改修工事完成
		〃	原町市史第7巻「現代」の刊行
		〃	村上の田植踊、県指定重要無形民俗文化財となる

	4	1	公立保育園の再開（原町あずま保育園）
		〃	南相馬屋内市民プール指定管理制度導入
	7	21	スポーツ施設の再開（みちのく鹿島球場）
28	3	31	鹿島町史別巻「続現代資料」の刊行
		〃	小高町史「おだかまちの現代資料～南相馬市誕生までの30年～」の刊行
	4	1	南相馬市就業改善センター、小高コミュニティセンター再開
		23	公立保育園の再開（原町さくらい保育園）
		26	相馬野馬追図屏風、県指定重要有形民俗文化財となる
		27	スポーツ施設の再開（鹿島体育館）
	5	26	移動図書館車運行スタート（中央図書館）
	7	15	小高図書館再開
		〃	埴谷・島尾記念文学資料館再開
		21	新鹿島児童クラブ開所
	8	1	大谷家住宅東蔵・中蔵・門、国登録有形文化財となる。
	10	17	南相馬市パークゴルフ場供用開始
29	3	31	原町市史第1巻「通史Ⅰ」の刊行
	4	1	小高小学校（小高小、福浦小、金房小、鳩原小合同運営）、小高中学校の再開
		〃	公立幼稚園の再開（小高区小高幼稚園）
		〃	南相馬市パークゴルフ場指定管理者制度導入
	10	27	スポーツ施設の再開（小高中部運動場・小高西部運動場）
			高島家住宅コンクリート蔵・門及び塀、国登録有形文化財となる
30	2	13	泉官衙遺跡、国史跡の追加指定となる
	3	30	小高町史「町場と里の民俗～小高町を中心に～」の刊行
	4	1	市民生活部文化スポーツ課を「市民生活部生涯学習課」と「市民生活部スポーツ推進課」に組織再編
	4	6	杉阿弥陀堂 木造阿弥陀如来坐像・木造毘沙門天立像、県指定重要文化財となる
	4	15	南相馬市テニスコート増設8面供用開始
	11	2	天野家住宅主屋、米蔵、西蔵、外便所、正門、通用門・裏門および塀、太田家住宅屋、米蔵、味噌蔵、道具蔵、鈴木家住宅主屋、国登録有形文化財となる。
	12	27	原町市史第2巻「通史Ⅱ」の刊行
31	4	1	組織機構改革により市民生活部生涯学習課を「教育委員会事務局生涯学習課」に編入
		〃	幼児教育課が市長部局「こども未来部こども育成課」に再編移行
		〃	スポーツ施設の再開（千倉グラウンド・前川原グラウンド）
令和 元年	5	1	元号改正され「令和」となる
		31	原町第一小学校プール改築工事完成
	7	1	スポーツ施設の再開（小高東部運動場、千倉テニスコート）
		22	南相馬市パークゴルフ場増設トイレ棟供用開始
2	1	14	北新田運動場増設トイレ棟供用開始
	3	16	浜通りのお浜下り国選択民俗文化財となる
		19	市野球場大規模改修工事完了（ナイター照明LED化、スコアボード改修、バックネット張替え、時計設置、ミニスコアボード改修、BSO表示板改修）
		27	夜の森公園テニスコート災害復旧工事完了（ライン撤去新設、砂補充、舗装）
		30	スポーツ施設の再開（小高片草運動場テニスコート）
		31	小高区小高幼稚園、おだか保育園廃止
	4	1	市立おだか認定こども園が開園
		19	スポーツ施設の再開（南相馬市サッカー場）
		30	高平小学校校舎外壁等改修工事完成
		30	石神第一小学校校舎外壁等改修工事完成
	5	29	石神第二小学校プール改築工事完成

3	1	29	栄町柔剣道場・南相馬市弓道場・夜の森公園テニスコート埋設保管除去土壌等撤去完了
	2	26	「東日本大震災記録誌 100 年後へ届ける記録」の刊行
	3	19	北新田野球場・北新田運動場（第二運動場）埋設保管除去土壌等撤去完了
		31	小高区福浦幼稚園、金房幼稚園、鳩原幼稚園廃止
	4	1	小高小学校、福浦小学校、金房小学校、鳩原小学校が閉校 市立小高小学校が開校

編集・発行

令和3年7月発行

南相馬市教育委員会

〒975-8686

福島県南相馬市原町区本町二丁目27番地

TEL 0244-24-5282

FAX 0244-23-7782